

Panasonic

# MSXView使用説明書

パーソナルコンピュータ  
品番 FS-A1GT

● VSHELL 編 ● アプリケーション 編



MSX turbo R

本書は「MSXView」をお使いいただくための解説書です。  
ご使用前に必ず同梱の取扱説明書の「第1章 準備」をお読みください。

MSXマーク、MSXView はアスキーの商標です。

**V S H E L L 編**

M S X View とは

基本的な操作

V S H E L L 機能いろいろ

**アプリケーション編**

文字を入力する

絵を描く

本を作る

View TED/Page LINK 機能いろいろ

View DRAW/View PAINT/Page EDIT 機能いろいろ

**付**

**録**

第1章

第2章

第3章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

フロッピーディスクについて	7
システムディスク	7
フロッピーディスクの初期化	7
システムディスクの予備を作る	7
保存用のフロッピーディスク	7
この本の読みかた	8
表記上の約束	9

## V S H E L L 編

### 第1章 MSXView とは

MSXView とは	12
MSXView の操作の流れ	14

### 第2章 基本的な操作

始めかたと終わりかた	16
始めかた	16
終わりかた	17
画面の見かた	18
基本操作のしかた	19
マウスの使いかた	19
キーボードの操作	20
文字入力のかた	21
漢字変換のかた	22

### 第3章 V S H E L L 機能いろいろ

ファイルの選びかた	24
ファイルを選ぶ	24
選んだファイルを取り消す	24
アイコン表示の移動	25
ファイルの表示位置を変える	25
タイトルメニュー	26
タイトルメニューを表示させる	26
ディスクドライブを変更する(ドライブ変更)	27
ファイルの内容を呼び出す(呼出)	29
ディスクの内容を確かめる(ファイル情報、ディスク情報、システム情報)	30
フロッピーディスクを初期化する(ディスク初期化)	32
印刷方法を設定する(印刷形式)	34
印刷する(印刷)	35

編集メニュー	36
編集メニューを表示させる	36
ディレクトリを作る (新規ディレクトリ)	37
ファイル名を変える (名前変更)	38
ファイルを削除する (削除)	39
ファイルを複写、移動する (複写) (移動)	40
すべてのファイルを選ぶ (全選択)	42
選んだファイルを取り消す (全解除)	42
道具メニュー	43
道具を選ぶ	43
表示メニュー	44
表示方法を選ぶ	44
便利メニュー	45
便利メニューを表示させる	45
ディスクに名前を付ける (ボリューム名変更)	46
アイコンの形を変える (アイコンエディット)	47
カレントパスの表示とディレクトリの移動 (カレントパス)	49
DOSメニュー	50
DOSのファイルを操作する	50
設定メニュー	51
設定メニューを表示させる	51
入力方法を設定する (システム設定)	52
プリンタを選ぶ (プリンタ)	54
画面を調整する (画面調整)	55
よく使う単語を登録する (単語登録)	57
単語を削除する (単語削除)	59
新しい文字を登録する (外字作成)	60

## アプリケーション編

### 第1章 文字を入力する (View T E D)

View T E Dとは	66
始めかた	67
View T E Dの画面	68
View T E Dの操作	69
終わりかた	70

### 第2章 絵を描く (View D R A W、View P A I N T)

View D R A WとView P A I N T	72
View D R A Wについて	73
View P A I N Tについて	73

始めかた	74
画面の見かた	75
操作の方法	76
View D R A W、View P A I N Tの操作	76
終わりがた	77

### 第3章 本を作る (Page B O O K)

Page B O O Kとは	80
始めかた	81
画面の見かた	82
Page E D I Tの画面	82
Page L I N Kの画面	82
操作の方法	83
Page E D I Tの操作	83
Page L I N Kの操作	84
終わりがた	85
作った本の見かた	86
Page V I E Wを使う	86

### 第4章 View T E D、Page L I N K機能いろいろ

範囲指定のしかた	90
タイトルメニュー	91
タイトルメニューを表示させる	91
新しい画面にする (新規)	92
ファイル呼び出す (呼出)	93
文書を保存する (保存)	94
ファイルを書き換える (更新)	95
共通のファイルにする (登録)	96
登録したファイル呼び出す (組込)	97
印刷する (印刷)	98
設定メニュー	99
設定メニューを表示させる	99
編集メニュー	100
編集メニューを表示させる	100
消去する (消去)	101
文字を切り取る (切取)	101
文字を写し取る (写取)	102
文字を貼 (は) り付ける (貼付)	102
文字を半角にする (全角/半角)	103
サイズメニュー	104
サイズを選ぶ	104

検索メニュー	105
検索メニューを表示させる	105
文字を探す（文頭検索）（文末検索）	105
文字を置き換える（置換）	106
道具メニュー	108
道具を選ぶ	108
製本メニュー	109
製本メニューを表示させる	109
リンクリストの作りかた	110
製本する（製本実行）	111
ファイル名を入力する（選択入力）（一括入力）	112

## 第5章 View DRAW/View PAINT/Page EDIT機能いろいろ

タイトルメニュー	116
タイトルメニューを表示させる	116
新しい画面にする（新規）	117
ファイル呼び出す（呼出）	118
図形を保存する（保存）	120
ファイルを書き換える（更新）	121
共通のファイルにする（登録）	122
登録したファイル呼び出す（組込）	123
追加で呼び出す（追加呼出）	125
用紙サイズを設定する（印刷形式）	127
印刷する（印刷）	128
設定メニュー	129
設定メニューを表示させる	129
編集メニュー	130
編集メニューを表示させる	130
ひとつ前の操作を取り消す（復元）	132
消去する（消去）	133
図形を切り取る（切取）	133
図形を貼（は）り付ける（貼付）	134
図形を写し取る（写取）	134
図形を複写する（複写）	135
セルを前後に移動させる（前出）（後送）	136
複数のセルをひとつにする（合体）	137
合体した図形を切り離す（分離）	137
画面を切り替える（画面切替）	138
文字枠を詰める（文字枠詰）	138
座標を表示する（座標表示）	139
スクリプトコマンドを設定する（スクリプトコマンド）	140
セルを並べ替える（セル表示順）	144

ビットマップを作る (ビットマップ) .....	145
表示を反転する (反転) .....	147
すべてのセルを指定する (総選択) .....	147
字体メニュー .....	148
字体を変える (修飾) (サイズ) .....	148
書体メニュー .....	149
書体を選ぶ (書体) .....	149
書式メニュー .....	150
書式を設定する .....	150
線種メニュー .....	151
線種メニューを表示させる .....	151
線種、模様を変える .....	152
色を変える .....	152
表示メニュー .....	153
画面表示の方法等を選ぶ .....	153
道具メニュー .....	155
道具を選ぶ .....	155
ページメニュー .....	156
ページを移動させる .....	156
作画メニュー .....	157
作画メニューを表示させる .....	157
図形 (セル) を選ぶ (  ) .....	158
図形の範囲を指定する (  ) .....	160
文字を入力する (  ) .....	161
直線を書く (  ) .....	162
長方形を書く (  ) .....	163
円や楕円を書く (  ) .....	164
多角形を書く (  ) .....	165
自由な線を書く (  ) .....	166
点で図形を書く (  ) .....	167
線を消す (  ) .....	169

## 付録

ショートカットキー一覧 .....	172
エラーメッセージ一覧 .....	174
仕様 .....	179
索引 .....	180
キーボード操作一覧 .....	裏表紙

# フロッピーディスクについて

実際の操作に入る前にフロッピーディスクについて説明します。

## システムディスク

本機には3枚のフロッピーディスクが付属されています。この中にはそれぞれのソフトを動かすためのプログラムやデータが入っています。このフロッピーディスクをシステムディスクと呼びます。

本書で説明するMSXViewでは「システムディスク3」と書かれているフロッピーディスクをシステムディスクとして使います。

## フロッピーディスクの初期化

プログラムやデータの入っていない市販のフロッピーディスクは、初めて使用する前に「初期化」と呼ばれる準備が必要です。

初期化の方法については本書の32ページ（または「BASIC入門」36ページ、「ワープロ使用説明書」57ページ）で説明しています。

## システムディスクの予備を作る

付属のシステムディスクは大切なファイルが保存されているので、誤って消したり書き換えたりしてしまうと大変です。そんな万一のために付属のシステムディスクを保管用とし、実行用のシステムディスクを1枚作っておく（バックアップをとっておく）と安心です。コピーの方法については本書の40ページ（または「BASIC入門」143ページ）で説明しています。

## 保存用のフロッピーディスク

MSXViewのソフトで作った文書（図形など）をシステムディスク3にあまり多く保存をすると、空き容量が足りなくなり保存できなくなることがあります。文書を保存するときは、保存用のフロッピーディスクを作っておき、それに保存していくと便利です。

保存用のフロッピーディスクは、市販のフロッピーディスクを初期化するだけで作れます。

### ご注意

- 初期化すると、フロッピーディスクの内容がすべて消去されます。誤ってシステムディスクなどの必要なフロッピーディスクを初期化しないようご注意ください。
- 初期化は、新規に購入したとき、はじめの1回だけ必要な操作です。

# この本の読みかた

この本は、操作を説明する2つの編と付録に分かれています。

「V S H E L L 編」ではMS XView を始めたとき、最初に起動するV S H E L L というソフトの操作のしかたについて説明しています。

「アプリケーション編」では、V S H E L L から起動させるそれぞれのソフトの操作のしかたについて説明しています。

## ●V S H E L L 編

### 「第1章 MS XView とは」

MS XView およびV S H E L L の基本的な概念を説明しています。全体の構成や各ソフトの役割を理解してください。

### 「第2章 基本的な操作」

始めかたや終わりかた、画面の見かた、基本的な操作のしかたを説明しています。必ずお読みください。

### 「第3章 V S H E L L 機能いろいろ」

V S H E L L の操作のしかたを説明しています。

## ●アプリケーション編

### 「第1章 文字を入力する」

文章の入力・編集を行うソフト「View T E D」の概要を説明しています。

### 「第2章 絵を描く」

図形や線画などを描くソフト「View D R A W」「View P A I N T」の概要を説明しています。

### 「第3章 本を作る」

パソコン上で本を作るためのソフト集「Page B O O K」の概要を説明していません。

### 「第4章 View T E D / Page L I N K 機能いろいろ」

「View T E D」とPage B O O Kの中の「Page L I N K」の機能を説明しています。

### 「第5章 View D R A W / View P A I N T / Page E D I T 機能いろいろ」

「View D R A W」、「View P A I N T」、Page B O O Kの中の「Page E D I T」の機能を説明しています。

## ●付録

キー入力の簡易操作、エラーメッセージ、索引を記載しています。必要なときにお読みください。

## 表記上の約束

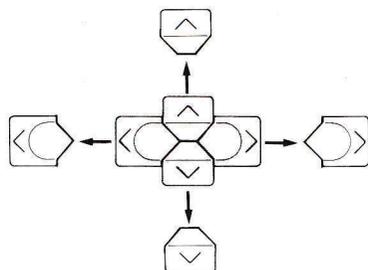
この本の表記（書き表しかた）には、次のような約束があります。

### ●記号の意味

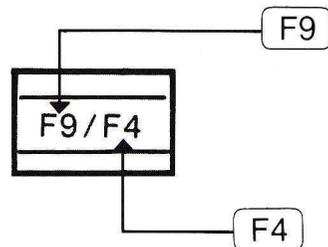
<b>ご注意</b>	特に注意してほしいことの説明をしています。 必ず読んでください。
<b>メモ</b>	各項目の補足説明や、操作内容がいくつかの場合に分かれるときの説明をしています。 知っておくと役に立ちます。
(⇒○○ページ)	参照ページを示します。

### ●キーの表記

・カーソルキーは次のように表記します。



・必要な文字だけを表示する場合はその文字を  で囲んで表示します。



・リターンキーは  で表示します。

・画面に現れるマウスカーソル  や  は  で表示します。

・アプリケーション編で各機能のタイトルの欄に表示しているソフト名は、ソフトがその機能を使えることを示しています。

### 編集メニューを表示させる

TED、LINK

TED : View TED      EDIT : Page EDIT  
DRAW : View DRAW    LINK : Page LINK  
PAINT : View PAINT   VIEW : Page VIEW

### ●画面の表記

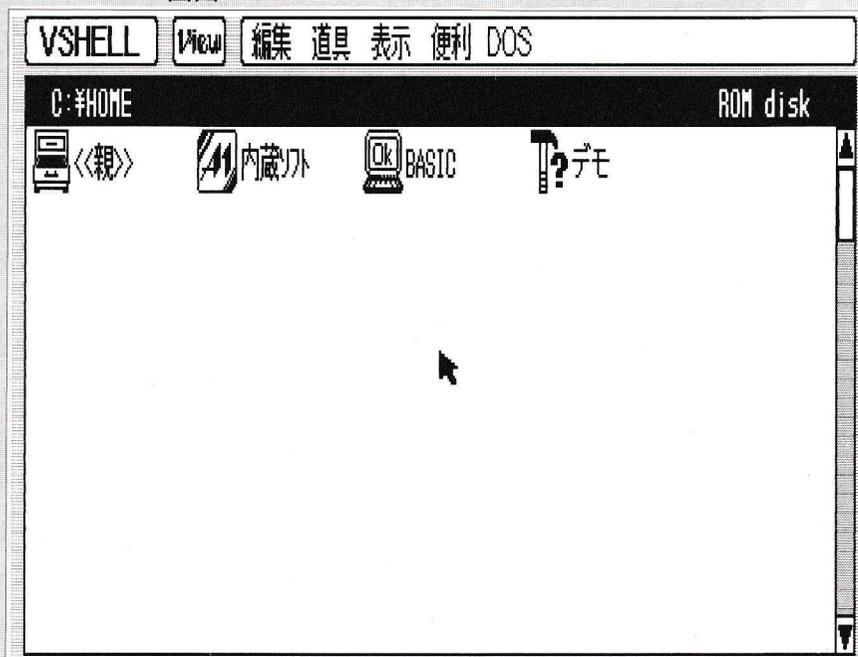
画面の色や表示は、実際と異なる場合があります。

※本書では、操作の説明をマウスによる操作を主に説明しています。キーボードで操作をする場合は、20ページをお読みください。

# V S H E L L 編

保存されているファイルの管理をします。

V S H E L L 画面



## 第1章

## MSXViewとは

MSXViewおよびVSHLLの基本的な概念を説明しています。

- MSXViewとは……………12

# MSXView とは

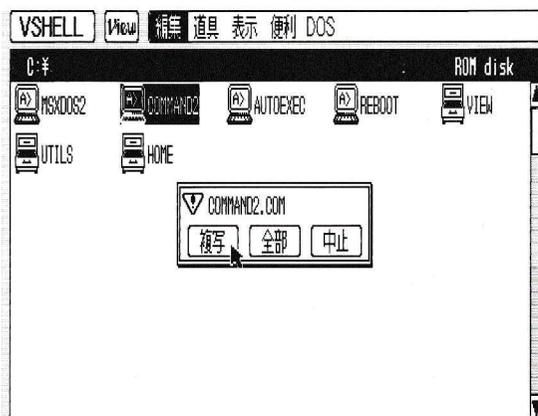
本機には、フロッピーディスクの中のファイルを効率よく管理するためのソフト、MSX-DOS 2が搭載されています。このMSX-DOS 2をさらに使いやすくするソフトがMSXViewです。

MSX-DOS 2では、これまで「コマンドの使いかたを覚えるのが大変。」「ソフトによって操作方法が違う。」「別のソフトで作ったデータが利用できない。」といった問題がありました。MSXViewを使うと、これらの問題が解決されます。

## ●コマンドの使いかたを覚えなくてもよい

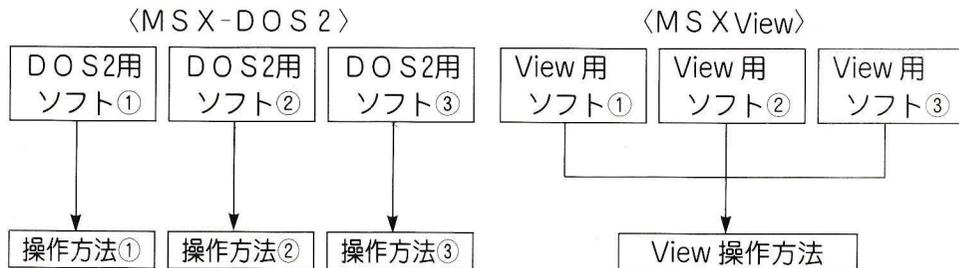
MSXViewでは、画面に表示されるメニューの中から機能を選び、ファイルもアイコン（ファイルの種類を表す絵記号）を使って選ぶことができるのでとても簡単に操作できます。

例えば、「COMMAND2.COM」というファイルを複写する場合、MSX-DOS 2では「A) COPY COMMAND2.COM B:」と入力するところを、MSXViewでは次のような画面でアイコンを使って簡単に複写処理が行えます。



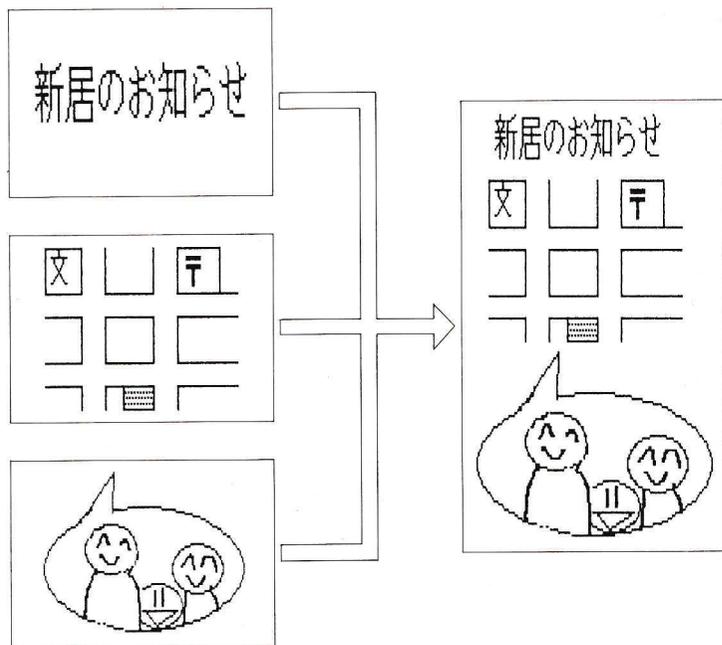
## ●MSXView用のソフトは基本操作が同じ

MSXView用のソフトでは、基本になる操作方法や画面表示が決まっています。ひとつのソフトの使いかたを覚えてしまえばほかのソフトも同じような方法で操作することができます。



●別のMSXView用のソフトで作ったデータが利用できる

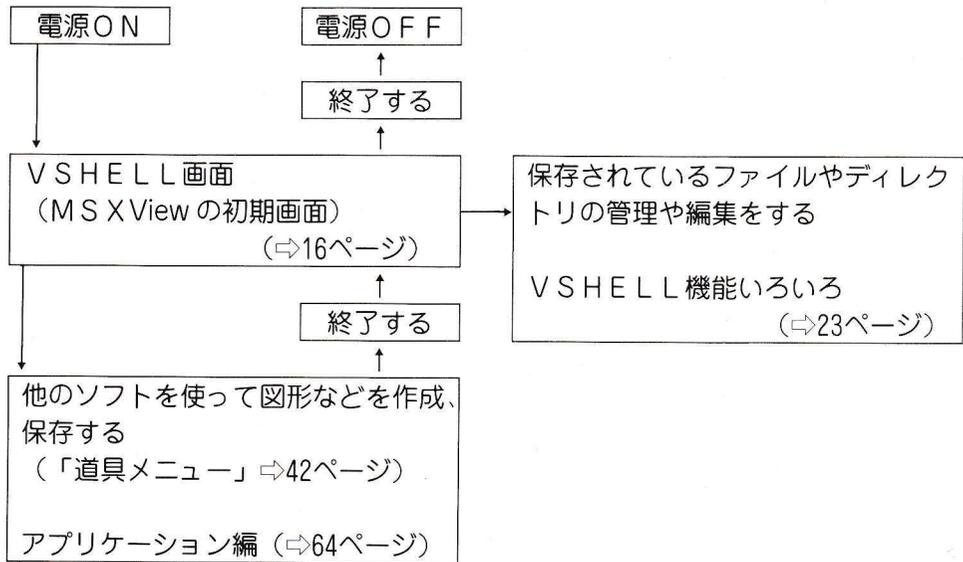
MSXView用のソフトは、別々のソフトで作ったデータを簡単にひとつにできるように作られています。文書作成が得意なソフトで作った文書とお絵描きが得意なソフトで作った絵をいっしょにすることもできます。



※別売のマウスを使うと簡単に操作できます。

# MSXView の操作の流れ

MSXView では次のような流れで操作します。



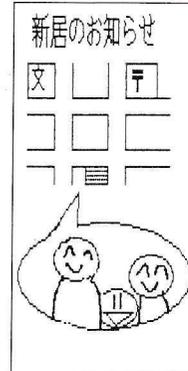
## 図形や文書などをつくる

【T E D】=文字だけのファイルや図形内の文字の部分を作ります。

【D R A W】=直線や円の集合で正確な図形を描きます。移動や複製なども簡単にできます。

【P A I N T】=点の集合として図形を描きます。いろいろな模様や曲線が描けます。

\*組み合わせて使用できます。



T E D で作成

D R A W で作成

P A I N T で作成

## 本を作る

【Page B O O K】=次の3つのソフトを使ってパソコン上で本を作ります。

- ・Page E D I T : 1ページ分の画面を作成、編集するソフトです。
- ・Page L I N K : ページをつないで製本するソフトです。
- ・Page V I E W : でき上がった本を見るためのソフトです。

## 第2章

## 基本的な操作

始めかたや終わりかた、画面の見かた、基本的な操作のしかたを説明しています。必ずお読みください。

- 始めかたと終わりかた……………16
- 画面の見かた……………18
- 基本操作のしかた……………19

# 始めかたと終わりがた

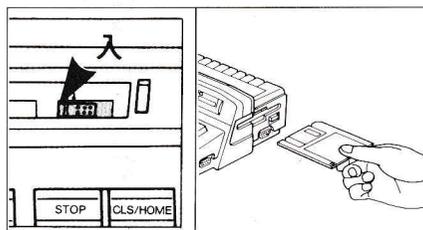
## 始めかた

1

パソコンに接続している周辺機器（テレビなど）の電源スイッチを入れる。

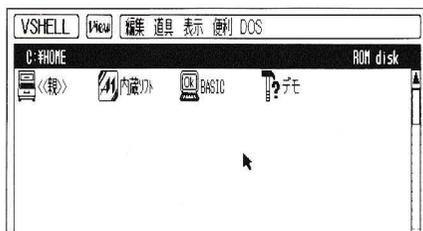
2

パソコンの内蔵ソフト切替スイッチを「入」にし、フロッピーディスクドライブにシステムディスク3をセットする。



3

電源スイッチを入れる。  
（本体の左横にあります。）



VSHELL画面

### ●オートデモについて

VSHELL画面が表示されてから操作をせずにそのままの状態にしておくと、約5分でデモ画面が自動的に表示されます。何かキーを押すとVSHELL画面にもどります。

### ご注意

●お買い上げ後、はじめて電源を入れるときは、まず電池を本体にセットし、システムディスク3をフロッピーディスクドライブにセットしてVSHELL画面が出るまで[ESC]を押しながら電源スイッチを入れてください。

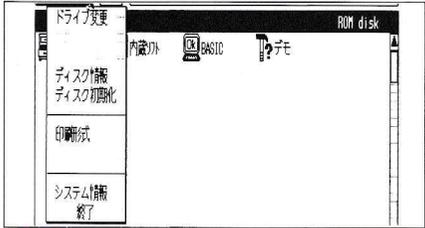
### メモ

●システム設定（⇒52ページ）で「オートデモ」を「実行しない」に設定すると、デモ画面は表示されません。

# 終わりがた

1

VSHELL画面で $\blacktriangleleft$ を画面左上の [VSHELL] に移動し、マウスの左ボタンを押す。  
(または、[SELECT] を押す。)



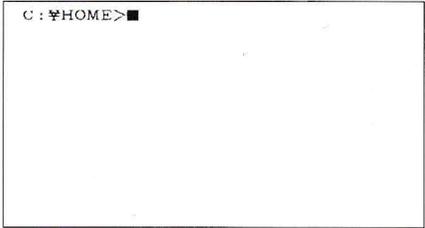
2

$\blacktriangleleft$ を「終了」に移動し、マウスの左ボタンを押す。  
(または、 $\square\blacktriangleright$ を押して黒いカーソルを「終了」に移動し、 $\square$ を押す。)



3

$\blacktriangleleft$ を「はい」に移動し、マウスの左ボタンを押す。  
(または、 $\square\blacktriangleright$ を押して反転カーソルを「はい」に移動し、 $\square$ を押す。)



4

電源スイッチを切る。

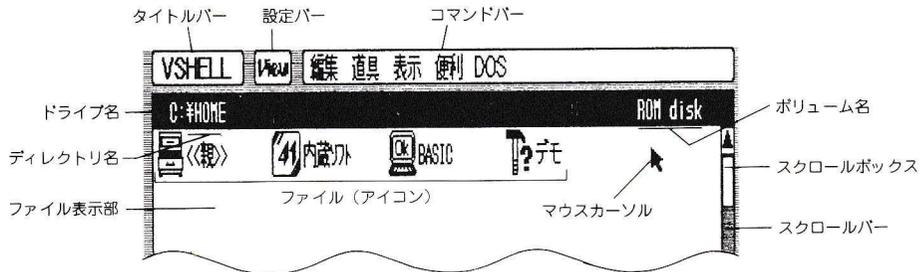
**ご注意**

●終わるときは必ず上記の方法で終了してください。上記以外の方法で終わると、作成した外字やシステム設定などが消えてしまいます。

**メモ**

●3の画面でVIEW $\square$ と入力すると、VSHELL画面に戻ります。  
ただし、他のプログラムを実行した後は、正常に動作しない場合があります。そのときは電源スイッチを切ってから、MSXViewをスタートし直してください。(16ページ)

# 画面の見かた



## ●タイトルバー

現在使っているソフトの名前または操作しているファイル名が表示されています。タイトルバーを選ぶ操作をすると、ドライブの変更や印刷などを行うタイトルメニューが表示されます。(⇒26ページ)

## ●設定バー

設定バーを選ぶ操作をすると、システム設定や画面調整などの設定メニューが表示されます。設定メニューはMS X Viewのどのソフトでも使えます。(⇒51ページ)

## ●コマンドバー

各ソフトごとに使う機能を選ぶためのメニューです。V SHELL画面では、編集、道具、表示、便利、DOSが表示されています。「編集メニュー」⇒36ページ、「道具メニュー」⇒43ページ、「表示メニュー」⇒44ページ、「便利メニュー」⇒45ページ、「DOSメニュー」⇒50ページ)

## ●ドライブ名

現在使用しているドライブのドライブ名が表示されています。(⇒27ページ)

## ●ディレクトリ名

現在表示しているディレクトリ(カレントディレクトリ)のディレクトリ名(⇒37ページ)が表示されています。

## ●ボリューム名

現在使用しているディスクにつけられている名前(ボリューム名)が表示されます。(⇒46ページ) ボリューム名を付けていない場合は、何も表示されません。

## ●スクロールバー

ファイル表示部の画面からはみだして見えない部分をスクロールさせて表示します。(⇒19ページ)

## ●スクロールボックス

ファイル表示部の画面からはみだして見えない部分を飛び越えてすばやく目的の部分を表示します。(⇒19ページ)

## ●ファイル表示部

ディレクトリ内のファイルをアイコンを使って表示しています。表示は、コマンドバーの「表示」を選んで五十音順やファイル容量の大きい順などに変更することができます。(⇒44ページ)

## ●マウスカーソル (☞)

ファイルや機能を☞で選んで操作をします。

# 基本操作のしかた

MSX View は主に画面上に表示される $\blacktriangleleft$ を動かして操作します。操作のしかたには、マウスを使う方法与キーボードを使う方法の2通りがあります。

## マウスの使いかた

マウスを動かして画面上の $\blacktriangleleft$ を移動させ、マウスの上の2つのボタンを押して操作します。

### ●左ボタン

$\blacktriangleleft$ が指している項目を指定したり実行させたりします。

### ●右ボタン

メニュー表示や項目の指定を取り消したり、動作を中止させます。

### ●ダブルクリック

左ボタンを2度、**すばやく押す**ことをダブルクリックするといいます。表示されているファイルを呼び出すときなどに使います。 $\blacktriangleleft$ を指定するファイル(アイコン)に移動し、左ボタンを2度すばやく押すとそのファイルが呼び出されます。

### ●ドラッグ

左ボタンを押しながらマウスを動かすことをドラッグといいます。アイコンを移動したり、View PAINT (⇒73ページ)で線を引くときなどに使います。

### ●スクロールバー(スライドバー)

ファイル表示などが1画面で表示しきれない場合、画面からはみ出した部分を表示させる機能がスクロールバーです。

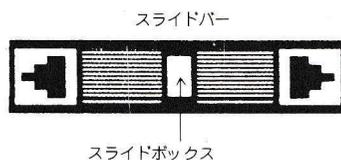
・画面の上(下左右)の部分を表示させるとき

$\blacktriangleleft$ を $\blacktriangle$ ( $\blacktriangledown$   $\blacktriangleleft$   $\blacktriangleright$ )に移動して左ボタンを押す。

・すばやく目的の部分を表示させるとき

$\blacktriangleleft$ をスクロール(スライド)ボックスに移動して左ボタンを押しながら上下(または左右)に動かしてスクロール(スライド)ボックスを移動させたあと、もう一度左ボタンを押す。

ダブルクリックの速さなどの設定をするスライドバーの操作もスクロールバーと同じです。



### ご注意

● $\blacktriangleleft$ の表示はView PAINTでは+の表示に変わることがありますが操作方法は同じです。また、プログラムの呼び出し中などのときは $\times$ の表示に変わります。このときは操作できませんので、 $\blacktriangleleft$ や+の表示に変わるまでしばらくお待ちください。

### メモ

●ダブルクリックのボタンを2度押す速さは、システム設定で変更することができます。ご自分の操作の速さに合わせて調節してください。(⇒52ページ)

## キーボードの操作

本書では、操作の説明をマウスによる操作を主に説明していますが、キーボードでも操作できます。ここではマウスの代わりにキーボードで操作するときの操作のしかたを説明します。

### ●マウスの移動

**GRAPH** を押しながらカーソルキーを押すとマウスが移動します。

### ●左ボタンを押す。(設定やメニュー、機能の選択の場合)

**GRAPH** を押しながら **SELECT** を押します。

**ENTER** を押しても同じ働きをします。

### ●右ボタンを押す(操作の中止やメニュー表示を消す場合)

**GRAPH** を押しながら **STOP** を押します。

**ESC** を押しても同じ働きをします。

### ●左ボタンを2度、すばやく押す(ダブルクリック)(ファイルを呼び出したりする場合)

**GRAPH** を押しながら **SELECT** を2度、すばやく押します。

### ●左ボタンを押しながらマウスを移動させる(ドラッグ)(範囲を指定したい場合)

**GRAPH** と **SELECT** を押しながらカーソルキーを動かします。

・View T E D で操作しているとき

**INS** を押すと、カーソルキーを押すだけで範囲指定の操作ができます。

### ●メニュー内のカーソル移動

メニュー内の項目を選ぶとき、マウスを移動させる方法のほかにカーソルキーで選ぶことができます。選ばれた項目は反転表示(黒地に白文字で表示)されます。

この方法で項目を選んだ場合は、左ボタンを押す操作の代わりに **ENTER** を押します。

### ●メニューの選択

マウスを移動させずにメニューが選べます。(⇒18ページ)

・タイトルメニュー : **SELECT** を押す。

・設定メニュー : **STOP** を押す。

・コマンドバーの各メニュー: 左から **F1** **F2** **F3** …と対応しています。

### ●ショートカットキー

このほかにショートカットキー操作もあります。「(ショートカットキー一覧)⇒172ページ)

## 文字入力のしかた

ここではファイル名やボリューム名などの入力のしかたを説明します。View T E Dなどの編集画面での文字入力のしかたも同じです。文字の入力には「ローマ字入力」と「かな入力」の2種類があります。設定は「システム設定」(⇒52ページ)で行います。

入力した文字は  (部分確定) または  (全確定) で確定します。

入力を間違えたときは  または  を押して、文字を消してから入力し直してください。

### ●入力できる文字 (○：消灯、●：点灯)

CAPSランプ	かなランプ	入力できる文字(全角)	入力できる文字(半角)
○	○	英数小文字	英数小文字
●	○	英数大文字	英数大文字
○	●	ひらがな ※1	カタカナ ※2
●	●	カタカナ ※1	カタカナ ※3

・CAPSランプ、かなランプの点灯、消灯は、それぞれ 、 を押して変更します。

・全角/半角の変更

ファイル名などの入力画面の「○全角」または「○半角」に  を移動して左ボタンを押します。●と表示されているほうが設定されています。

View T E D、Page L I N Kの編集画面では、編集メニューで変更します。(⇒103ページ)

※1：全角のひらがなとカタカナは、漢字に変換できます。(⇒次ページ)

※2：かな字入力の際は、英数小文字が入力されます。

※3：ローマ字入力の際は、英数大文字が入力されます。

### ●ひらがな、カタカナ、英字への変換

ひらがな→カタカナ： を押しながら  を押す。

カタカナ→ひらがな： を押しながら  を押す。

ひらがな→英字： を押しながら  を押す。(ローマ字入力時)

### ●撥音(「ゃ」「ゅ」「ょ」など)と長音(「ー」)の入力

撥音は  を押したあと、文字を入力します。(ローマ字入力時)

長音はローマ字入力時では  (マイナス) を、かな入力時では  (長音) を押します。

### メモ

●ひらがな、漢字は半角文字では入力できません。

●半角のカタカナは、全角のひらがなまたは全角のカタカナで文字を入力し、反転表示されている状態で  を押しながら  (オー) (または  を押しながら ) を押しても入力できます。

●文字の入力はすべて挿入モードで設定されています。不要な文字は、 または  で消してください。

●外字や記号の入力（コード入力）

CTRL を押しながら @ を押すと、記号入力の画面が表示されます。➤を◀◀（後方ジャンプ：文字の種類ごとに表示を切り替えます。）、◀（前候補）、▷（次候補）、▷▷（前方ジャンプ：後方ジャンプとは逆の順に、文字の種類ごとに表示を切り替えます。）に移動し、左ボタンを押すと表示されている記号が切り替わります。➤を目的の記号に移動し左ボタンを押した後、➤を「入力」に移動し左ボタンを押すと記号が入力されます。

## 漢字変換のしかた

全角のひらがなまたはカタカナを漢字に変換します。

●変換のしかた

全角のひらがなまたはカタカナを入力し、反転状態で SPACE を押します。1回で目的の漢字にならないときは、SPACE を繰り返し押すとそのたびに漢字が変わります。SHIFT を押しながら SPACE を押すと、ひとつ前の漢字に戻ります。目的の漢字に変換されたら↵を押します。

SPACE を押したあと、BS を押すと、文字入力の状態に戻ります。

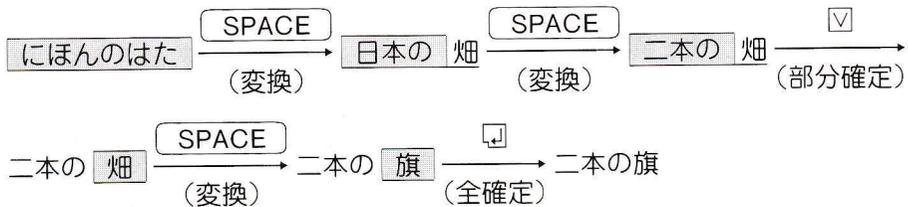
例：今日も元気です



●文節ごとに変換する (▽)

文章を文節単位で変換します。

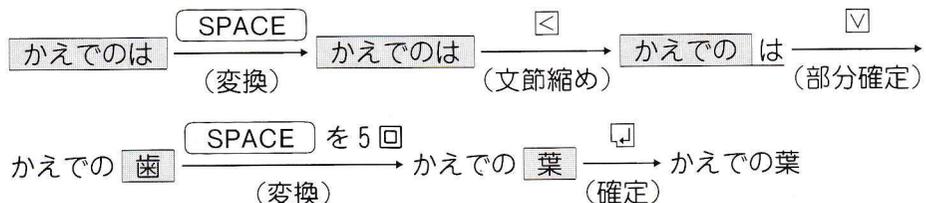
例：二本の旗



●文節の長さを変える (◀ ▶)

文節の区切りがおかしいときは◀（文節縮め）や▶（文節伸ばし）を押して文節の長さを変えます。

例：かえでの葉



## 第3章

# V S H E L L

# 機能いろいろ

V S H E L L 画面での操作のしかたを説明しています。

- ファイルの選びかた……………24
- アイコンの移動……………25
- タイトルメニュー……………26
- 編集メニュー……………36
- 道具メニュー……………43
- 表示メニュー……………44
- 便利メニュー……………45
- D O S メニュー……………50
- 設定メニュー……………51

# ファイルの選びかた

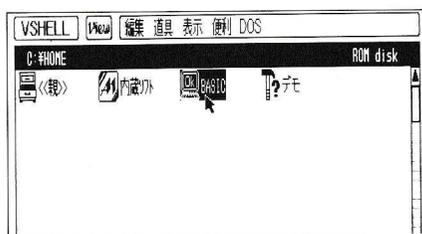
タイトルメニューの「呼出」や編集メニューの「名前変更」「複写」「移動」の操作を行う前には、あらかじめ操作するファイルを選んでおきます。そこでまず、ファイルを選んだり、選んだファイルを取り消したりする操作について説明します。

## ファイルを選ぶ

1

▼を選ぶファイル（アイコン）に移動し、左ボタンを押す。

選んだファイル（アイコン）が反転します。複数のファイルを選ぶときは、この操作を繰り返します。

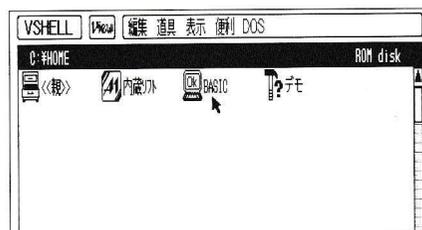


## 選んだファイルを取り消す

1

▼を取り消すファイル名（アイコン）に移動し、左ボタンを押す。

反転表示していたファイルが元の表示に戻ります。複数のファイルを取り消すときは、この操作を繰り返します。



- また、この操作の代わりに右ボタンを押すと、▼の位置に関係なく最後に選んだファイルが取り消されます。  
複数のファイルを選んでいるときは繰り返し押しすごとに、最後に選んだファイルから順に取り消されます。

メモ

- 編集メニューの「全選択」を選ぶと、現在表示中のディレクトリにあるすべてのファイルが選ばれます。また「全解除」を選ぶと、現在表示中のディレクトリにあるすべての選ばれたファイルが取り消されます。（⇒42ページ）
- <<親>>は、複写や削除ができないので選ぶことはできません。（⇒49ページ）

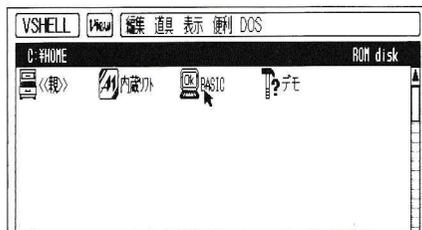
# アイコン表示の移動

表示されているアイコンの位置を、好きな位置に移動させる操作です。ファイルの管理や用途に応じて並べ替えたいときに使うと便利です。

## ファイルの表示位置を変える

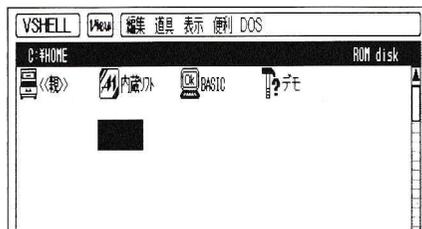
1

▼を位置を変えたいアイコンに移動する。



2

左ボタンを押しながらアイコンを表示させたい位置まで移動する。

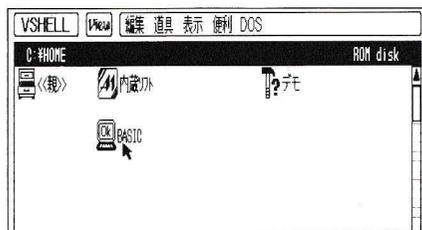


この操作をドラッグといいます。アイコンの大きさの□が移動します。

3

左ボタンを離す。

□の位置にアイコン表示が移動します。



### メモ

- ROMディスクの内容は変更できません。
- 別のアイコンの上に移動させることはできません。
- 移動させたファイル表示をきれいに並べたいときは、表示メニューの「現状を整頓」(⇒44ページ)の操作を行います。
- 移動させたファイル表示を最初の状態に戻したいときは、表示メニューの「詰めて整列」(⇒44ページ)の操作を行います。
- 書き込み保護をしたフロッピーディスクまたはROMディスクのアイコン表示を移動した場合、「現状を整頓」の操作をせずにドライブの変更(⇒27ページ)またはディレクトリの移動(⇒49ページ)を行うと、表示位置は最初の状態に戻ります。
- キーボードで操作している場合は、**[GRAPH]**と**[SELECT]**と**[↓]**を押しながら**[←]**または**[→]**を押しても斜めに移動することはできません。

# タイトルメニュー

タイトルメニューでは、使用しているドライブを変更したり、フロッピーディスクを初期化したりします。

## タイトルメニューを表示させる

「呼出」「ファイル情報」「印刷」をするときはメニューを表示させる前に、あらかじめ操作するファイルを選んでおきます。(⇒24ページ)

1

▼をタイトルバーに移動し、左ボタンを押す。

(または、を押す。)

タイトルメニューが表示されます。  
右ボタンを押すとタイトルメニューが消えます。



### ●タイトルメニューの内容

- 【ドライブ変更】=使用するディスクドライブを変更します。(⇒27ページ)
- 【呼出】=ファイルの内容を呼び出します。ディレクトリを選んだ場合、そのディレクトリ内のファイルが表示されます。(⇒29ページ)
- 【ファイル情報】=ファイルの内容についての概要が表示されます。(⇒30ページ)
- 【ディスク情報】=ディスク(ROMディスク、RAMディスク、SRAMディスク、フロッピーディスクなど)の内容が表示されます。(⇒30ページ)
- 【ディスク初期化】=フロッピーディスクを初期化します。(⇒32ページ)
- 【システム情報】=使用しているMS XViewのシステムの内容が表示されます。(⇒31ページ)
- 【印刷形式】=印刷する用紙の設定をします。(⇒34ページ)
- 【印刷】=ファイルを印刷します。(⇒35ページ)
- 【終了】=MS XViewを終了します。(⇒17ページ)

× 罫

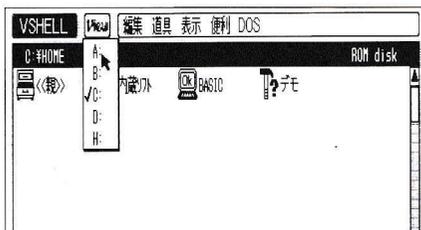
●あらかじめファイルを選んでおかなければ、「呼出」や「ファイル情報」などの項目は選べません。選べない項目は、薄い色の文字で表示されます。

# ディスクドライブを変更する(ドライブ変更)

使用するディスクドライブ（カレントドライブ）を変更します。

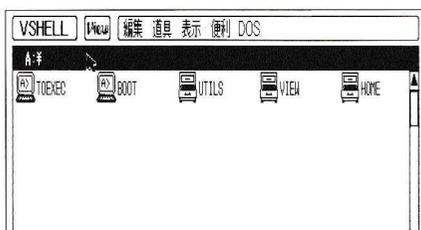
1

▼を「ドライブ変更」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を使用するディスクドライブの名前に移動し、左ボタンを押す。



(※「A」を選んでいきます。)

### ●ディスクドライブについて

通常は内蔵のフロッピーディスクドライブとROMディスク、RAMディスク、SRAMディスクを使用します。増設ドライブ（別売）を使うとファイルコピーのときなどはフロッピーディスクの出し入れが省けて便利です。

#### ディスクドライブの割り当て

	A	B	C	D	E	F	G	H
増設ドライブを使用しない場合	内蔵	内蔵	ROM	SRAM	—	—	—	RAM
	内蔵	ROM	SRAM	—	—	—	—	RAM ※
増設ドライブを使用する場合	増設	増設	内蔵	内蔵	ROM	SRAM	—	RAM
	増設	内蔵	ROM	SRAM	—	—	—	RAM ※

※ [CTRL] を押したまま電源スイッチを入れ、V S H E L L 画面を表示させたとき。(増設ドライブを使用しない場合、この操作はしないでください。)

- 内蔵 : 内蔵のフロッピーディスクドライブ
- 増設 : 増設したフロッピーディスクドライブ
- ROM : 内蔵のROMディスク
- RAM : 内蔵のRAMディスク
- SRAM : 内蔵のSRAMディスク

※ROMディスク、SRAMディスクはMS XView システムで使用するものです。また、RAMディスクの中のファイルは、ほかのソフトで使用しているものもあります。ファイルの変更や削除、移動はしないでください。(ROMディスクは、変更、削除、移動などの操作はできません。)

### ●保存用のフロッピーディスクのディスクドライブの割り当て

本機の内蔵ドライブはひとつだけですが、MS X View では内蔵ドライブをドライブA、ドライブBの2つのディスクドライブとして扱います。

例えば本書では、システムディスク3を使用しているときはドライブAとして扱い、保存用のフロッピーディスクを使用しているときはドライブBとして扱います。したがって、画面に「ドライブA：用のディスクに交換してください」と表示されたときはシステムディスク3を、「ドライブB：用のディスクに交換してください」と表示されたときは保存用のフロッピーディスクを内蔵ドライブにセットします。

このように使用するフロッピーディスクのディスクドライブの割り当てを始めに決めておけばシステムディスクを初期化するような間違いが起こらず安心して操作できます。

※増設ドライブを使用しない場合、保存用のフロッピーディスクをドライブAに設定していると、ファイルの内容を呼び出す操作をしたときに「使用する道具が見つかりません」と表示されます。

※「ドライブB：用のディスクに交換してください」などの表示のときには、右ボタン（またはESC）を押しても左ボタン（または↵）を押す操作と同じ結果になります。

### ●ハードディスクドライブについて

ハードディスクドライブを使用すると、ディスクドライブの割り当ては次のようになります。

- ・パーティション（1台のハードディスクを複数のディスクドライブとして扱うこと）を3に設定したとき

A	B	C	D	E	F	G	H
ハードディスク	ハードディスク	ハードディスク	内蔵	内蔵	ROM	SRAM	RAM

詳細は、アスキー製「MS X HD Interface」の取扱説明書をご覧ください。

## ファイルの内容を呼び出す(呼出)

ファイルの内容を呼び出したり、ソフト(プログラム)を実行させます。メニューを表示させる前に、あらかじめ呼び出すファイルを選んでおきます。(⇒24ページ)

1

▼を「呼出」に移動し、左ボタンを押す。



```
MSX BASIC version 4.1  
Copyright 1990 by Microsoft  
25229 Bytes free  
Disk BASIC version 2.01  
OK  
■
```

(※あらかじめ「BASIC」を選んでいきます。)

- ソフト(プログラム)のファイルを選んだ場合  
選んだプログラムが実行されます。
- Viewのソフトで作成したファイルを選んだ場合  
作成した文書(図形など)を作ったソフトが実行され、選んだ文書(図形など)の内容が表示されます。
- ディレクトリを選んだ場合  
そのディレクトリに含まれているファイルがファイル表示部に表示されます。
- 上記以外のファイルを選んだ場合  
「使用する道具が見つかりません」と表示されます。このファイルは呼び出せません。▼を「確認」に移動し、左ボタンを押すとメッセージは消えます。
- MSXView用の別売アプリケーションで作成したファイルを選んだ場合  
アプリケーションが実行され、選んだ文書(図形など)の内容が表示されます。このときファイルを保存しているフロッピーディスクは、Bドライブに設定しておいてください。(⇒28ページ)

メモ

- 呼び出したいファイルを指定するときに、▼をファイルに移動し、左ボタンをすばやく二度押す(ダブルクリック)と、「呼出」と同じ操作になります。
- 複数のファイルを選んだときは、最後に選んだファイルを呼び出します。
- ROMディスクの「COMMAND 2.COM」を呼び出したあと、MSXViewに戻りたいときは、「EXIT」を入力してください。

## ディスクの内容を確認する(ファイル情報、ディスク情報、システム情報)

フロッピーディスクやファイルの種類や容量を表示させます。

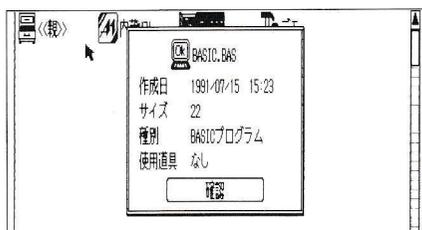
### ● ファイル情報

保存(登録)されているファイルの情報を表示させます。ファイル情報を見る場合は、メニューを表示させる前に、あらかじめ情報を知りたいファイルを選んでおきます。

1

▼を「ファイル情報」に移動し、左ボタンを押す。

▼を「確認」に移動し、左ボタンを押すと元の画面に戻ります。



【作成日】 = ファイルを作成した日付と時刻が表示されます。

【サイズ】 = ファイル容量(バイト)が表示されます。

【種別】 = ファイルの種類が表示されます。

MS XView システム: MS XView のシステムファイル

オーバーレイ: View のソフトが特定の機能を実行するときに必要なシステムファイル

道具: MS XView で使えるソフト

デスクアクセサリ: 設定メニューのプログラム

デスクアクセサリデータ: デスクアクセサリのデータファイル

フォント: MS XView で使用する書体が収められたファイル

標準ファイル: MS XView のソフト間で共通のデータファイル

プリンタドライバ: プリンタを使用するためのプログラムファイル

MS X DOS システム: MS X-DOS のシステムファイル

MS X DOS コマンド: MS X-DOS で動作するコマンド

内蔵ソフト: 内蔵ソフトのシステム

BASIC プログラム: BASIC のプログラムファイル

ディレクトリ: ディレクトリ

書類: 上記以外のファイル

【使用道具】 = ファイルを作成したソフトが表示されます。

メモ

- 「ファイル情報」で複数のファイルを指定している場合、「確認」を押すたびに次のファイル情報が表示されます。「中止」を押すと表示が消えます。
- 作成日の日付はパソコンの内蔵の時計から記録されます。

## ● ディスク情報

現在表示されているフロッピーディスクやROMディスク、SRAMディスクなどの情報を表示させます。

1

⌘を「ディスク情報」に移動し、左ボタンを押す。

⌘を「確認」に移動し、左ボタンを押すと元の画面に戻ります。



【ドライブ】 = ファイル表示しているドライブ名が表示されます。

【ボリューム名】 = ディスクのボリューム名 (⇒46ページ) が表示されます。

【全容量】 = ディスクの全容量 (バイト) が表示されます。

【使用容量】 = ディスク中のファイルの合計容量 (バイト) が表示されます。

【残り容量】 = ディスクの全容量から使用容量を引いた値 (バイト) が表示されます。

## ● システム情報

MS XView のシステム (バージョンなど) の情報を表示します。

市販のMS XView ソフトがバージョンの制限がある場合などに確認できます。

1

⌘を「システム情報」に移動し、左ボタンを押す。

⌘を「確認」に移動し、左ボタンを押すと元の画面に戻ります。

# フロッピーディスクを初期化する(初期化)

フロッピーディスクを初期化します。

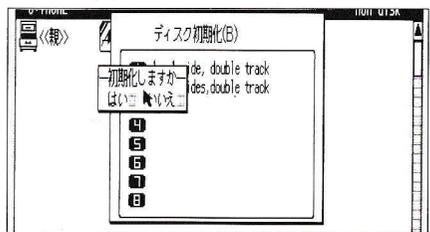
1

▼を「ディスク初期化」に移動して、左ボタンを押す。



2

- 1DD (片面) フロッピーディスクを初期化する場合、▼を1に移動し、左ボタンを押す。
- 2DD (両面) フロッピーディスクを初期化する場合、▼を2に移動し、左ボタンを押す。



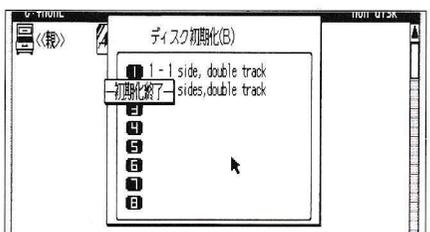
3

▼を「はい」に移動し、左ボタンを押す。



4

ドライブB (増設ドライブを使用していない場合、内蔵のフロッピーディスクドライブ) に初期化するフロッピーディスクをセットして、▼を「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。



初期化が始まります。

## ご注意

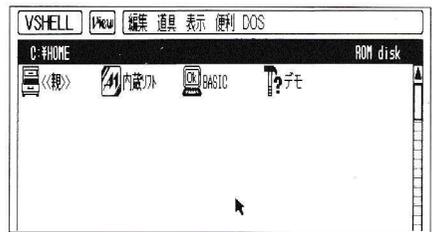
●初期化するとフロッピーディスクの内容はすべて消去されます。

## メモ

●初期化は新規に購入したとき、はじめの1回だけが必要です。

5

「初期化終了」のメッセージが表示されたら、右ボタンを2度押す。



**ご注意**

●初期化が始まると途中で中止することはできません。

**メモ**

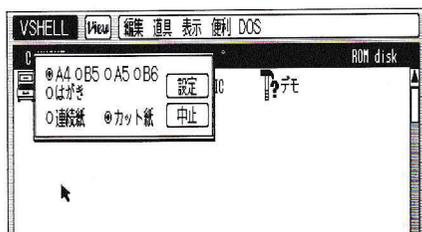
●初期化には約2分15秒かかります。

## 印刷方法を設定する(印刷形式)

印刷用紙の設定をします。印刷を行う前には必ず設定しておいてください。  
操作の前に、あらかじめ設定メニューの「プリンタ」の設定をしておいてください。(⇒  
51ページ)

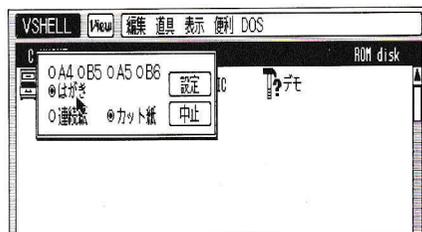
1

▼を「印刷形式」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を設定する項目に移動し、左ボタンを押す。



3

▼を設定に移動し、左ボタンを押す。

設定をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

### ●用紙の大きさの設定

- 【A 4】＝A 4 (210×297mm) のサイズ of 用紙に印刷します。
- 【B 5】＝B 5 (182×257mm) のサイズ of 用紙に印刷します。
- 【A 5】＝A 5 (148×210mm) のサイズ of 用紙に印刷します。
- 【B 6】＝B 6 (128×182mm) のサイズ of 用紙に印刷します。
- 【はがき】＝官製はがきに印刷します。

### ●用紙の種類の設定

- 【連続紙】＝連続紙に印刷します。
- 【カット紙】＝カット紙に印刷します。

メモ

- 設定した印刷形式は、新しく設定し直すまで有効です。
- View P A I N T、Page E D I Tは、印刷形式を変更しても用紙の大きさは変わりません。

## 印刷する(印刷)

ファイルを印刷します。メニューを表示させる前に、あらかじめ印刷するファイルを選んでおきます。(⇒24ページ) また、「印刷形式」や設定メニューの「プリンタ」を設定しておいてください。

1

マウスを「印刷」に移動し、左ボタンを押す。

画面の指示にしたがって操作をしてください。



### ●ファイルの印刷

印刷の操作をすると、選んだファイルを作ったソフトの画面が表示されてから、印刷を行います。操作方法は、ソフトによって違います。下記のページを参照してください。

View T E D : 99ページ  
 View D R A W : 129ページ  
 View P A I N T : 129ページ  
 Page E D I T : 129ページ  
 Page L I N K : 99ページ

### ●印刷の中断

印刷を中断したいときは、**GRAPH** を押しながら **STOP** を押します。マウスの右ボタンを押しても中断しません。

メモ

- 複数のファイルを選んだときは、最後に選んだファイルが印刷されます。
- 保存用のフロッピーディスクの中のファイルを印刷するときは、ドライブ変更 (⇒27ページ) でBドライブに切り換えてからファイルを選んでください。

# 編集メニュー

新しいディレクトリを作ったり、ファイルの名前変更や編集などの操作をするためのメニューです。編集の操作では「移動」「複写」「削除」等が行えます。

## 編集メニューを表示させる

「名前変更」「削除」を行う場合は、メニューを表示させる前に編集するファイルを選んでおく必要があります。(⇒24ページ)

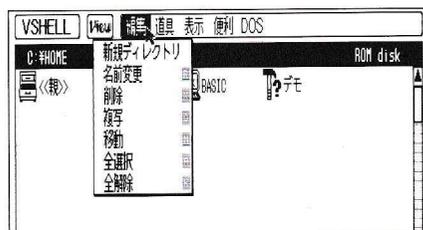
「複写」「移動」を行う場合は、メニューを表示させる前に編集するファイルと複写先、移動先のドライブまたはディレクトリを選んでおく必要があります。

1

▼をコマンドバーの「編集」に移動し、左ボタンを押す。

(または、**F1** を押す。)

右ボタンを押すと編集メニューは消えます。



### ●編集メニューの内容

- 【新規ディレクトリ】＝新しいディレクトリを作ります。(⇒37ページ)
- 【名前変更】＝選んだファイルまたはディレクトリの名前を変更します。(⇒38ページ)
- 【削除】＝選んだファイルをディスクから消去します。(⇒39ページ)
- 【複写】＝選んだファイルのコピーを作ります。(⇒40ページ)
- 【移動】＝選んだファイルを別のドライブまたはディレクトリに移動します。(⇒41ページ)
- 【全選択】＝すべてのファイルを、編集するファイルとして選びます。(⇒42ページ)
- 【全解除】＝選ばれているファイルを、すべて元の状態にもどします。(⇒42ページ)

### ご注意

- 「複写」「移動」「名前変更」「削除」のとき使用するフロッピーディスクが書き込み保護の状態になっていたり、ROMディスクのときは、「ディスクが書き込み保護されています」とメッセージが表示されます。書き込み保護を解除して、▼を「再実行」に移動し、左ボタンを押してください。または、別のフロッピーディスクに交換して、操作をやり直してください。操作を中止する場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押してください。

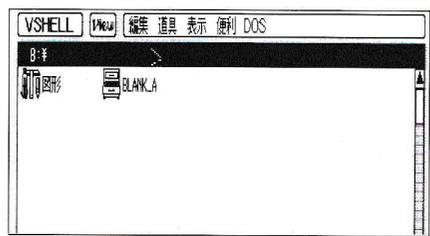
# ディレクトリを作る(新規ディレクトリ)

新しいディレクトリを作ります。

1

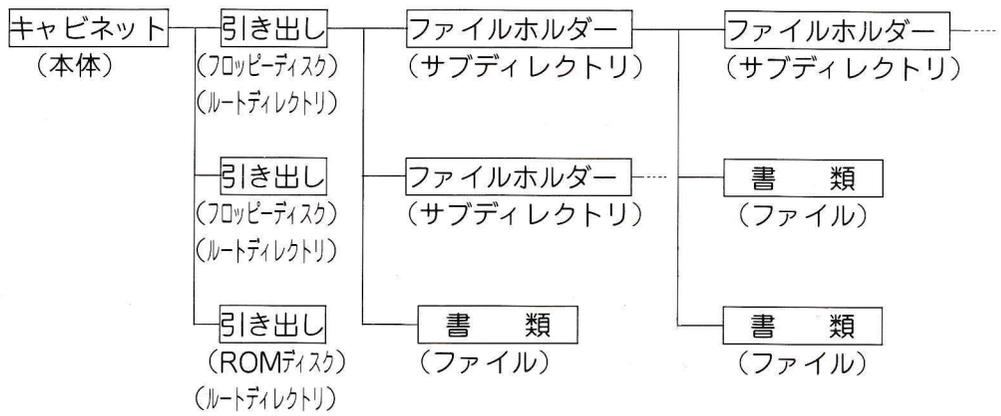
マウスを「新規ディレクトリ」に移動し、左ボタンを押す。

新しく「BLANK\_A」というディレクトリが作られます。



●ディレクトリについて

フロッピーディスクやRAMディスクなどの中で、どのようなファイルがどの部分に入っているかという情報が記録されている部分をディレクトリと呼びます。ディレクトリは階層的な構造をしており、最初の階層をルートディレクトリ、その後続く階層をサブディレクトリと呼びます。本体をキャビネット、ファイルを書類と考えると、引き出しやファイルホルダーがディレクトリにあたります。



したがって、新しく作ったディレクトリの中には、ファイルを保存しておけるだけでなく、さらにその中に新しいディレクトリを作ることができます。V S H E L L では、ファイルをディレクトリごとに表示します。

**メモ**

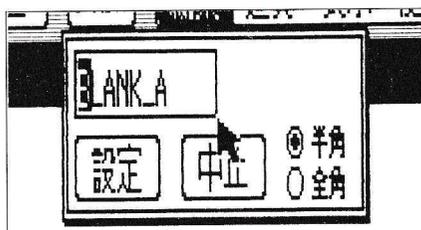
- 新しく作られたディレクトリ名を変えるときは、名前変更を行ってください。(⇒38ページ)
- すでに「BLANK\_A」のディレクトリ名が存在するときは、「BLANK\_B」「BLANK\_C」…と順に「BLANK\_Z」まで名前が付けられます。

## ファイル名を変える(名前変更)

ファイルやディレクトリの名前を変えます。メニューを表示させる前に、あらかじめ名前を変えるファイルを選んでおきます。(⇒24ページ)

1

▼を「名前変更」に移動し、左ボタンを押す。



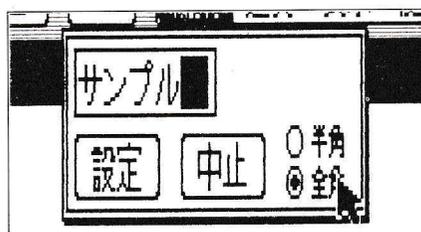
(※あらかじめ「BLANK\_A」を選んでいきます。)

2

新しいファイル名を入力する。

元のファイル名を [DEL] を押してから入力してください。

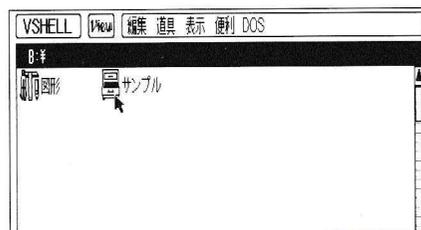
ファイル名の長さは、半角文字で8文字、全角文字で4文字までです。半角の漢字、ひらがなは入力できません。  
(「文字の入力のしかた」⇒21ページ)



3

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

ファイル名変更をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



### ご注意

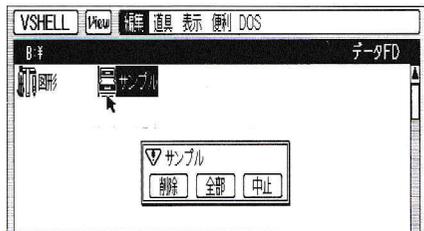
- すでにあるファイルと同じ名前を使うことはできません。
- 拡張子は変更できません。
- 現在表示中のディレクトリ以外のファイルを選んだときは、「名前変更」を選択できません。
- 入力した文字は必ず確定してから設定をしてください。
- 文字の入力は挿入モードで行われます。入力された文字の合計が半角文字で8文字、全角文字で4文字を超えた文字は、確定したときに無視されます。

## ファイルを削除する(削除)

ファイルをフロッピーディスクやRAMディスクから削除します。メニューを表示させる前に、あらかじめ削除するファイルを選んでおきます。(⇒24ページ)

1

マウスを「削除」に移動し、左ボタンを押す。

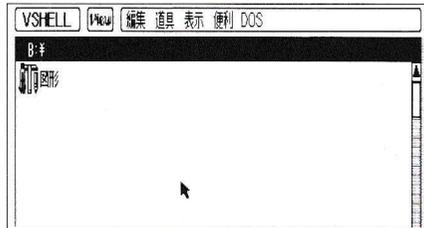


(※あらかじめ「サンプル」を選んでいきます。)

2

マウスを「削除」に移動し、左ボタンを押す。

削除をやめる場合は、マウスを「中止」に移動し、左ボタンを押します。



### ●複数のファイルを削除する場合

複数のファイルを選んだときは、表示されるファイル名を確認しながら[2]の操作を繰り返します。

マウスを「全部」に移動し、左ボタンを押すと、選んだファイルが一度に削除されます。

### ご注意

- 削除したファイルは元に戻りません。
- ディレクトリを消去すると、そのディレクトリの中のファイルやディレクトリもすべて削除されます。

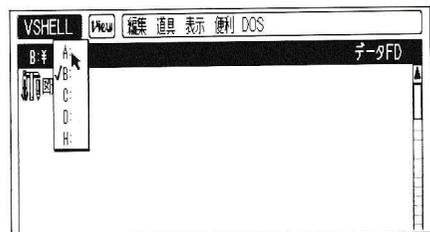
## ファイルを複製、移動する(複製)(移動)

ファイルのコピーを作ったり、ファイルを別のドライブまたはディレクトリに移動します。操作の前に、あらかじめ複製(移動)するファイルをえらんでおきます。(⇒24ページ)

1

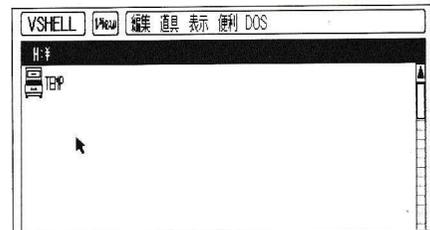
タイトルメニューを表示させ(⇒26ページ)、**▼**を「ドライブ変更」に移動し、左ボタンを押す。

複製(移動)先のドライブを変更しない場合は、この操作をせずに**3**に進みます。



2

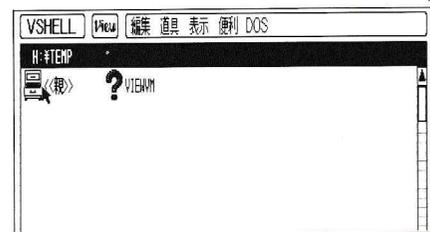
**▼**を使用するディスクドライブの名前に移動し、左ボタンを押す。



3

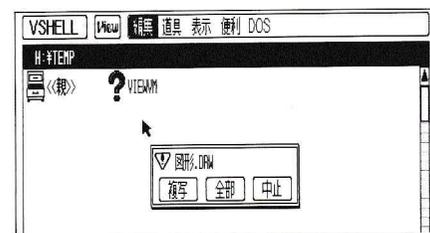
**▼**を複製(移動)先のディレクトリに移動し、左ボタンを2度すばやく押す。(ダブルクリック)

複製(移動)先のディレクトリを変更しない場合は、この操作をせずに**4**に進みます。



4

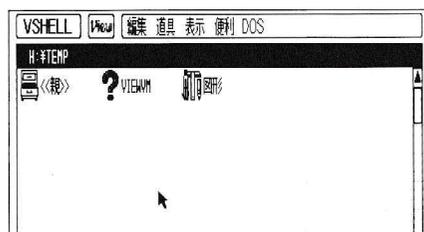
編集メニューを表示させ(⇒36ページ)、**▼**を「複製」「移動」に移動し、左ボタンを押す。



## 5

⌘を「複写」(「移動」)に移動し、左ボタンを押す。

複写(移動)をやめる場合は、⌘を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



●複写(移動)先に別のドライブを選んだ場合

「ドライブ×用のディスクに交換して下さい」のメッセージが表示される場合があります。表示されるメッセージにしたがい、フロッピーディスクを交換してください。

●複数のファイルを複写(移動)する場合

複数のファイルを選んだときは、表示されるファイル名を確認しながら5の操作を繰り返します。

⌘を「全部」に移動し、左ボタンを押すと、選んだファイルは一度に複写(移動)されます。

ご注意

- 複写(移動)中は中止できません。IN USE (インユース) ランプの点灯中にフロッピーディスクを取り出すと、フロッピーディスクが使用できなくなる場合があります。
- 複写(移動)には、少し時間がかかります。
- 同じディレクトリ内で複写を作成したとき、ファイル名の7文字目と8文字目に「\_A」(すでに「\_A」があるときは「\_B」, 「\_C」…「\_Z」)を上書きします。  
例: 「SAMPLE !!」を複写すると、「SAMPLE\_A」というファイルが作られます。
- 複写先のディレクトリに、複写したいファイルと同じ名前のファイルがあるときは、上書きをしてもよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

メモ

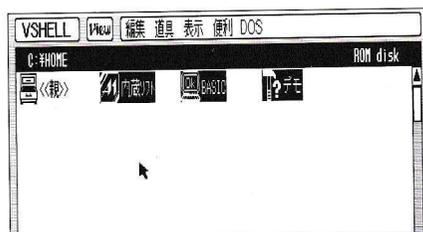
## すべてのファイルを選ぶ(全選択)

現在表示中のディレクトリにあるすべてのファイルを、編集するファイルとして選びます。

1

▼を「全選択」に移動し、左ボタンを押す。

すべてのファイルの表示が反転されます。



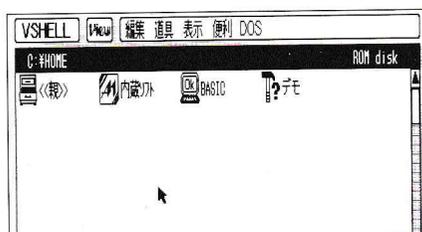
## 選んだファイルを取り消す(全解除)

選んだファイルをすべて取り消します。

1

▼を「全解除」に移動し、左ボタンを押す。

反転表示されていたファイルが元の表示に戻ります。



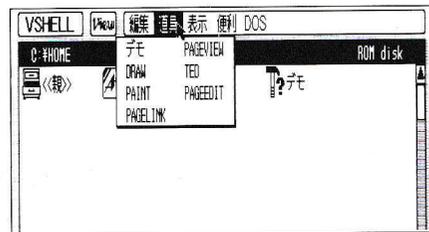
# 道具メニュー

使用するMS XViewの道具「View DRAW」「View TED」「View PAINT」「Page BOOK (Page EDIT/Page LINK/Page VIEW)」または市販のMS XView用のソフトを始めるメニューです。操作の前にあらかじめシステムディスク3をセットしておきます。

## 道具を選ぶ

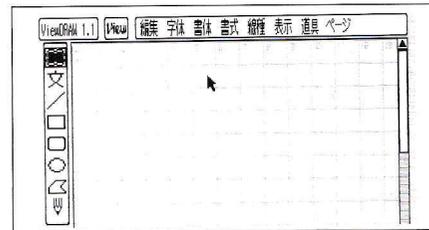
1

マウスをコマンドバーの「道具」に移動し、左ボタンを押す。  
(または、**F2** を押す。)



2

マウスを起動させるソフト名に移動し、左ボタンを押す。



### ●道具メニューの内容

- 【D R A W】= 「View DRAW (⇒72ページ)」を始めます。
- 【T E D】= 「View TED (⇒66ページ)」を始めます。
- 【P A I N T】= 「View PAINT (⇒72ページ)」を始めます。
- 【PAGEEDIT】= 「Page EDIT (⇒80ページ)」を始めます。
- 【PAGELINK】= 「Page LINK (⇒80ページ)」を始めます。
- 【PAGEVIEW】= 「Page VIEW (⇒80ページ)」を始めます。

### ご注意

- Page VIEW以外のソフトを始めるときは新規作成画面になります。
- 市販のMS XView用のソフトを始める場合は、1の操作の前に、使用するソフトのフロッピーディスクをセットしておいてください。また、システムディスク3をセットしていないときは、View TED、View DRAW、View PAINT、Page EDIT、Page LINKは表示されません。
- 道具を使って作成、保存したファイルを編集する場合は、VShell画面でマウスを編集するファイルに移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリック)とソフトが始まり、ファイルの内容が表示されます。

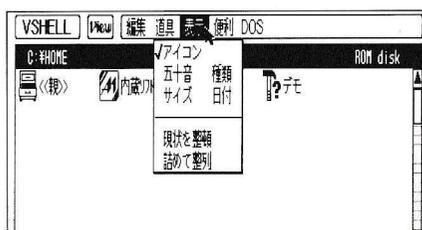
# 表示メニュー

ファイルの表示方法を変更したり、ファイルを整理するメニューです。

## 表示方法を選ぶ

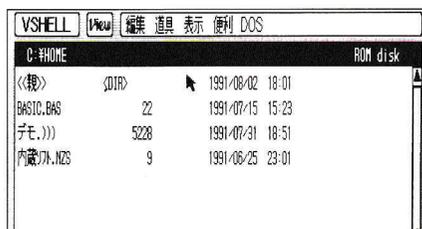
1

▼をコマンドバーの「表示」に移動し、左ボタンを押す。  
(または、**F3**を押す。)



2

▼を変更する表示方法に移動し、左ボタンを押す。



### ●表示メニューの内容

- 【アイコン】 = ファイル名の先頭にアイコンを付けて表示します。
- 【50音順】 = ファイル名をJIS漢字コード順に並べ替えて表示します。文字サイズによる並べ替えは①英数字(半角) → ②全角文字 → ③カタカナ(半角)の順です。
- 【種類】 = 拡張子のアルファベット順に表示します。拡張子のないファイルとディレクトリは先頭に表示します。
- 【サイズ】 = ファイル容量の大きいものから順に表示します。
- 【日付】 = 作成した日付の新しいものから順に表示します。
- 【現状を整頓】 = アイコン付で表示されているとき、ファイルの表示位置を変えた(⇒25ページ)後のファイルの左端を縦横そろえて表示し直します。
- 【詰めて整列】 = アイコン付で表示されているとき、ファイルの表示位置を変えた(⇒25ページ)後の各ファイルを元の順序(並べ替えを行う前の状態)に戻します。

メモ

- 「50音順」「種類」「サイズ」「日付」で並べ替えると、拡張子付きのファイル名、ファイルを作成した日時、ファイルサイズが表示されます。

# 便利メニュー

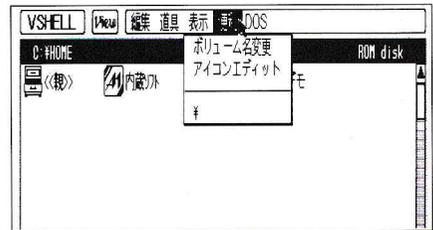
フロッピーディスクやRAMディスクに名前を付けたり、アイコンを作りかえたりします。「ボリューム名」の操作をするときは、便利メニューを表示させる前にあらかじめ名前を付けるドライブを表示させておきます。(⇒27ページ)

## 便利メニューを表示させる

1

▼をコマンドバーの「便利」に移動し、左ボタンを押す。  
(または、**F4**を押す。)

右ボタンを押すと、便利メニューが消えます。



カレントパス

### ●便利メニューの内容

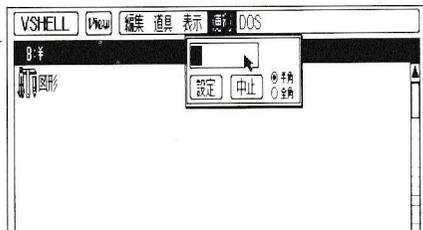
- 【ボリューム名変更】=ディスクに名前を付けます。(⇒46ページ)
- 【アイコンエディット】=アイコンの形を作りかえます。(⇒47ページ)
- 【カレントパス】=ルートディレクトリまたは現在表示されているディレクトリの親ディレクトリに戻ります。(⇒49ページ)  
ルートディレクトリ(ディレクトリの欄に「¥」が表示されているときは表示されません。)

## ディスクに名前を付ける(ボリューム名変更)

ディスクに名前(ボリューム名)を付けます。使用しているディスクの名前が画面に表示されます。(ボリューム名を付けていない場合は、何も表示されません。)メニューを表示させる前に、あらかじめ名前を付けるドライブを表示させておきます。(⇒27ページ)

1

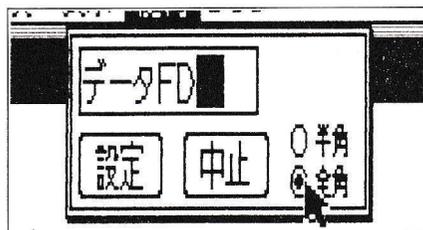
▼を「ボリューム名変更」に移動し、左ボタンを押す。



2

ボリューム名を入力する。

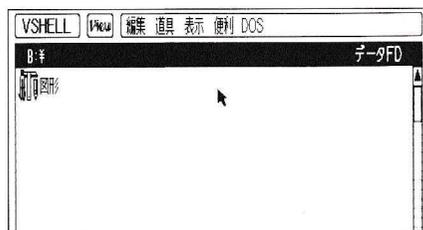
入力できる文字数は全角5文字、半角11文字です。全角文字を入力するときは、▼を「全角」に移動し、左ボタンを押します。



3

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

ボリューム名の設定を中止する場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



### ご注意

- ボリューム名は半角の漢字、ひらがなは入力できません。
- [2]で新しいボリューム名を入力する前に、前のボリューム名を [DEL] を押して消去しておいてください。
- 入力した文字は、必ず確定してから設定してください。
- 文字の入力のしかたは21ページを参照してください。

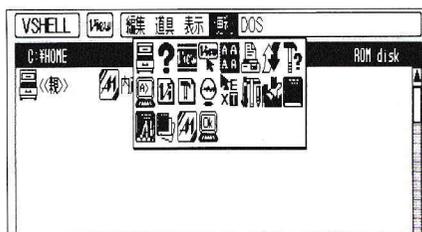
### メモ

## アイコンの形を変える(アイコンエディット)

既に登録されているアイコンを作りかえます。

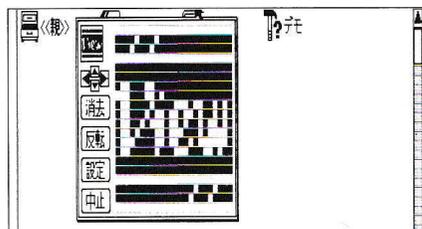
1

▼を「アイコンエディット」に移動し、左ボタンを押す。



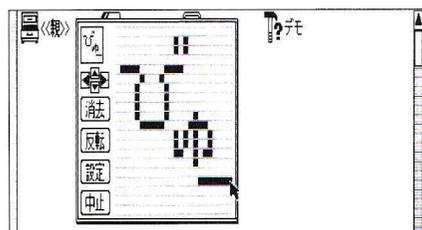
2

▼を変更するアイコンに移動し、左ボタンを押す。



3

各編集機能を使って新しくアイコンを作る。



4

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

アイコンの設定をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

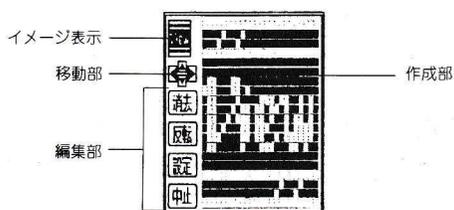


### ご注意

### メモ

- エスケープ立ち上げ(「取扱説明書」⇨63ページ)を行うと、作りかえたアイコンがすべて元の形に戻ります。
- ファイル表示部に変更したアイコンが表示されている場合は、ファイル表示部のアイコンも変わります。
- 変更したアイコンは、新しく変更するまで有効です。

## ●アイコンの作りかえかた



- 【作成部】＝この部分でアイコンの作成、修正を行います。  
 ▼を作成、修正するマス目に移動し、左ボタンを押すと、そのマス目が白黒反転します。(□←→■)  
 ・左ボタンを押したまま▼を移動させると連続して白黒反転させることができます。(□□□□←→■■■■)
- 【イメージ表示】＝作成中のアイコンが実際にどのように表示されるかをここで確認します。
- 【移動部】＝▼を△▽◇×に移動して左ボタンを押すと、作成部全体が上下左右に移動します。  
 移動して枠外に追いやられたドットは、作成部の反対側に表示されます。
- 【編集部】＝作成、修正した外字を編集します。  
 ・消去：作成部のマス目をすべて□にします。  
 ・反転：作成部のマス目をすべて白黒反転します。  
 ・設定：作成部の表示の形にアイコンを設定します。  
 ・中止：操作を取り消します。

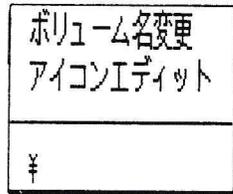
## ●アイコン一覧

アイコンを作りかえる前は以下のアイコンが設定されています。

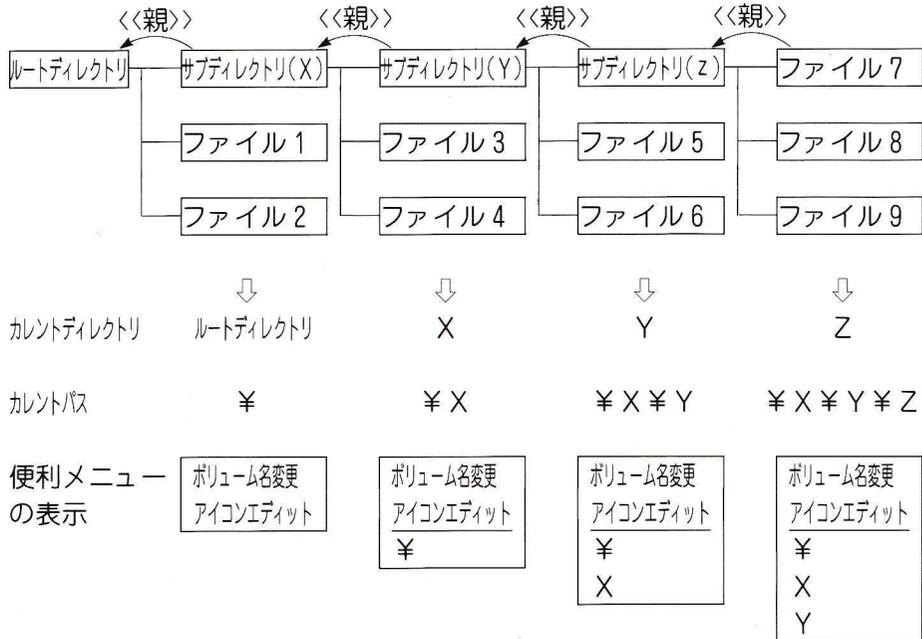
- |                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| 📁: ディレクトリ               | 📄: オーバーレイファイル               |
| ? : ほかのアイコンにあてはまらないファイル | 📁: V S H E L L 関係のファイル      |
| 🖥️: M S X V i e w システム  | 📄: T E D で作ったファイル           |
| ⚙️: 設定メニューのプログラム        | 📄: D R A W で作ったファイル         |
| 🔍: フォント                 | 🖼️: P A I N T で作ったファイル      |
| 🖨️: プリンタドライバ            | 📄: P a g e V I E W のファイル    |
| 📄: 登録した標準ファイル           | 📄: P a g e E D I T で作ったファイル |
| 📄: デモファイル               | 📄: P a g e L I N K で作ったファイル |
| 📄: 拡張子が、COM、.BAT のファイル  | 📁: 内蔵ソフトのシステム               |
| 📄: ディスクアクセサリのデータファイル    | 📄: 拡張子が、BAS のファイル           |

## カレントパスの表示とディレクトリの移動(カレントパス)

現在、表示されているディレクトリ（カレントディレクトリ）が別のディレクトリに含まれているときに表示されます。  
 ルートディレクトリからカレントディレクトリまでのディレクトリを並べたものをカレントパスといいます。

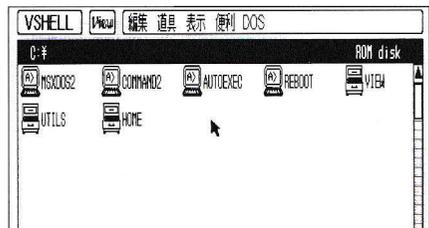


### ●カレントディレクトリとカレントパスの関係



# 1

マウスカーソルをカレントパス内の表示するディレクトリ名に移動し、左ボタンを押す。



例) 上記のディスク内でディレクトリ (Z) のファイルを表示しているときにマウスカーソルを X に移動し、左ボタンを押すとサブディレクトリ (Y) の中のファイル (サブディレクトリ (Y)、ファイル3、ファイル4) が表示されます。

※ 親ディレクトリが表示されているとき、マウスカーソルを親ディレクトリに移動し左ボタンをすばやく2度押すと、ひとつ上の階層に移動します。

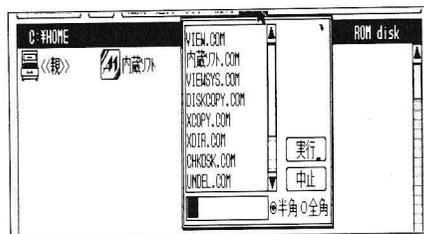
ディスク内のDOSファイル呼び出し、操作します。操作の前にはあらかじめシステムディスク3をセットしておきます。

## DOSのファイル进行操作する

1

▼をコマンドバーの「DOS」に移動し、左ボタンを押す。  
(または、**F5**を押す。)

システムディスク3のカレントパス上のディレクトリで実行可能なコマンドまたはバッチファイルのファイル名が表示されます。



2

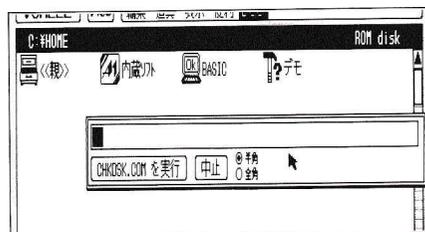
実行するファイル名に▼を移動し、左ボタンを押す。

一覧の中からコマンドを選ぶ代わりにキーボードからコマンドを入力することもできます。



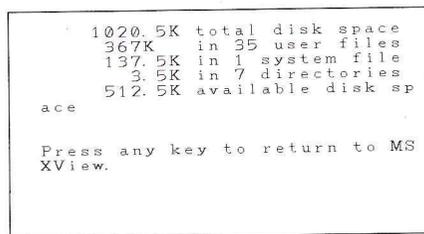
3

「実行」に▼を移動し、左ボタンを押す。



4

コマンドに続ける文字(ファイル名やパラメータなど)を入力して(またはそのまま)、▼を「○○を実行」に移動し、左ボタンを押す。



メモ

- 2で、▼を使用するファイル名に移動し、左ボタンをすばやく2度押すと、そのファイルが実行されます。
- 4で入力する文字については、別冊の「BASIC入門」の「MSX-DOS 2リファレンス表」を参照してください。

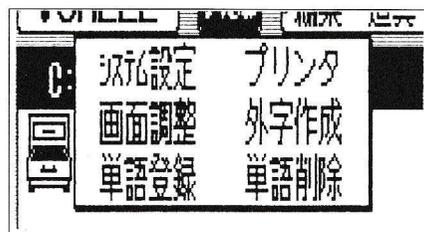
# 設定メニュー

設定メニューは、入出力方法の設定や画面の調整、単語や外字の登録などを行うメニューです。

## 設定メニューを表示させる

1

▼を設定バーに移動し、左ボタンを押す。  
(または、**STOP** を押す。)



### ●設定の内容

- 【システム設定】＝入力の方法を設定します。(⇒52ページ)
- 【プリンタ】＝使用するプリンタを選びます。(⇒54ページ)
- 【画面調整】＝画面の色や位置を調整します。(⇒55ページ)
- 【単語登録】＝よく使う単語を登録します。(⇒57ページ)
- 【単語削除】＝登録した単語を削除します。(⇒59ページ)
- 【外字作成】＝新しい文字や記号を作り、登録します。(⇒60ページ)

### メモ

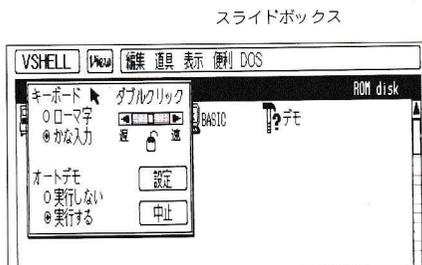
- 設定した内容は、パソコン内に記憶されているので、使うたびに設定する必要はありません。MSXViewのほかのソフトを始めたときも有効です。ただし本体に乾電池がセットされていなかったり、「終了」の操作をせずに電源スイッチを切ると、その時の設定内容は記憶されません。
- 単語登録、単語削除以外の設定は、内蔵ワープロの設定には影響しません。プリンタの設定を変更したときは、内蔵ソフトのプリンタ選択も変更してください。

## 入力方法等を設定する(システム設定)

キーボードのかな入力方法の設定、オートデモの設定・解除、ダブルクリックのスピードの設定を行います。

1

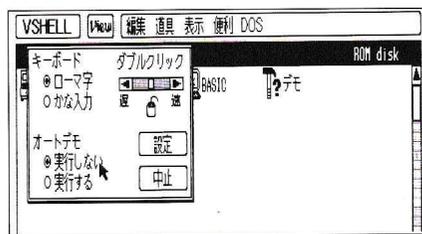
▼を「システム設定」に移動し、左ボタンを押す。



2

それぞれの項目 (⇒次ページ) を設定する。

●が設定されている項目です。



3

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

設定をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

### ●システム設定の項目について

- ・かなの入力方法の設定

【ローマ字】=ローマ字入力の設定をします。

【かな入力】=かな入力の設定をします。

- ・オートデモの設定/解除

【実行しない】=5分以上何も操作しない場合も、デモ画面は表示されません。

【実行する】=V S H E L L の画面が表示されてから操作をせずにそのままの状態にしておいた場合、約5分でデモ画面が表示されます。デモ画面は、何かキーを押すとV S H E L L 画面に戻ります。

- ・ダブルクリックのスピード設定

左ボタンを2度すばやく押す(ダブルクリック)ときの間隔を設定します。スライドボックスを左に寄せると間隔は長く、右に寄せると間隔は短くなります。

[設定した間隔の表示]

- ・設定後、マウスの絵が2回点滅します。この点滅の間隔が新しく設定された間隔です。

[ダブルクリックの練習]

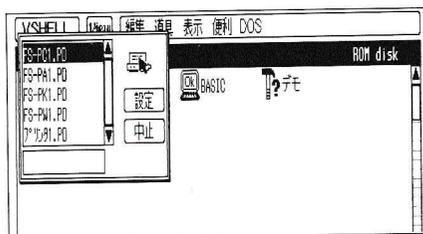
- ①  をスライドボックスの下のマウスの絵に移動し、左ボタンを2度すばやく押します。
- ② 設定されている間隔よりも短い間隔で押すことができると、マウスの絵が1回点滅します。点滅しない場合は、もう少し長い間隔を設定してください。

## プリンタを選ぶ(プリンタ)

使用するプリンタを選びます。操作の前に、あらかじめシステムディスク3をセットしておきます。

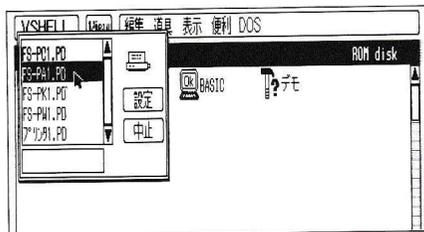
1

▼を「プリンタ」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を新しく設定するプリンタ名に移動し、左ボタンを押す。



3

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

設定をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

### ご注意

メモ

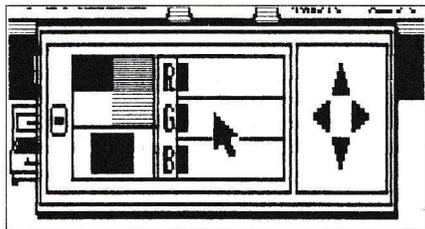
- エスケープ立ち上げ(「取扱説明書」⇒63ページ)を行うと、プリンタの設定は取り消されます。
- [2]で▼を設定するプリンタ名に移動し、左ボタンをすばやく2度押ししても(ダブルクリック)、設定できません。
- 「プリンタ1」は、SONY製HBP-F1およびHBP-F1Cを表します。詳しくは、別冊の「取扱説明書」の69ページをご覧ください。
- ここで行うプリンタ設定は、内蔵ソフトのワープロでのプリンタ設定とは関係ありません。

## 画面を調整する(画面調整)

表示を見やすくするため、画面の色を変えたり、画面全体を上下左右に移動させます。

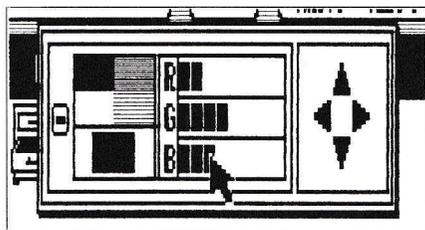
1

▼を「画面調整」に移動し、左ボタンを押す。



2

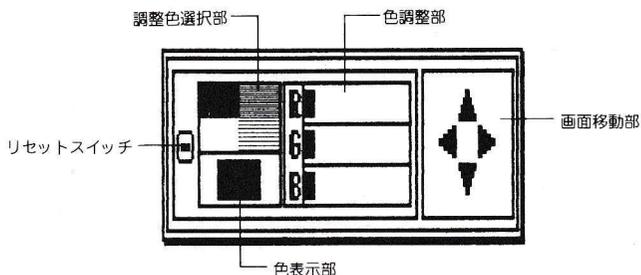
各調整機能(⇒次ページ)を使って画面を調整する。



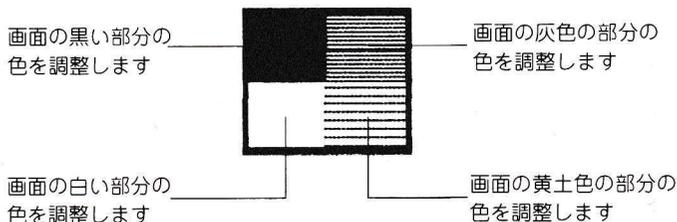
3

調整が終わったら、右ボタンを押す。

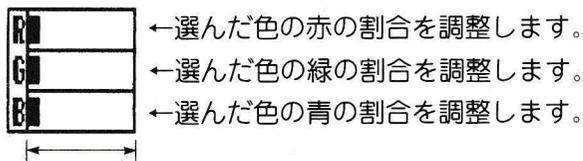
●画面の調整機能について



【調整色選択部】＝画面上の、色調整したい部分を選びます。  
 ▼を調整したい色に移動し、左ボタンを押します。



【色調整部】＝選んだ色の色合を調整します。  
 ▼を調整したい色の割合の部分に移動し、左ボタンを押します。



色の割合が大きい ←→ 小さい

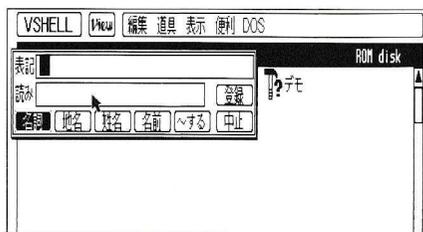
【色表示部】＝調整された色が表示されます。  
 【リセットスイッチ】＝調整された色を元の色に戻します。  
 ▼を「リセットスイッチ」に移動し、左ボタンを押します。  
 【画面移動部】＝画面全体の位置を、上下左右に移動します。  
 ▼を移動したい方向のマークに移動し、左ボタンを押します。

## よく使う単語を登録する(単語登録)

よく使う語句などは、単語登録しておくことで簡単に呼び出すことができます。登録された単語は、普通の単語と同じように登録した読みを入力して **[SPACE]** を押すと変換されます。

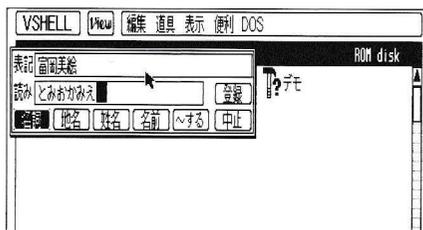
1

▼を「単語登録」に移動し、左ボタンを押す。



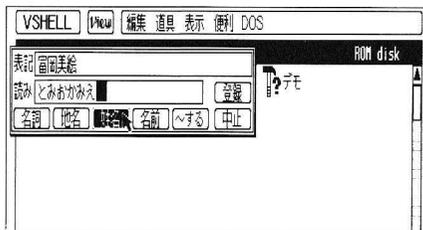
2

登録する単語を入力して[ ]を押し、読みを入力する。



3

▼を選ぶ分類に移動し、左ボタンを押す。



4

▼を「登録」に移動し、左ボタンを押す。

登録をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

### ご注意

- ここで登録した単語は内蔵ソフトのワープロでも使うことができます。
- エスケープ立ち上げ（「取扱説明書」⇨63ページ）を行うと、登録した単語はすべて消去されます。
- 「読み」に入力する文字は、必ず確定してください。

●登録の項目について

【表記入力部】＝登録する単語を20文字以内で入力します。

半角文字以外は、どの文字、記号を使ってもかまいません。

【読み入力部】＝登録する単語の読みを、全角ひらがな15文字以内で入力します。

【分類選択部】＝登録する単語を「名詞」「地名」「姓名」「名前」「～する」の5種類のどれにあたるかを選びます。

「～する」は、サ変動詞として入力しても、正しく変換される単語を登録するときに選びます。

[例] 「プログラム」という単語を「名詞」として登録

「ぷろぐらむする」と入力して  を押す

→ 「プログラム刷」

「プログラム」という単語を「～する」として登録

「ぷろぐらむする」と入力して  を押す

→ 「プログラムする」

× モ

●単語削除のときも、同じ操作です。

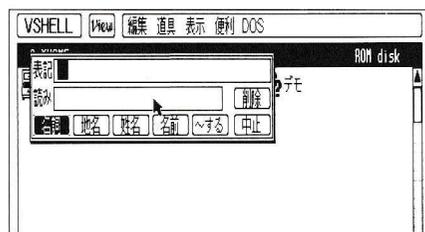
●内蔵ソフトのワープロで登録した単語は「～する」の分類で登録した単語と同じように扱われます。

## 単語を削除する(単語削除)

登録されている単語を削除します。

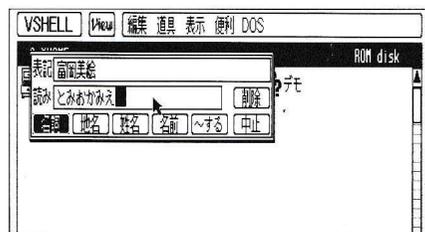
1

▼を「単語削除」に移動し、左ボタンを押す。



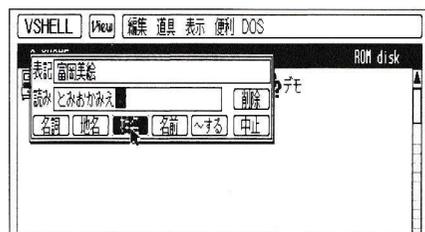
2

削除する単語を入力して[Enter]を押し、読みを入力する。



3

▼を選ぶ分類に移動し、左ボタンを押す。



4

▼を「削除」に移動し、左ボタンを押す。

削除をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

**ご注意**

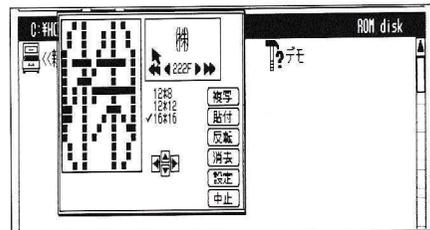
- 「～する」の分類に登録した単語は、内蔵ソフトのワープロでも削除できます。

## 新しい文字を登録する(外字作成)

マークやロゴ、特殊な漢字などを新たに作成して登録します。このように新しく作る文字を「外字」と呼びます。登録された外字は記号入力によって呼び出します。

1

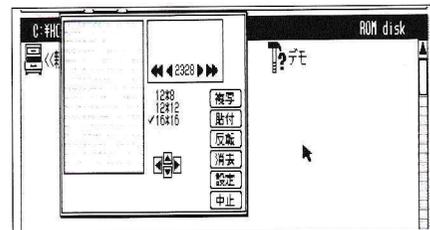
▼を「外字作成」に移動し、左ボタンを押す。



2

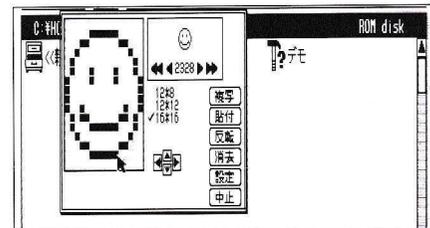
登録部に登録したいコード番号を選ぶ。(⇒次ページ)

新しく外字を作るときは、空白になっているコードを選びます。



3

各編集機能を使って外字を作る。  
(⇒次ページ)



4

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

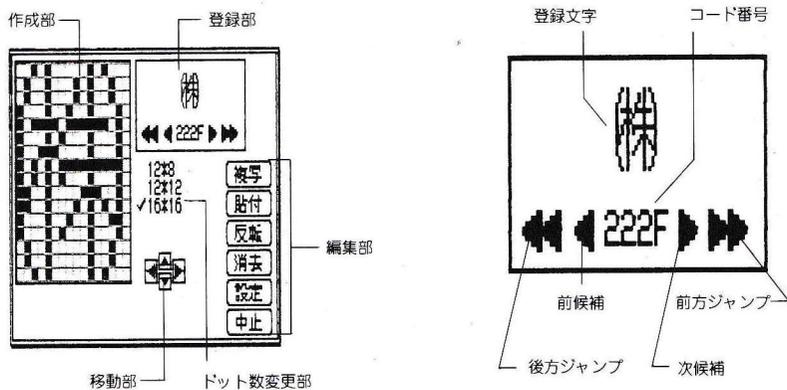
作った外字の登録をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

### ご注意

- View T E Dの場合、プリンタで印刷される文字は、12×12ドットで設定した文字です。
- エスケープ立ち上げ(「取扱説明書」⇒63ページ)を行うと、登録した外字はすべて消去されます。
- 登録できる外字は64文字です。
- すでに記号などが登録されているコードに重ねて登録すると、前にあった記号は消去されます。
- ここで登録した外字は、内蔵ワープロでは使えません。

メモ

●外字の作りかた



【作成部】＝この部分で文字の作成、修正を行います。

- ▼を作成、修正するマス目に移動し、左ボタンを押すと、▼の下のマス目が白黒反転します。(□←→■)
- ・左ボタンを押したまま▼を移動させると連続して白黒反転させることができます。(□□□□←→■■■■)

【登録部】＝登録したいJISコード番号を選びます。

- ▼を選びたい方向のマークに移動し、左ボタンを押します。
  - (次候補) —— 次のJISコード文字を表示します。
  - (前候補) —— 前のJISコード文字を表示します。
  - (前方ジャンプ) —— 16個先のJISコード文字を表示します。
  - (後方ジャンプ) —— 16個前のJISコード文字を表示します。
- ・JISコード222F～227E、2321～232Eのコード番号が選べます。
- 何も登録されていないコードは、登録文字の部分が空白になります。

【ドット数変更部】＝ドット数の違う外字を作成するため、マス目を選びます。

▼を作成、修正したいドット数に移動し、左ボタンを押します。

- ・作成部が、選んだドット数のマス目になります。
- ・文字サイズを変えることができるソフトで使用する外字は、必ずサイズの違うドット数の外字も作成、修正しておいてください。他のドット数で作成、修正していない外字は、呼び出してサイズ変更しても正しく表示されません。

【編集部】＝作成、修正した外字を編集します。

▼をそれぞれの表示に移動し、左ボタンを押します。

- ・反転＝作成部のマス目を、すべて白黒反転します。
- ・複写＝現在作成部に表示されているドットの状態を本体のメモリに記憶します。
- ・貼付＝「複写」で記憶されているドットの状態を作成部に重ねて表示します。
- ・消去＝作成部の■をすべて□にします。

【移動部】＝▼を△▽◁▷に移動して左ボタンを押すと、作成部が上下左右に移動します。

移動して枠外に追いやられたドットは、作成部の反対側に表示されます。

メモ

- 「文字サイズを変えることができるソフト」とは、MSXViewのView TED、View DRAW、View PAINT、Page EDIT、Page LINKのことです。

# Coffee Break

次のように操作をすると、MSXViewをより使いやすくすることができます。特に道具（「アプリケーション編」64ページ）を使う場合は、次のように操作すると便利です。

## ●操作のしかた

準備（1回だけ行います。）

- 1 システムディスク3の「TOEXEC」と「BOOT」のファイルを、SRAMディスクに複写する。（「ファイルを複写、移動する」⇨40ページ、「ディスクドライブを変更する」⇨27ページ）
- 2 SRAMディスクに複写した「TOEXEC」と「BOOT」のファイル名を、それぞれ「AUTOEXEC」と「REBOOT」に変更する。（「ファイル名を変える」⇨38ページ）

電源の入れかた（毎回行います。）

- 1 システムディスク3をフロッピーディスクドライブにセットする。
- 2 電源スイッチを入れる。  
自動的にシステムディスク3から必要なファイルがRAMディスクに複写されます。

上のようにしてMSXViewを始めると、次の点が便利になります。

- ・動作速度が速くなる  
必要なプログラムなどを直接本体内のRAMディスクから読み込むので、道具を始めたるときなどの動作速度が速くなります。
- ・フロッピーディスクを交換する手間が少なくなる  
システムディスク3と保存用のフロッピーディスクをいちいち交換する必要がなくなります。  
登録（⇨96、122ページ）、組込（⇨97、123ページ）の操作のときには、システムディスク3が必要です。

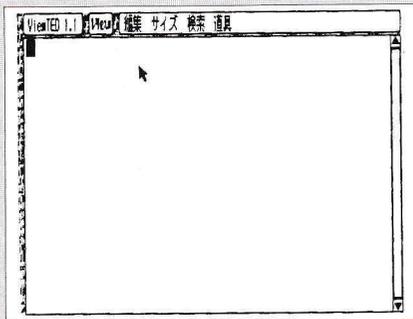
## ご注意

- 市販のMSXView用のソフトを始める場合は、複写したSRAMディスクのファイル、「AUTOEXEC」と「REBOOT」を削除してください。（「ファイルを削除する」⇨39ページ）
- エスケープ立ち上げ（「取扱説明書」⇨63ページ）を行うと、SRAMディスクの内容が消去されます。

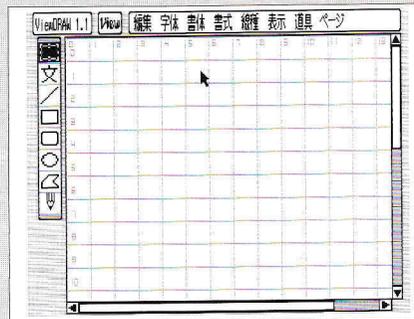
# アプリケーション編

システムディスク3に入っているMSXViewのソフト（アプリケーション）を使って文書や図形などを作ります。

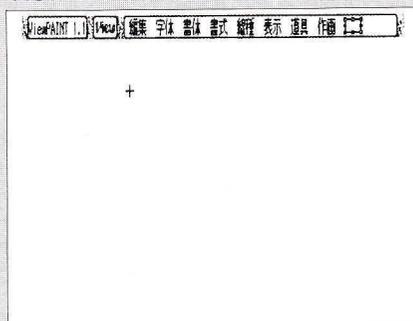
View T E D



View D R A W



View P A I N T



## 第1章

## 文字を入力する

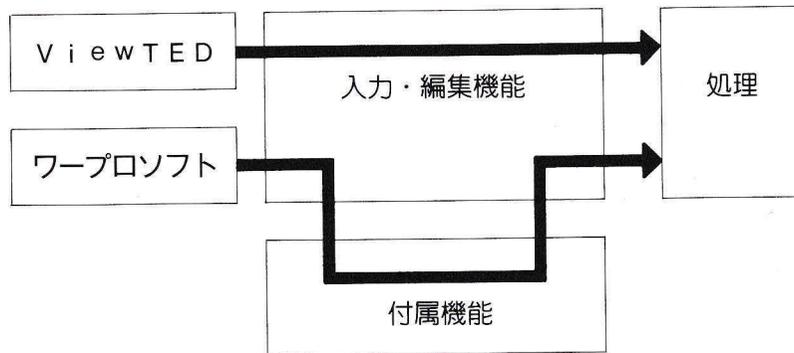
## ～View T E D～

文章の入力・編集を行うソフト「View T E D」の概要について説明しています。

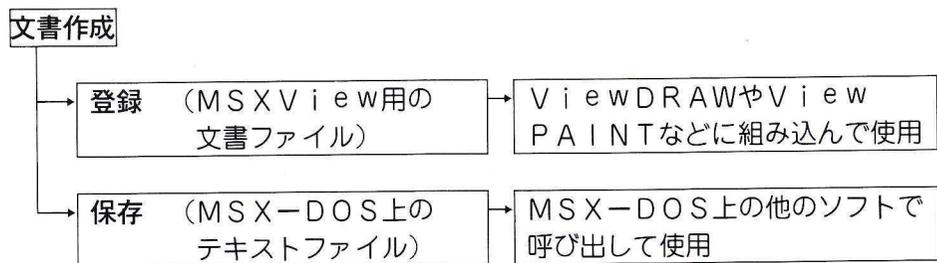
- View T E Dとは……………66
- 始めかた……………67
- View T E Dの画面……………68
- View T E Dの操作……………69
- 終わりかた……………70

# View TEDとは

View TEDは文書作成をするためのソフトです。処理時間のかかる文字修飾や図形作成などの機能を省き、文字の入力や編集の操作性に重点が置かれています。



作った文書は保存用のフロッピーディスクに保存または登録しておくこと、他のソフトで呼び出して使うこともできます。



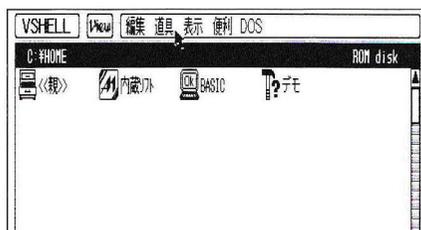
# 始めかた

システムディスク3をディスクドライブにセットしておいてください。

1

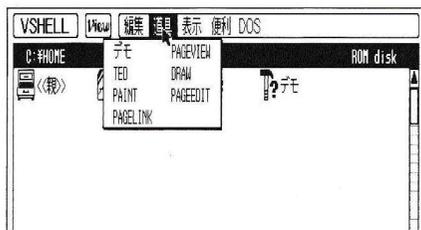
▼をコマンドバーの「道具」に移動する。

(または **F2** (V S H E L L画面の場合) を押す。この場合、3に進みます。)



2

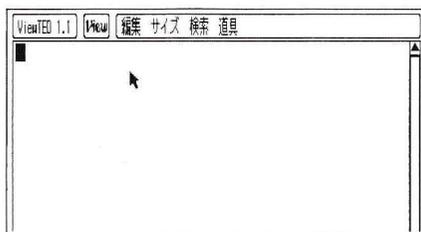
左ボタンを押す。



3

▼を「TED」に移動し、左ボタンを押す。

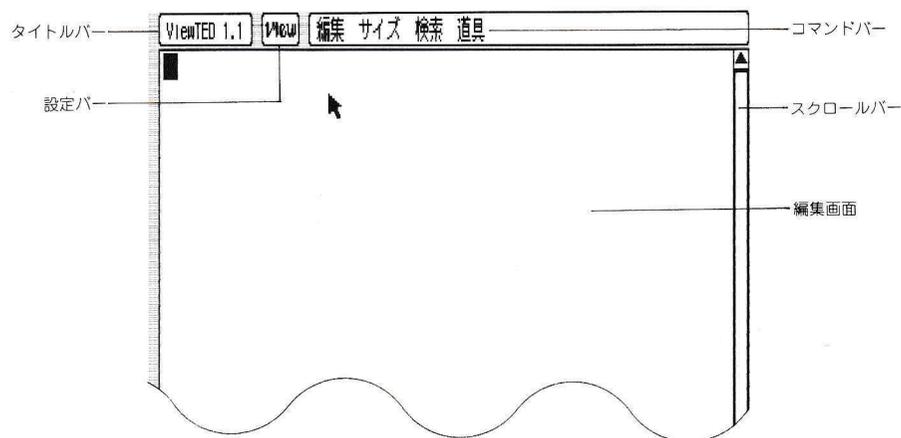
(またはカーソルキーを押してカーソルをTEDに移動し、**Enter**を押す。)



## ご注意

- 作った図形や文書が表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇒94、120ページ、「登録」⇒96、122ページ、「更新」⇒95、121ページ)
- ほかのソフトが表示されている場合は、終了確認のメッセージが表示されます。▼を「はい」に移動し、左ボタンを押すと、View TEDが始まります。
- システムディスク3がディスクドライブにセットされていないときは、「TED」は表示されません。

# View TEDの画面



## ●タイトルバー

タイトルバーを選ぶ操作をすると、呼出や保存などファイル関係の操作および印刷、終了などを行うタイトルメニューが表示されます。(⇒91ページ) ファイルを呼び出したり保存した場合は、ここにファイル名が表示されます。

## ●設定バー

設定バーを選ぶ操作をすると、システム設定や画面の調整などの設定メニューが表示されます。(⇒51ページ)

## ●コマンドバー

機能のメニュー(編集、サイズ、検索、道具)が表示されています。それぞれの機能を選ぶ操作をすると、その機能のメニューが表示されます。(「編集メニュー」⇒100ページ、「サイズメニュー」⇒104ページ、「検索メニュー」⇒105ページ、「道具メニュー」⇒108ページ)

## ●スクロールバー

編集画面のはみ出して見えない部分を表示します。(⇒19ページ)

## ●編集画面

文書を入力、編集する部分です。

# View T E D の操作

## ●文字の入力

編集画面にキーボード操作で文字を入力します。「文字入力のしかた」⇨21ページ) 改行するときは、**[Enter]**を押します。

## ●文字の訂正

文字が間違っているときは、**[BS]** または **[DEL]** で訂正する文字を消したあと、正しい文字を入力します。

**[BS]** を押すとカーソル (■) の前の文字が、**[DEL]** を押すとカーソル (■) 位置の文字が消去されます。

## ●メニューの表示のしかた

▼を表示させたいメニューのあるバーに移動し、左ボタンを押します。メニューの内容は第4章「View T E D / Page L I N K 機能いろいろ」を参照してください。

各メニューは次のキーを押しても表示されます。

【タイトルメニュー】 = **[SELECT]**

【設定メニュー】 = **[STOP]**

【編集メニュー】 = **[F1]**

【サイズメニュー】 = **[F2]**

【検索メニュー】 = **[F3]**

【道具メニュー】 = **[F4]**

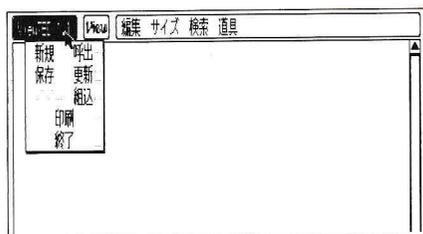
この他にメニューの表示をしないで機能を選ぶことができる、ショートカットキーの操作があります。「ショートカットキー一覧」⇨172ページ)

# 終わりがた

1

▼をタイトルバーに移動し、左ボタンを押す。

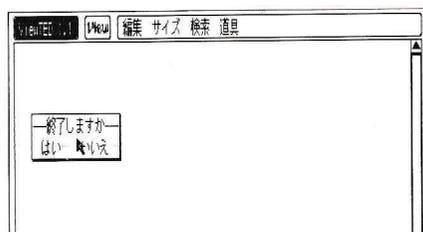
(または **SELECT** を押す。)



2

▼を「終了」に移動し、左ボタンを押す。

(またはカーソルキーを押してカーソルを「終了」に移動し、**Enter**を押す。)



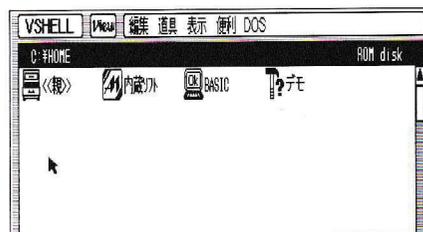
3

▼を「はい」に移動し、左ボタンを押す。

(または **GRAPH** を押しながら **Y** を押す。)

終了をやめる場合は、▼を「いいえ」に移動し、左ボタンを押します。

(または **GRAPH** を押しながら **N** を押します。)



## ご注意

- 作った図形や文書が表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇨94ページ、「登録」⇨96ページ、「更新」⇨95ページ)

## 第2章

# 絵を描く

### ～View DRAW／View PAINT～

図形や線などを描くソフト「View DRAW」「View PAINT」の概要について説明しています。

- View DRAWとView PAINT .....72
- 始めかた.....74
- 画面の見かた.....75
- 操作の方法.....76
- 終わりかた.....77

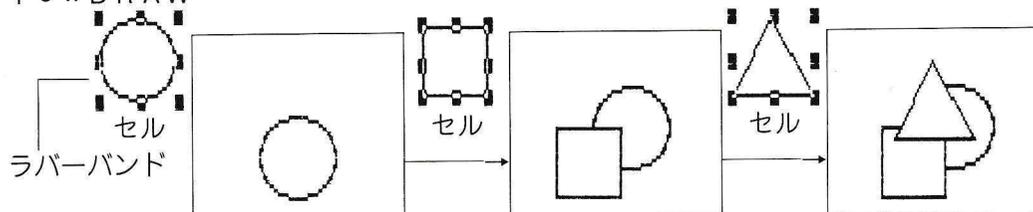
# View DRAWとView PAINT

View DRAWとView PAINTは、どちらも絵を描くソフトです。

View DRAWは四角や丸、直線などの図形を別々の透明なシートに描き、そのシートを画面上で重ねてひとつの絵を作ります。その透明なシートのことを「セル」と言います。

View PAINTは、紙に描くように画面上に絵を描きます。四角や丸などの決められた図形だけでなく、自由な曲線が描けます。

## ViewDRAW



※ひとつの図形を描くとラバーバンドと呼ばれる図形の範囲表示が現れます。このラバーバンド内が一枚のセルにあたります。

## ViewPAINT

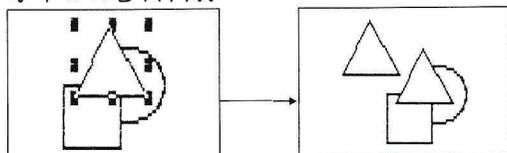


### ●View DRAWとView PAINTの違い

View DRAWは図形の集まり（セルの集まり）で描かれ、View PAINTは画面全体でひとつの図形を描きます。

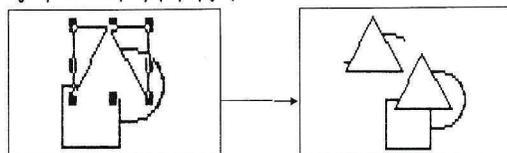
例えば、一見同じ図形でも一部を写取の操作をしてみると、次のように違います。

#### ViewDRAW



三角だけが写し取られます。

#### ViewPAINT

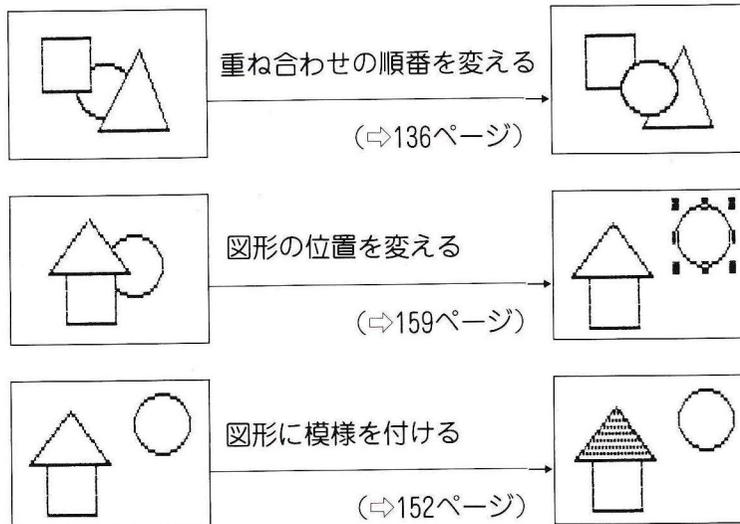


範囲指定で囲まれた部分の図形がそのままの形で写し取られます。

## View DRAWについて

## DRAW

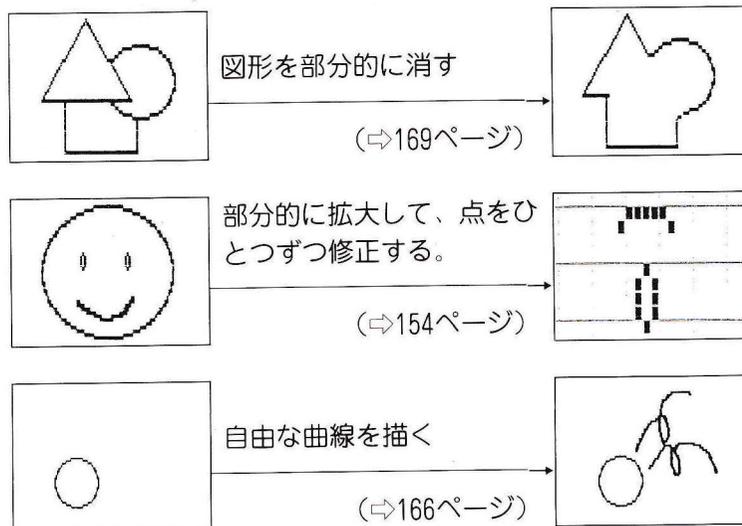
View DRAWで絵を描くと次のようなことができます。



## View PAINTについて

## PAINT

View PAINTで絵を描くと次のようなことができます。



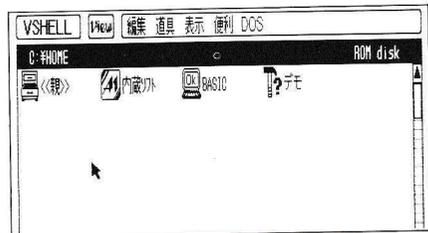
# 始めかた

操作の前にあらかじめシステムディスク3をディスクドライブにセットしておいてください。

1

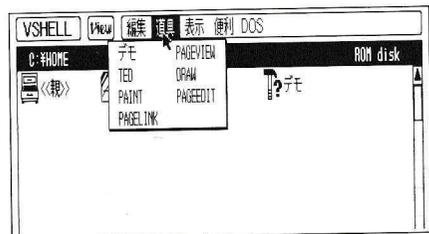
▼をコマンドバーの「道具」に移動する。

(または **F2** (VSHHELL画面の場合) を押す。この場合3に進む。)



2

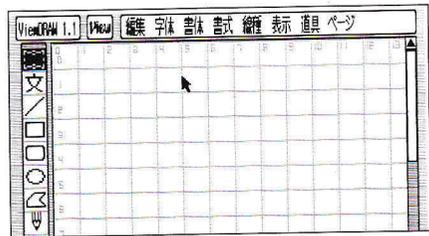
左ボタンを押す。



3

▼を「DRAW」または「PAINT」に移動し、左ボタンを押す。

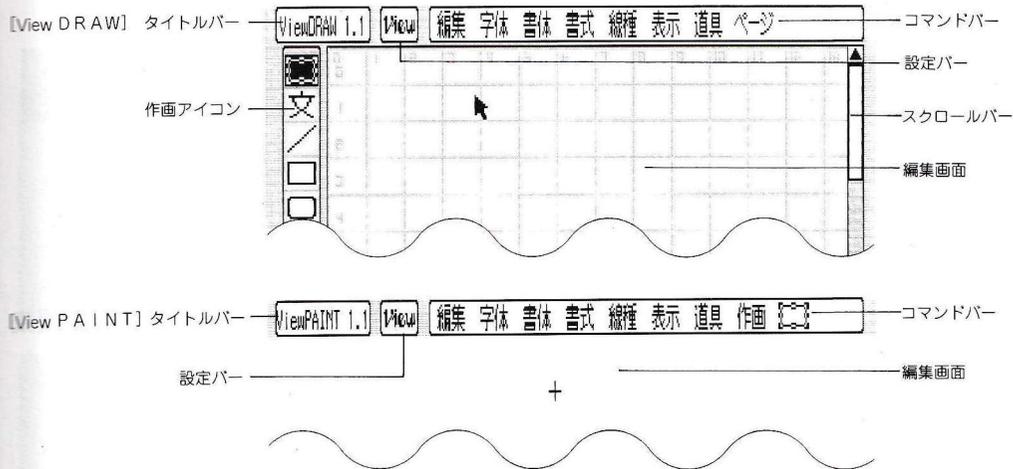
(またはカーソルキーを押してカーソルを「DRAW」か「PAINT」に移動し、**Enter**を押す。)



## ご注意

- 作った図形や文書が画面に表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇨94、120ページ、「登録」⇨96、122ページ、「更新」⇨95、121ページ)
- ほかのソフトの画面が表示されている場合は、終了確認のメッセージが表示されます。▼を「はい」に移動し、左ボタンを押すと、選んだソフトが始まります。

# 画面の見かた



## ● タイトルバー

タイトルバーを選ぶ操作をすると、呼出や保存などファイル関係の操作および印刷、終了などを行うタイトルメニューが表示されます。(⇒116ページ) ファイルを呼び出したり保存した場合は、ここにファイル名が表示されます。

## ● 設定バー

設定バーを選ぶ操作をすると、システム設定や画面の調整などの設定メニューが表示されます。(⇒51ページ)

## ● コマンドバー

機能のメニュー（編集、字体、書体、書式、線種、表示、道具、ページ（View DRAWのみ）、作画（View PAINTのみ））が表示されています。それぞれの機能を選ぶ操作をすると、その機能のメニューが表示されます。（「編集メニュー」⇒130ページ、「字体メニュー」⇒148ページ、「書体メニュー」⇒149ページ、「書式メニュー」⇒150ページ、「線種メニュー」⇒151ページ、「表示メニュー」⇒153ページ、「道具メニュー」⇒155ページ、「ページメニュー」⇒156ページ、「作画メニュー」⇒157ページ）

## ● 作画アイコン（View DRAWのみ）

図形を選ぶアイコン（）や描きかたを設定するアイコン（、、、、）が表示されています。それぞれのアイコンを選ぶ操作をすると、それぞれの作画機能が使えます。(⇒157ページ)

## ● 編集画面

図形を描く部分です。

## ● スクロールバー（View DRAWのみ）

編集画面からはみ出して見えない部分をスクロールさせて表示します。(⇒19ページ)

## View DRAW、View PAINTの操作 DRAW、PAINT

View DRAW、View PAINTの操作は次のような流れで行います。

### ①図形を作る

作画メニューまたは作画アイコン (⇒157ページ) で作る図形の形を選び、編集画面に図形を描きます。

### ②編集する

[View DRAW] 図形を消したり、移動やコピーなどをします。

[View PAINT] 図形を部分的に消したり、拡大して修正したりします。

### ③保存する

作成、編集した図形を保存します。

### ●メニューの表示のしかた

▼を表示させたいメニューのあるバーに移動し左ボタンを押します。

メニューの内容は第5章「View DRAW/View PAINT/Page EDIT機能いろいろ」を参照してください。

各メニューは次のキーを押しても表示されます。

【タイトルメニュー】 = **SELECT**

【設定メニュー】 = **STOP**

【編集メニュー】 = **F1**

【字体メニュー】 = **F2**

【書体メニュー】 = **F3**

【書式メニュー】 = **F4**

【線種メニュー】 = **F5**

【表示メニュー】 = **F6** ( **SHIFT** + **F1** )

【道具メニュー】 = **F7** ( **SHIFT** + **F2** )

【ページメニュー (View DRAWのみ)】 = **F8** ( **SHIFT** + **F3** )

【作画メニュー (View PAINTのみ)】 = **F8** ( **SHIFT** + **F3** )

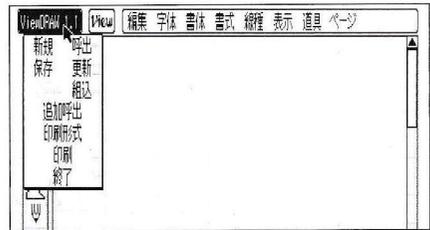
このほかにメニュー表示をしないで機能を選ぶことができる、ショートカットキーの操作があります。(「ショートカットキー一覧」⇒172ページ)

# 終わりがた

1

▼をタイトルバーに移動し、左ボタンを押す。

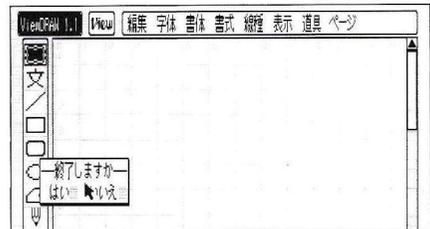
(または **SELECT** を押す。)



2

▼を「終了」に移動し、左ボタンを押す。

(またはカーソルキーを押してカーソルを「終了」に移動し、**□**を押す。)



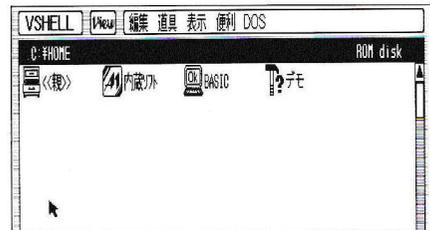
3

▼を「はい」に移動し、左ボタンを押す。

(または **GRAPH** を押しながら **Y** を押す。)

終了をやめる場合は、▼を「いいえ」に移動し、左ボタンを押します。

(または **GRAPH** を押しながら **N** を押す。)



## ご注意

- 作った図形や文書が画面に表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇨120ページ、「登録」⇨122ページ、「更新」⇨121ページ)



## 第3章

# 本を作る

### ～Page B O O K～

パソコン上で本を作るためのソフト集「Page B O O K」の概要について説明しています。

- Page B O O Kとは .....80
- 始めかた.....81
- 画面の見かた.....82
- 操作の方法.....83
- 終わりかた.....85
- 作った本の見かた.....86

# Page BOOKとは

Page BOOKはパソコン上で本を作るためのソフトの集まりです。次の3つのソフトで構成されています。

## ●Page EDIT

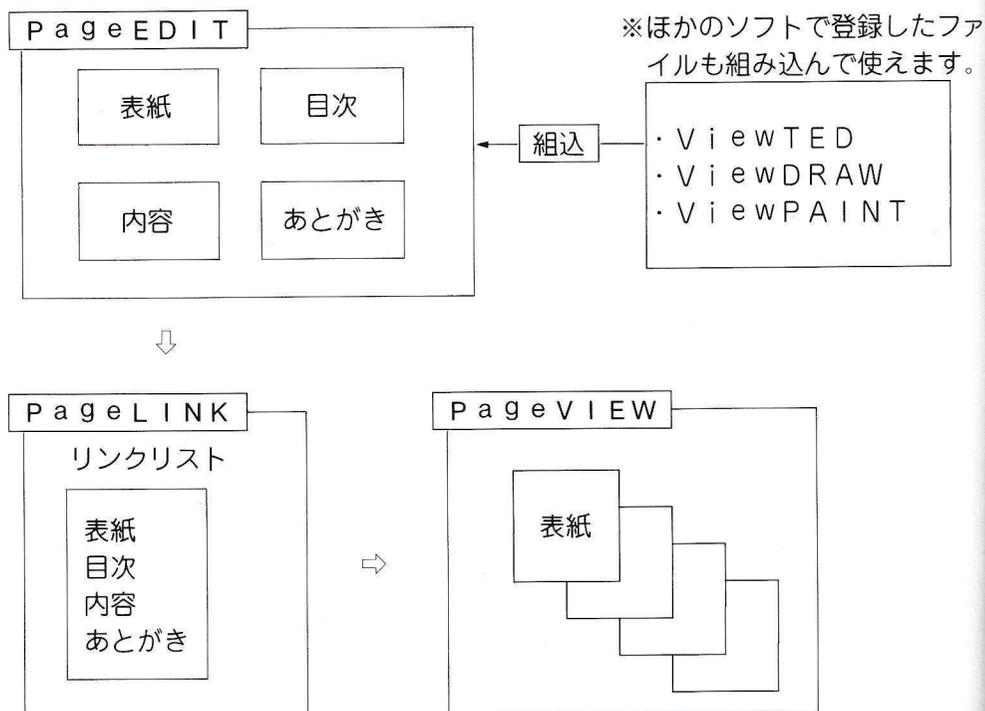
本の各ページを作るソフトです。作成した図形に色を付けたり、Page VIEWで使うページ移動などの命令（スクリプトコマンド⇒140ページ）を設定することができます。

## ●Page LINK

Page EDITで作った各ページをつなげて、本の形にするソフトです。各ページの順番を指定した一覧（リンクリスト⇒110ページ）を作り、それにしたがって製本します。

## ●Page VIEW

でき上がった本を見るソフトです。Page EDITで作った各ページを、Page LINKで作ったリンクリストにしたがって画面に呼び出します。



# 始めかた

操作の前にあらかじめシステムディスク3をディスクドライブにセットしておいてください。

1

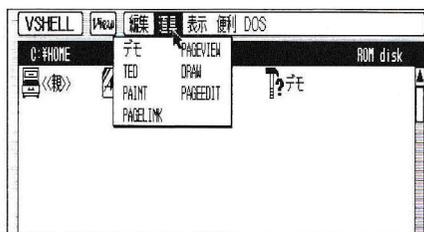
▼をコマンドバーの「道具」に移動する。

(または **F2** (V SHELL画面の場合) を押す。この場合3に進む。)



2

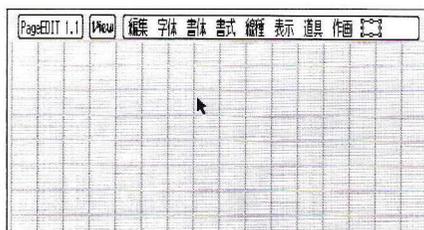
左ボタンを押す。



3

▼を「PAGEEDIT」または「PAGELINK」に移動し、左ボタンを押す。

(またはカーソルキーを押してカーソルを「PAGEEDIT」か「PAGELINK」に移動し、**Enter**を押す。)



## ご注意

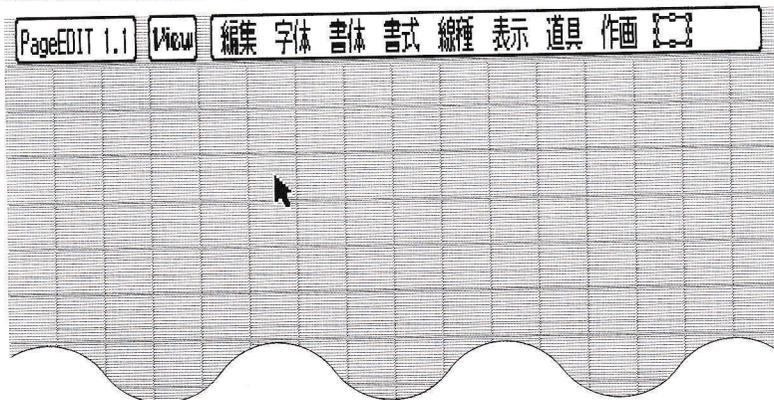
- 作った図形や文書が画面に表示されている場合、保存、登録、または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇒94、120ページ、「登録」⇒96、122ページ、「更新」⇒95、121ページ。)
- ほかのソフトが表示されている場合は、終了確認のメッセージが表示されます。▼を「はい」に移動し、ボタンを押すと選んだソフトが始まります。

## メモ

- Page VIEWの操作については86ページの「作った本の見かた」をご覧ください。
- システムディスク3がディスクドライブにセットされていないときは、「PAGEEDIT」「PAGELINK」は表示されません。

## Page EDITの画面

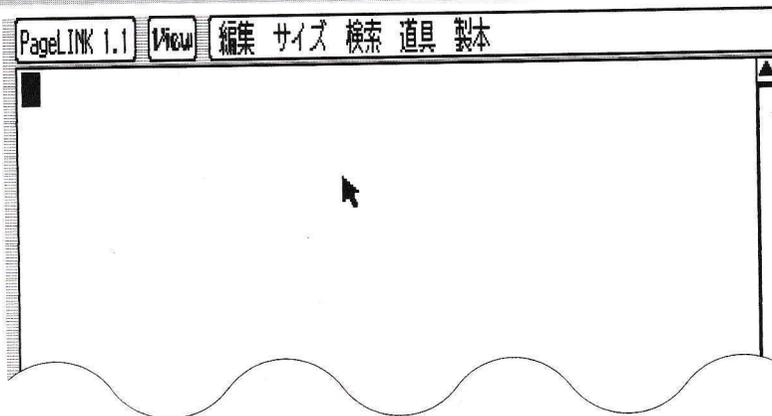
EDIT



- Page EDITの画面は、View DRAWの画面（⇒75ページ）と次の点以外は同じです。
- ・表示されている編集画面が入力編集できる範囲のすべてです。（スクロールバーはありません。）
  - ・作画の機能はコマンドバー内のメニューで選びます。
  - ・コマンドバーのページメニューがありません。

## Page LINKの画面

LINK



- Page LINKの画面は、View TEDの画面（⇒68ページ）と次の点以外は同じです。
- ・コマンドバーに製本メニューが追加されています。

## Page EDITの操作

EDIT

Page EDITの操作は次のような流れで行います。

### ① 図形を作る

作画メニュー(⇒157ページ)で作る図形の形を選び、編集画面に図形を描きます。

### ② 編集する

図形を移動したり色を付けたりします。機能はコマンドバーの各メニューで選べます。

### ③ 保存する

作成、編集した図形を保存します。保存したファイルはPage LINKでまとめて本を作り、Page VIEWで見ます。

### ● メニューの表示のしかた

▼を表示させたいメニューのあるバーに移動し、左ボタンを押します。

メニューの内容は第5章「View DRAW/View PAINT/Page EDIT機能いろいろ」を参照してください。

各メニューは次のキーを押しても表示されます。

【タイトルメニュー】 = **SELECT**

【設定メニュー】 = **STOP**

【編集メニュー】 = **F1**

【字体メニュー】 = **F2**

【書体メニュー】 = **F3**

【書式メニュー】 = **F4**

【線種メニュー】 = **F5**

【表示メニュー】 = **F6** ( **SHIFT** + **F1** )

【道具メニュー】 = **F7** ( **SHIFT** + **F2** )

【作図メニュー】 = **F8** ( **SHIFT** + **F3** )

このほかにメニューの表示をしないで機能を選ぶことができる、ショートカットキーの操作があります。(「ショートカットキー一覧」⇒172ページ)

## Page LINKの操作

LINK

Page LINKの操作は次のような流れで行います。

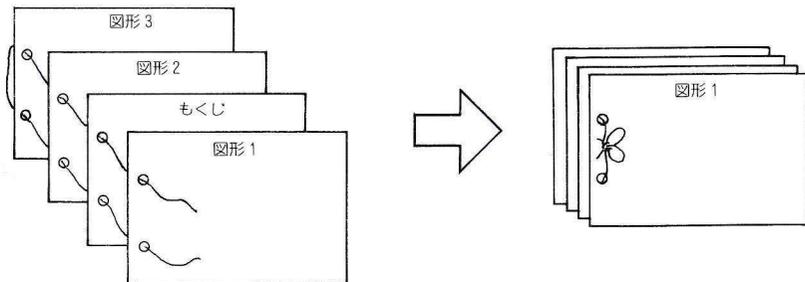
### ① リンクリストを作成する

Page EDITで作成、保存したファイルをページの順番に並べた、リンクリストを作ります。(110ページ) Page VIEWで見る本は、リンクリストにしたがってページが付けられます。

```
パソコン絵本  
B:*図形1.CMN  
@  
B:*もくじ.CMN  
*はじめ  
B:*図形2.CMN  
*おわり  
B:*図形3.CMN
```

### ② 製本する

作成したリンクリストをPage VIEWで見るためのファイルにします。(⇒111ページ)



### ● メニューの表示のしかた

▼を表示させたいメニューのあるバーに移動し、左ボタンを押します。

メニューの内容は、第4章「View TED/Page LINK機能いろいろ」を参照してください。

各メニューは次のキーを押しても表示されます。

【タイトルメニュー】 =

【設定メニュー】 =

【編集メニュー】 =

【サイズメニュー】 =

【検索メニュー】 =

【道具メニュー】 =

【製本メニュー】 =

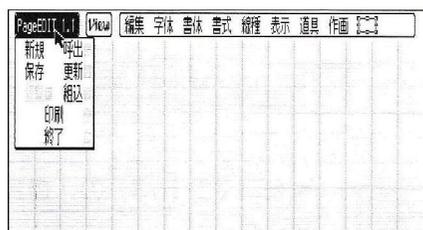
このほかにメニューの表示をしないで機能を選ぶことができる、ショートカットキーの操作があります。(「ショートカットキー一覧」⇒172ページ)

# 終わりがた

1

▼をタイトルバーに移動し、左ボタンを押す。

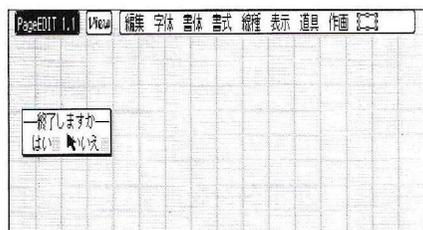
(または **SELECT** を押す。)



2

▼を「終了」に移動し、左ボタンを押す。

(またはカーソルキーを押してカーソルを「終了」に移動し、**↓**を押す。)



3

▼を「はい」に移動し、左ボタンを押す。

(または **GRAPH** を押しながら **Y** を押す。)



終了を中止する場合は、▼を「いいえ」に移動し、左ボタンを押します。

(または **GRAPH** を押しながら **N** を押します。)

第3章

本を作る

## ご注意

- 作った図形や文書が画面に表示されている場合、保存、登録、または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇒94、120ページ、「登録」⇒96、122ページ、「更新」⇒95、121ページ。)

# 作った本の見かた

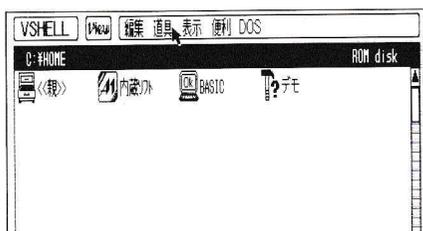
Page EDITとPage LINKで作った本は、Page VIEWを使って画面上で見ます。

## Page VIEWを使う

VIEW

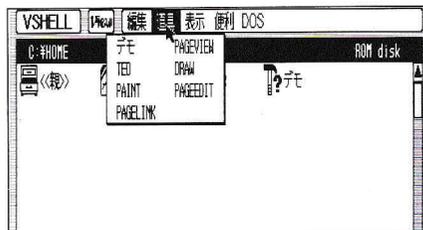
1

▼をコマンドバーの「道具」に移動する。  
(または **F2** (V S H E L L 画面の場合) を押す。この場合3に進む。)



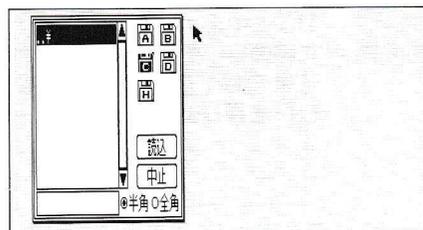
2

左ボタンを押す。



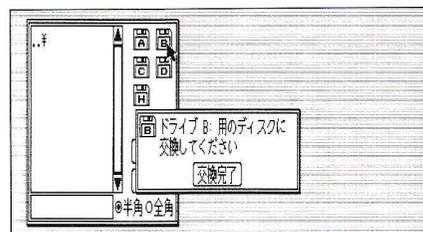
3

▼を「PAGEVIEW」に移動し、左ボタンを押す。  
(またはカーソルキーを押してカーソルを「PAGEVIEW」に移動し、**Enter**を押す。)



4

▼を **PageView** に移動し、左ボタンを押す。  
(または **GRAPH** を押しながらカーソルキーを押し、▼を **PageView** に移動したあと、**GRAPH** を押しながら **SELECT** を押す。)

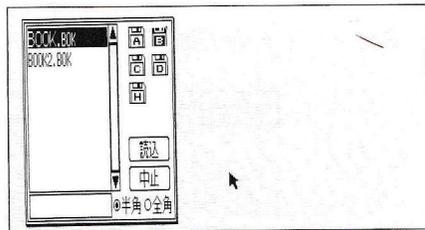


### ご注意

- 作った図形や文書が画面に表示されている場合、保存、登録、または更新の操作をせずにこの操作を行うとその図形や文書は消えてしまいます。(「保存」⇒94、120ページ、「登録」⇒96、122ページ、「更新」⇒95、121ページ。)

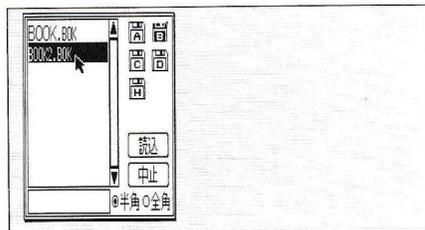
5

呼び出すファイルが保存されているフロッピーディスクをドライブにセットして、  
 ▲を「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。  
 (または[Enter]を押す。)



6

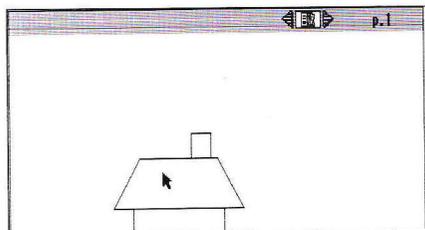
▲を呼び出すファイルに移動し、左ボタンを押す。  
 (またはカーソルキーで呼び出したいファイルにカーソルを移動する。)



7

▲を「読込」に移動し、左ボタンを押す。  
 (または[Enter]を押す。)

呼出しをやめる場合は、▲を「中止」に移動し、左ボタンを押します。  
 (または[ESC]を押します。)



### ご注意

- [6] で呼び出した画面の内容は、Page VIEWの機能(次ページ)を使って見ます。
- Page VIEWを終わるときは、[ESC]を押します。終了のメッセージが表示されたら▲を「はい」に移動し、左ボタンを押す(または、[GRAPH]を押しながら[Y]を押す)と、VSH ELL画面に戻ります。

●Page V I E Wの機能について



【インデックスエリア】=ページを移動します。

▼をそれぞれのマークに移動し、左ボタンを押します。

◀ =前のページに移動します。

目次=目次のページ (Page L I N Kで指定) に移動  
します。

▶ =次のページに移動します。

【スクリプトコマンド】=Page E D I Tで設定したスクリプトコマンド (⇒  
140ページ) の命令を実行します。▼をスクリプトコ  
マンドが設定されているセルに移動し、左ボタンを  
押します。

●キーボードでの操作方法

以下のコマンドは次のキーを押します。

【 ◀ 】 = ◀

【目次】 =

【 ▶ 】 = ▶ または

この他にもショートカットキーの操作があります。

**ご注意**

- 終わりがたは「end」のスクリプトコマンド (⇒142ページ) を使う方法もあります。

## 第4章

### View TED/Page LINK

# 機能いろいろ

「View TED」とPage BOOK中の「Page LINK」はほとんど機能が同じです。ここでは、「View TED」「Page LINK」の機能について説明しています。

- 範囲指定のしかた……………90
- タイトルメニュー……………91
- 設定メニュー……………99
- 編集メニュー……………100
- サイズメニュー……………104
- 検索メニュー……………105
- 道具メニュー……………108
- 製本メニュー……………109

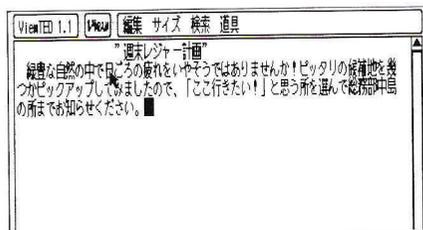
# 範囲指定のしかた

タイトルメニューの「登録」や編集メニューの「消去」「切取」「写取」「貼付」の操作を行う前には、あらかじめ操作する範囲を選んでおきます。

1

マウスを指定したい範囲の始点に移動する。

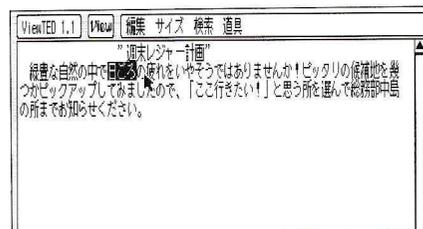
(または、**⇧**を押してカーソル(■)を指定したい範囲の終点に移動する。)



2

マウスを左ボタンを押しながら、指定したい範囲の終点まで移動し、左ボタンを離す。

(または **INS** を押してから **⇧** を押してカーソル(■)を指定したい範囲の終点に移動する。)



## ● 範囲指定の解除のしかた

右ボタン (または **INS**) を押すと範囲指定が解除されます。

# タイトルメニュー

タイトルメニューでは、文書ファイルの呼び出し、保存、文字の登録などの操作や印刷などを行います。

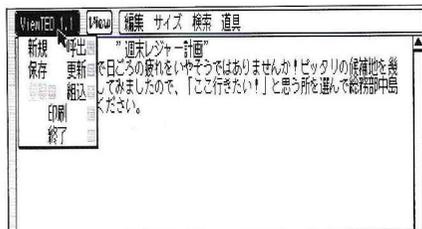
「登録」の操作をするときはメニューを表示させる前に、あらかじめ操作の対象になる範囲を選んでおきます。

## タイトルメニューを表示させる TED、LINK

1

▼をタイトルバーに移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すとタイトルメニューは消えます。



### ●タイトルメニューの内容

- 【新規】 =画面上で作成した文書を白紙の状態に戻します。(⇒92ページ)
- 【呼出】 =保存されているファイルを画面に呼び出します。(⇒93ページ)
- 【保存】 =画面に表示されている文書を保存します。(⇒94ページ)
- 【更新】 =呼び出して書き換えたファイルを元のファイルに上書きします。(⇒95ページ)
- 【登録】 =ソフト間の共通のファイルとして保存します。(⇒96ページ)
- 【組込】 =「登録」したファイルを呼び出します。(⇒97ページ)
- 【印刷】 =文書を印刷します。(⇒98ページ)
- 【終了】 =ソフトを終了します。(⇒70、85ページ)

### ご注意

- 印刷するには、あらかじめ印刷するプリンタの設定をする必要があります。(⇒54ページ)

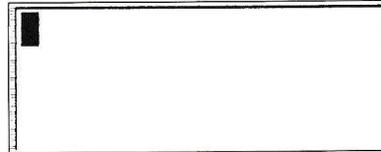
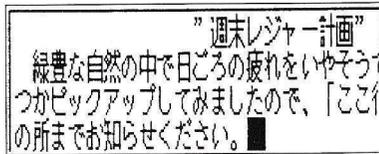
### メモ

- 「登録」をすると他のソフトでも「組込」の操作で文書が呼び出せます。それぞれのソフトだけで使用する文書は「保存」の操作をします。「保存」した文書は「呼出」の操作で呼び出します。

## 新しい画面にする（新規）

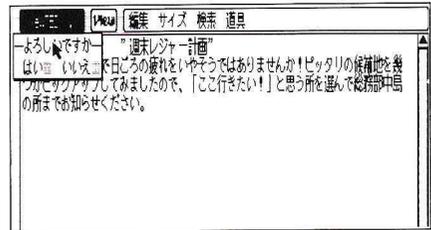
TED、LINK

画面に作成されている文書を消去し、新しい画面を表示させます。



1

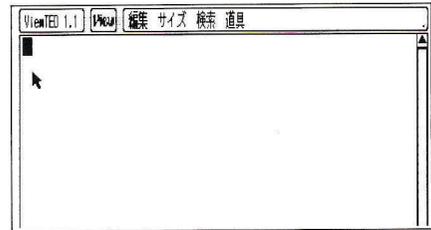
タイトルメニュー(⇒91ページ)⇒  
▼を「新規」に移動し、左ボタン  
を押す。



2

▼を「はい」に移動し、左ボタン  
を押す。

「新規」をやめる場合は、▼を「いい  
え」に移動して左ボタンを押します。



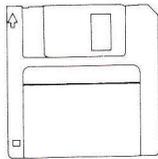
### ご注意

- 作った文書が画面に表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うと文書は消えてしまいます。(「保存」⇒94ページ、「登録」⇒96ページ、「更新」⇒95ページ)

# ファイルを呼び出す (呼出)

TED、LINK

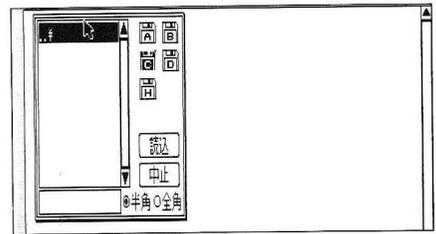
保存されているファイルを画面に表示させます。



”週末レジャー計画”  
緑豊かな自然の中で日ごろの疲れをいやそう  
つかピックアップしてみましたので、「ここ  
の所までお知らせください。」

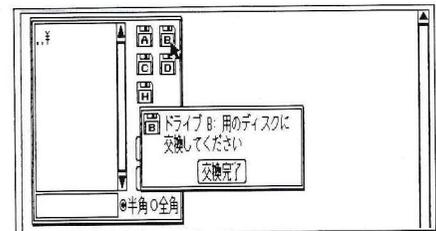
1

タイトルメニュー(⇒91ページ)→  
▼を「呼出」に移動し、左ボタン  
を押す。



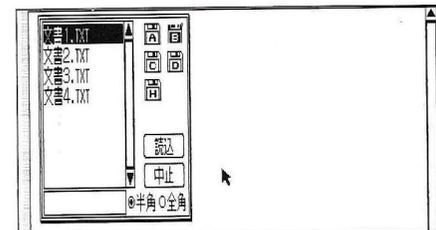
2

▼を ◻ に移動し、左ボタンを  
押す。



3

呼び出したいファイルが入っている  
フロッピーディスクをドライブ  
にセットして、▼を「交換完了」  
に移動し、左ボタンを押す。



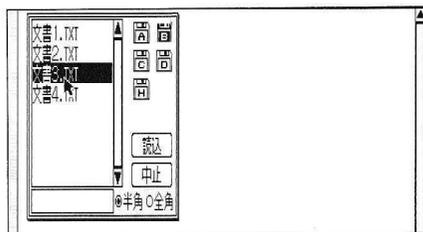
## ご注意

- 作った文書が画面に表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うと文書は消えてしまいます。(「保存」⇒94ページ、「登録」⇒96ページ、「更新」⇒95ページ)
- 内蔵ソフトの日本語ワープロで「テキスト形式」で保存した文書を呼び出せません。

メモ

4

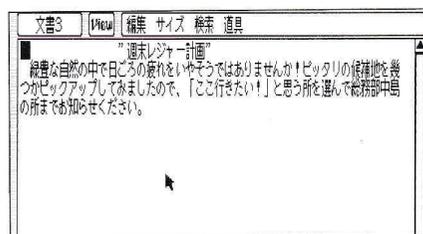
▼を呼び出したいファイル名に移動し、左ボタンを押す。



5

▼を「読み込」に移動し、左ボタンを押す。

呼出をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



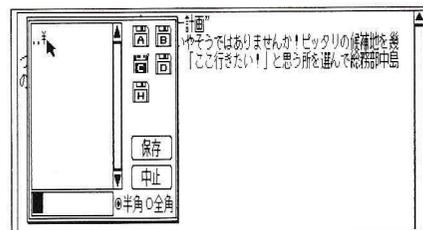
## 文書を保存する (保存)

## TED、LINK

画面に表示されているファイルをフロッピーディスクに保存します。

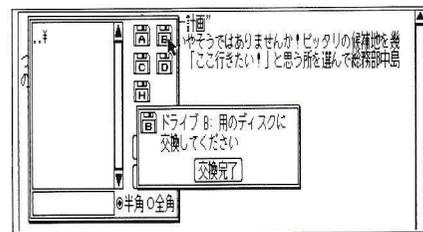
1

タイトルメニュー(⇒91ページ)→▼を「保存」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を [F] に移動し、左ボタンを押す。

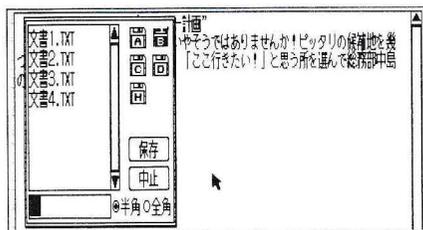


### メモ

- 呼び出したいファイルを指定するときに、[4]で▼をファイルに移動し、左ボタンをすばやく2度押しすると、「呼出」と同じ操作になり、[5]の操作はいりません。
- 呼び出したいファイルがサブディレクトリにある場合は[4]の操作の前に▼をそのサブディレクトリに移動し、左ボタンを押します。
- [4]の操作でファイル名入力欄にファイル名と拡張子を入力してView TEDで保存した以外のファイル(拡張子が、TXT以外のファイル)も呼び出すこともできます。

3

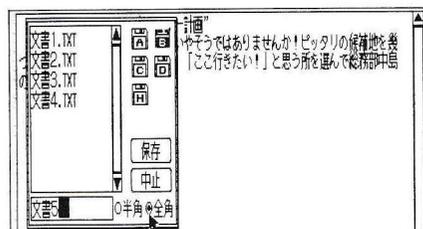
呼び出したいファイルが入っているフロッピーディスクをドライブにセットして、  
 ⏏を「交換終了」に移動し、左ボタンを押す。



4

ファイル名を入力する。

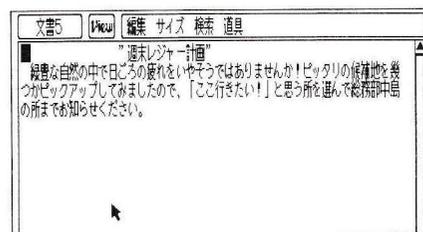
全角で入力したい場合は、⏏を「全角」に移動し、左ボタンを押します。



5

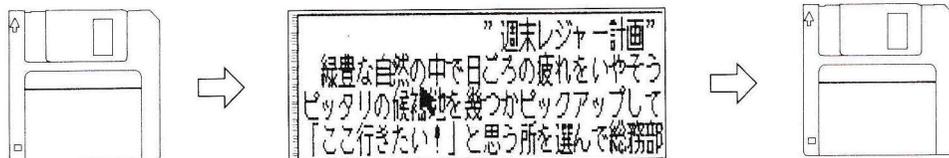
⏏を「保存」に移動し、左ボタンを押す。

呼出をやめる場合は、⏏を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



## ファイルを書き換える (更新) TED、LINK

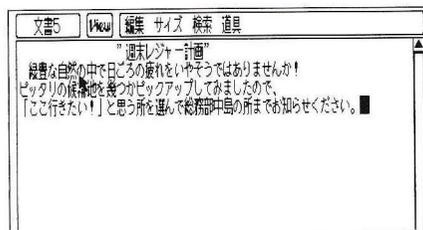
保存されているファイル呼び出し、修正して同じファイルに書き換えます。



1

タイトルメニュー(⇒91ページ)→  
 ⏏を「更新」に移動し、左ボタンを押す。

ファイルが更新されます。



### ご注意

- 新しいファイルに書き換えると元のファイルは消えてしまいます。

### × モ

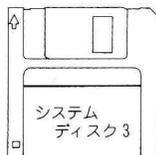
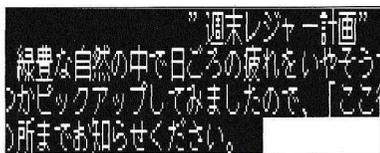
- 新しく作成したファイルにこの操作を行うと自動的に保存の操作に切り替わります。
- 登録されたファイルを更新する場合は、もういちど登録の操作を行ってください。
- [4]で、ファイル名に「.BAT」などの拡張子を付けることもできます。

## 共通のファイルにする (登録)

TED、LINK

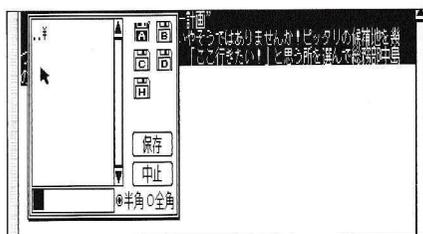
作った文書をソフト間の共通のファイルとしてシステムディスク3に保存します。操作の前にあらかじめ登録する範囲を選んでおきます。

登録したファイルは、Page EDITで組込(⇒123ページ)、保存(⇒120ページ)して、Page BOOKに使うことができます。



1

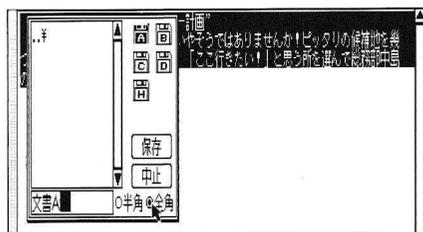
タイトルメニュー(⇒91ページ)→  
▼を「登録」に移動し、左ボタン  
を押す。



2

ファイル名を入力する。

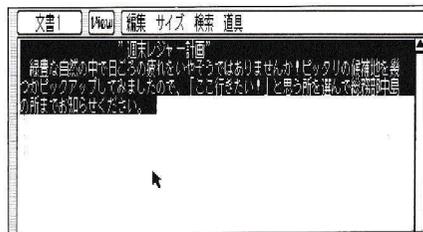
全角文字で入力する場合は、▼を全角  
に移動し、左ボタンを押します。  
(「文字入力のしかた⇒21ページ」)



3

▼を保存に移動し、左ボタンを押す。

登録を中止する場合は、▼を「中止」  
に移動し、左ボタンを押す。



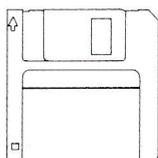
### ご注意

- ファイル名入力は半角で8文字以内、全角で4文字以内の文字数で入力してください。これ以上の文字を入力してもファイル名として表示されません。
- ②で、ファイル名を入力する代わりに表示されているファイル名一覧のファイルに▼を移動し、左ボタンを押し、③の操作をすると、新しいファイルに書き換えられます。
- 画面のファイル一覧中の「..¥」に▼を移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリックする)と、親ディレクトリ(⇒49ページ)が表示されます。

### メモ

## 登録したファイルを呼び出す (組込) TED、LINK

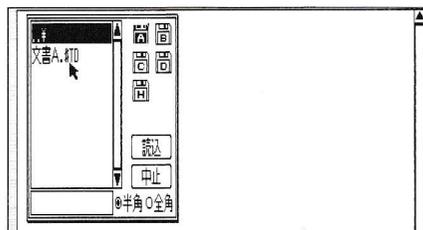
登録したファイルを呼び出します。操作の前にあらかじめ組み込む位置にカーソルを移動しておきます。



”週末レジャー計画”  
緑豊かな自然の中で日ごろの疲れをいやそう  
つかピックアップしてみましたので、「ここ  
の所までお知らせください。」

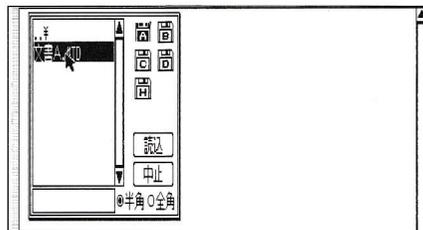
1

タイトルメニュー(⇒91ページ)⇒  
▼を「組込」に移動し、左ボタン  
を押す。



2

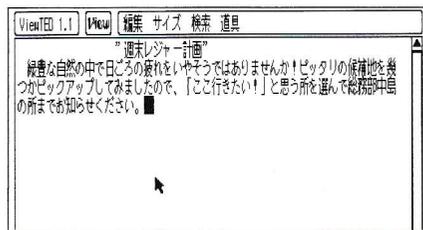
▼を呼び出したいファイル名に移  
動し、左ボタンを押す。



3

▼を「読込」に移動し、左ボタン  
を押す。

組込をやめる場合は、▼を「中止」に  
移動し、左ボタンを押します。



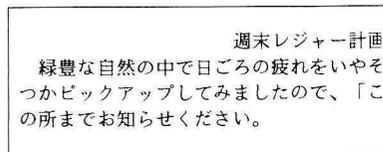
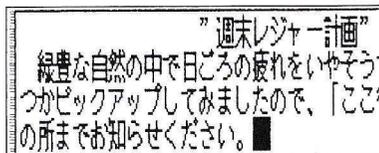
### ご注意

- View P A I N T で登録したファイルは呼び出せません。
- View D R A W で登録したファイルを読み出すと、そのファイル中の文章部分だけが呼び出されます。図形を組み込むことはできません。
- [4] で▼をファイルに移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリック)と、「組込」と同じ操作になり、[5] の操作はなりません。
- 画面のファイル一覧中の「.. ¥」に▼を移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリックする)と、親ディレクトリ(⇒49ページ)が表示されます。

# 印刷する (印刷)

TED、LINK

ファイルを印刷します。

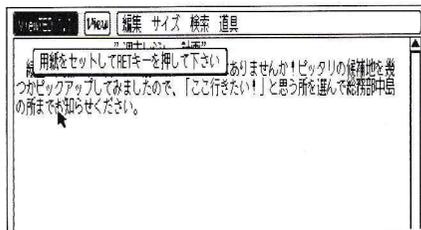


1

プリンタの取扱説明書に従って、  
用紙セットなどプリンタの準備を  
する。

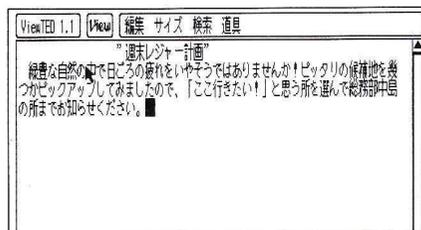
2

タイトルメニュー(⇒91ページ)→  
▼を「印刷」に移動し、左ボタン  
を押す。



3

☑を押す。  
印刷をしない場合は、右ボタンを押し  
ます。



## ●印刷の中断

印刷を中断したいときは **GRAPH** を押しながら **STOP** を押します。  
マウスの右ボタンを押しても中断はしません。  
中断したときは、プリンタの電源スイッチを入れ直してください。

## ご注意

- 「印刷」の操作を行う前に設定メニューでプリンタの設定をしてください。(⇒54ページ)
- カラー印刷はできません。
- V S H E L L または View D R A W で設定されている印刷形式で印刷されます。
- 印刷形式を「カット紙」に設定しているときは [2] の画面は表示されません。
- 印刷形式 (⇒34ページ) を「はがき」にして印刷する場合、プリンタ (⇒99ページ) を「プリンタ1」に設定しているときは他のプリンタよりも印刷領域がせまくなります。

# 設定メニュー

設定メニューは、入出力の設定や画面の調整、単語や外字の登録などを行うメニューです。

## 設定メニューを表示させる

TED、LINK

1

▼を設定バーに移動し、左ボタンを押す。

右ボタン（または **STOP**）を押すとメニューは消えます。



### ●設定の内容

- 【システム設定】 = 入力の方法を設定します。(⇒52ページ)
- 【プリンタ】 = 使用するプリンタを選びます。(⇒54ページ)
- 【画面調整】 = 画面の色や位置を調整します。(⇒55ページ)
- 【単語登録】 = よく使う単語を登録します。(⇒57ページ)
- 【単語削除】 = 登録した単語を削除します。(⇒59ページ)
- 【外字作成】 = 新しい文字や記号を作り、登録します。(⇒60ページ)

メモ

- 設定メニューの操作は、一度設定すると記憶されていますので、使うたびに設定する必要はありません。MSX Viewの他のソフトを始めたときも有効です。ただし本体に乾電池がセットされていなかったり、V SHELL画面で「終了」の操作をせずに電源スイッチを切ると、最後の設定内容は記憶されません。また、Page EDITでは新しい画面に変わるたびに(Page EDITを始めるときや(⇒81ページ)、新規の画面にするとき(⇒117ページ))、画面調整が元に戻ります。

# 編集メニュー

入力した文字の複写や、移動などの編集作業を行います。

## 編集メニューを表示させる

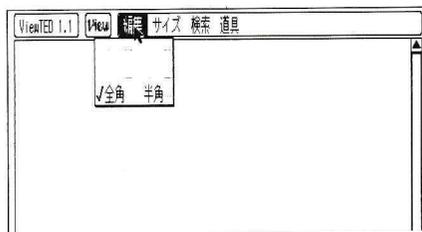
TED、LINK

「<sup>しょうきよ</sup>消去」「<sup>きりとり</sup>切取」「<sup>うつしとり</sup>写取」「<sup>はりつけ</sup>貼付」の操作を行う場合は、メニューを表示させる前に操作の対象になる範囲を選んでおきます。(⇒90ページ)

1

▼をコマンドバーの「編集」に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すとメニューは消えます。 →



### ●編集メニューの内容

【消去】＝指定した範囲の文字を消去します。(⇒101ページ)

【切取】＝指定した範囲の文字を元の位置から削除し、パソコン内部に記憶します。(⇒101ページ)

【写取】＝指定した範囲の文字をパソコン内部に記憶します。(⇒102ページ)

【貼付】＝「切取」「写取」で記憶した文字を画面に表示させます。(⇒102ページ)

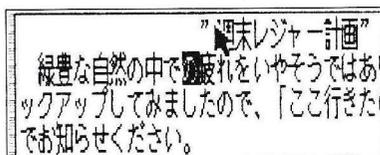
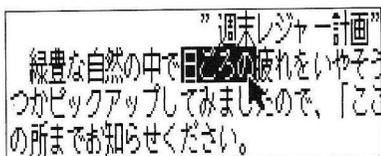
【全角】＝文字を全角にします。(⇒103ページ)

【半角】＝文字を半角にします。(⇒103ページ)

## 消去する (消去)<sup>しょうきよ</sup>

TED、LINK

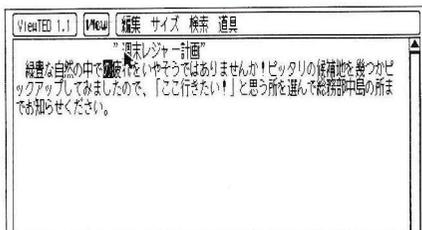
指定した範囲の文字を消去します。操作の前にあらかじめ消去する範囲を選んでおきます。



1

編集メニュー(⇒100ページ)→  
▼を「消去」に移動し、左ボタン  
を押す。

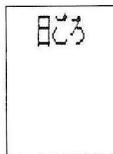
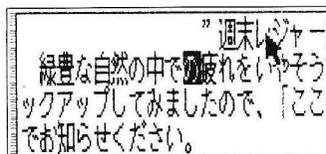
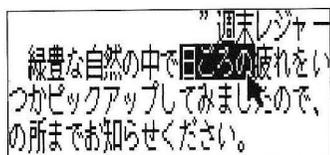
指定した文字が消えます。



## 文字を切り取る (切取)<sup>きりとり</sup>

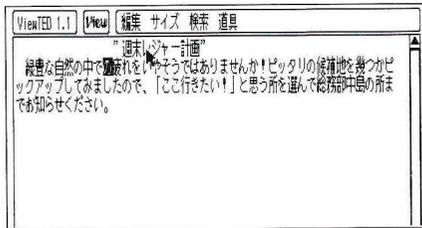
TED、LINK

指定した範囲の文字をもとの位置から削除し、パソコン内部に記憶します。貼付の機能と合わせて使用すると、指定した位置に切り取った文字が挿入できます。



1

編集メニュー(⇒100ページ)→  
▼を「切取」に移動し、左ボタン  
を押す。



### ご注意

●消去した文字は元にもどりません。(パソコン内部にも記憶されません。)

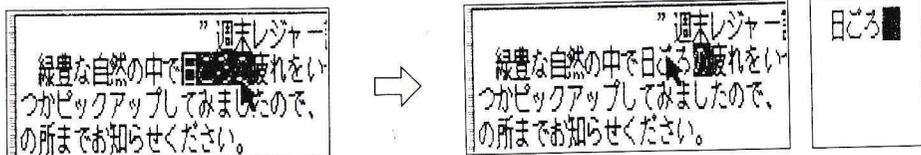
### メモ

●「切取」の操作で記憶した文字は他の「切取」や「写取」の操作を行うかView TED、Page LINKを終了するまで記憶されています。

## 文字を写し取る (写取)<sup>うつとり</sup>

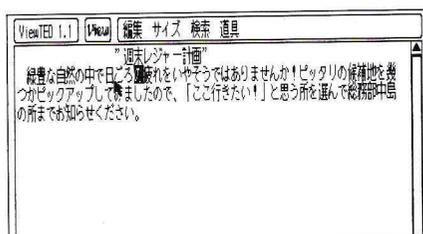
TED、LINK

指定した範囲の文字を残した状態で、パソコン内部に記憶させます。貼付の機能と合わせて使用すると、指定した位置に写し取った文字が挿入できます。



1

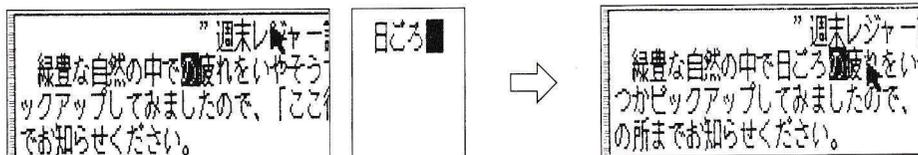
編集メニュー(⇒100ページ)→  
▼を「写取」に移動して左ボタン  
を押す。



## 文字を貼 (は) り付ける (貼付)<sup>はりつけ</sup>

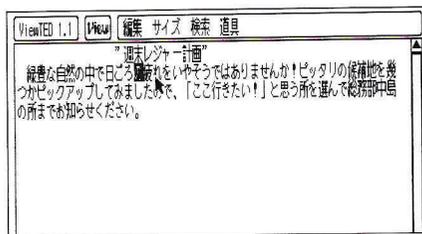
TED、LINK

「切取」や「写取」でパソコン内部に記憶した文字を、カーソル位置に挿入します。「切取」の機能と合わせて使用すると、文字列が移動でき、「写取」の機能と合わせて使用すると、文字列のコピーが行えます。



1

編集メニュー(⇒100ページ)→  
▼を「貼付」に移動し、左ボタン  
を押す。

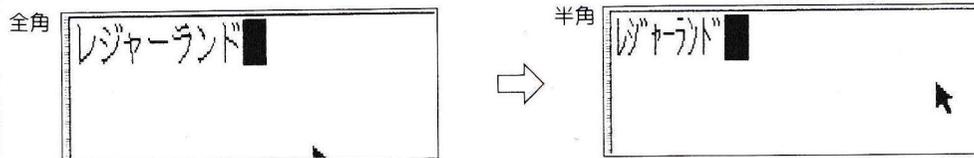


### ご注意

- 「複写」の操作で記憶した文字は他の「切取」や「写取」の操作を行うかView TED、Page LINKを終了するまで記憶されています。
- 文書が長すぎたり、「切取」または「写取」の操作で記憶した文字の量が多すぎると、「貼付」にかかる時間が長くなります。

## 文字を半角にする（全角／半角） TED、LINK

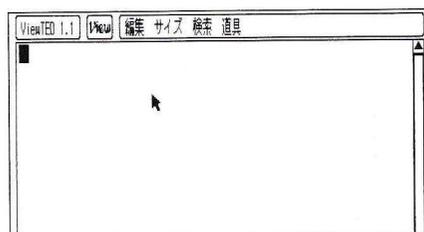
文字の大きさを半角にします。Page L I N Kでリンクリストを作成する時、ファイル名やタイトル、目次、コメント行以外は、半角で入力してください。



1

編集メニュー(⇨100ページ)⇨  
▼を「半角」に移動し、左ボタン  
を押す。

再びメニューを呼び出すと「半角」に  
マークが付いています。



- 全角に戻したい場合  
▼を全角に移動して左ボタンを押します。

- 入力できる文字  
【全角】＝ひらがな、カタカナ、英数字、漢字が入力できます。  
【半角】＝カタカナ、英数字が入力できます。

### ご注意

- 一度指定すると、新たに指定し直すがView TED、Page L I N Kを終了するまで有効です。

# サイズメニュー

画面に表示する文字の大きさを選びます。

選べる文字のサイズは「12×8」「12×12」「16×16」(ドット)の3種類です。

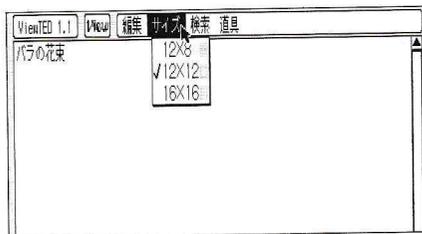
## サイズを選ぶ

TED、LINK

1

マウスをコマンドバーの「サイズ」に移動し、左ボタンを押す。

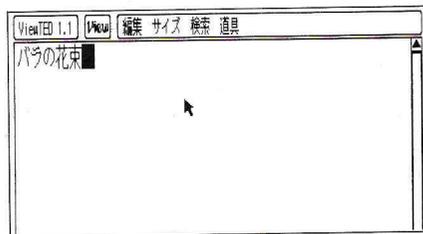
右ボタンを押すと、メニューは消えます。



2

マウスを変更する文字サイズに移動し、左ボタンを押す。

再びメニューを呼び出すと、選んだ文字サイズに✓がついています。



### ご注意

●この操作でサイズ設定しても、印字したときの文字サイズは変わりません。

### メモ

●一度選ぶと新たに選び直すか、View TEDまたはPage LINKを終了するまで有効です。

# 検索メニュー

指定した文字を探し出したり、別の文字に置き換えます。

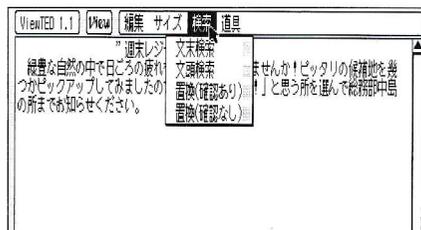
## 検索メニューを表示させる

TED、LINK

1

▼をコマンドバーの「検索」に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すと、メニューは消えます。



## 文字を探す (文頭検索) (文末検索)

TED、LINK

指定した文字 (検索文字) を文書中から探し出します。

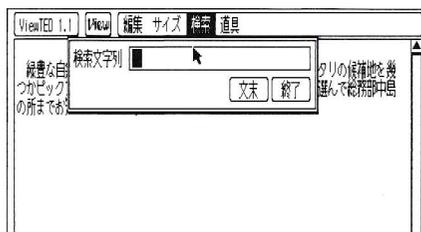
【文頭検索】=カーソルの前の文字から文頭までの文字を探し出します。

【文末検索】=カーソルの次の文字から文末までの文字を探し出します。

1

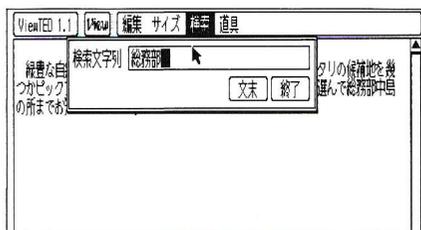
検索メニュー(⇒上記)⇒

▼を「文頭検索」または「文末検索」に移動し、左ボタンを押す。



2

検索する文字を入力する。

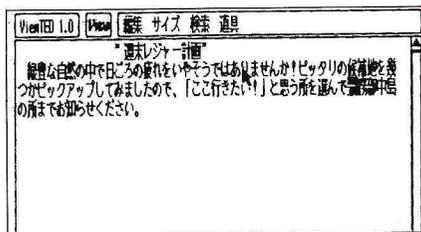


### ご注意

- 編集メニューで、入力する文字を「半角」に設定していても、検索メニュー内では全角で入力されます。

# 3

- ・「文頭検索」を選んだ場合は、**⏪**を「文頭」に移動し、左ボタンを押す。
- ・「文末検索」を選んだ場合は、**⏩**を「文末」に移動し、左ボタンを押す。



検索文字が見つかったら、カーソルが検索された文字の先頭に移動します。

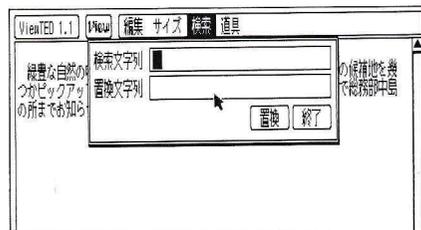
- ・検索をやめる場合は、**⏪**を「終了」に移動し、左ボタンを押す。

## 文字を置き換える (置換) ちかん TED、LINK

指定した文字（検索文字）を探し出し、別の文字（置換文字）に置き換えます。置換には、検索文字が見つかるたびに文字を置き換えるかどうかを確認する「置換（確認あり）」と、確認を行わずにすべての検索文字を置き換える「置換（確認なし）」があります。

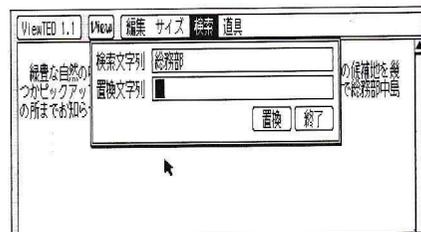
# 1

- 検索メニュー(⇒105ページ)⇒  
**⏪**を「置換（確認あり）」または「置換（確認なし）」に移動し、左ボタンを押す。



# 2

- 検索文字を入力し、**⏪**を押す。

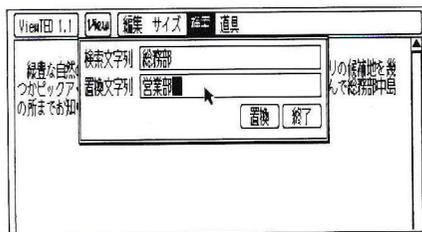


### ご注意

- 検索文字が検索範囲内がないときは「文字列が見つかりません」のメッセージが表示され検索が終了します。右ボタンを押すと、表示は消えます。

3

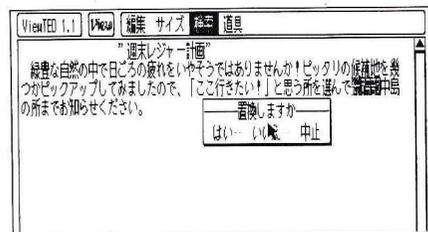
置換文字を入力する。



4

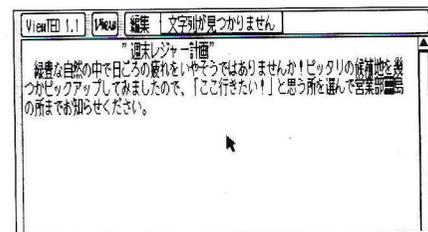
▼を「置換」に移動し、左ボタンを押す。

検索文字にカーソルが移動します。「置換（確認なし）」を選んだ場合は、すべての文字が置換されます。



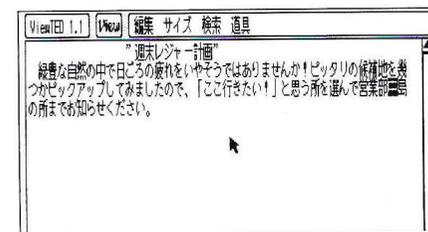
5

- ・置換を行う場合は、▼を「はい」に移動し、左ボタンを押す。
- ・置換をやめる場合は、▼を「いいえ」に移動し、左ボタンを押す。



6

右ボタンを押す。



メモ

- [4]の画面で「中止」を選ぶと置換の操作が中止されます。
- 「置換（確認あり）」を行っているときに複数の検索文字がある場合、検索文字がなくなるまで [5]の操作を繰り返します。

# 道具メニュー

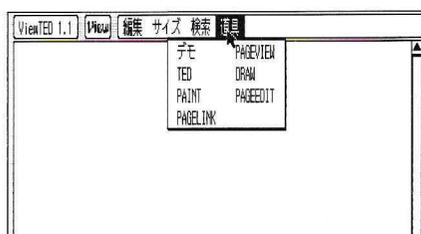
MSX View の他の道具「View DRAW」「View TED」「View PAINT」「Page BOOK (Page EDIT/Page LINK/Page VIEW)」やMSXView用の市販ソフトを始めるメニューです。

## 道具を選ぶ

TED、LINK

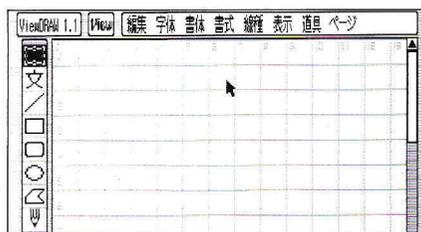
1

マウスをコマンドバーの「道具」に移動し、左ボタンを押す。



2

マウスを起動させるソフト名に移動して左ボタンを押し、マウスを「はい」に移動して左ボタンを押す。



### ●道具メニューの内容

- 【D R A W】 = 「View DRAW」(⇔72ページ) を始めます。
- 【T E D】 = 「View TED」(⇔66ページ) を始めます。
- 【P A I N T】 = 「View PAINT」(⇔73ページ) を始めます。
- 【PAGEEDIT】 = 「Page EDIT」(⇔80ページ) を始めます。
- 【PAGELINK】 = 「Page LINK」(⇔80ページ) を始めます。
- 【PAGEVIEW】 = 「Page VIEW」(⇔80ページ) を始めます。

### ご注意

- Page VIEW以外のソフトを始めるときは新規作成画面になります。
- 1**でシステムディスク3がディスクドライブにセットされていない場合は、「デモ」と「PAGEVIEW」だけが表示されます。また、MSXView用の市販ソフトを始める場合は、**1**の操作の前に使用するソフトのフロッピーディスクをディスクドライブにセットしておいてください。
- 他の道具(ソフト)を始める場合、それまで使用していた道具(ソフト)で作成した文書や図形などは消えてしまいます。必要な文書や図形は、保存または登録しておいてください。

# 製本メニュー

Page E D I Tで作ったひとつのファイルは、本の1ページにあたります。このファイルを順番に並べて一冊の本にします。ページの順に並べたものを「リンクリスト」といいます。作成したリンクリストに従って製本すると、Page E D I Tで作った画面を、本のようにPage V I E Wで見ることができます。

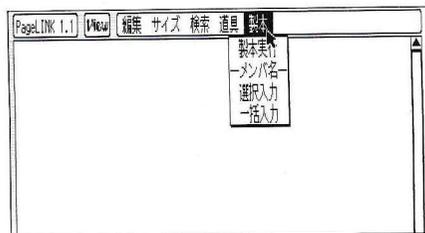
## 製本メニューを表示させる

LINK

1

▼を「コマンドバーの「製本」に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すと、メニューは消えます。



### ●製本メニューの内容

【製本実行】＝作った本をPage V I E Wで見ることができるようになります。

【選択入力】＝Page E D I Tで作成、保存したファイルからPage V I E Wに使うファイルを選んで自動的に一覧（リンクリスト）に書き込みます。

【一括入力】＝Page E D I Tで作成、保存したファイルからPage V I E Wに使うファイルをすべて自動的に一覧（リンクリスト）に書き込みます。

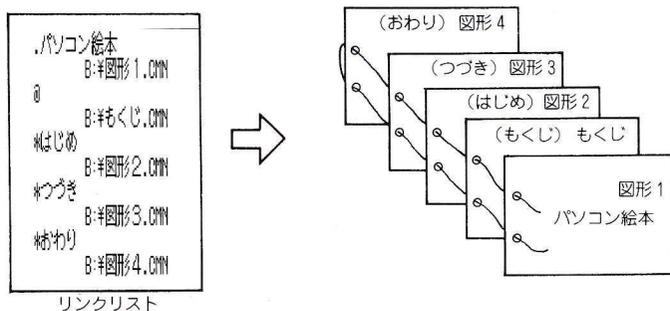
メモ

●一覧（リンクリスト）を保存または登録しておく、以後一覧（リンクリスト）を変更したりする場合に便利です。

## リンクリストの作りかた

LINK

リンクリストは全角文字で保存されているファイル名や、タイトル、コメント行以外（・、@、\*、スペース）は半角文字で入力します。（⇒141ページ）



### ●リンクリストで使う命令

【ファイル名】 = (ファイル名).CMN

指定のファイルを表示させます。

ファイル名の前には必ず **SPACE** が **TAB** を入力してください。またファイル名には必ず拡張子 (.CMN) を付けてください。

ファイルは並べた順に上から 1 ページ、2 ページ…になります。

入力例： 1 ページ.CMN

【タイトル】 =. (タイトル)

Page VIEWのタイトルバーにタイトルを表示させます。

タイトルは次のタイトルの命令があるまで有効です。

入力例：.パソコン絵本

【目次】 =@(ファイル名)

@のあと最初にくるファイルが目次のページになります。

@に文字列を加えると、その文字列がタイトルになります。

入力例：@目次

【コメント行】 =\*(コメント)

\*のあとに続く文字列はコメントです。

Page VIEWには影響ありません。リンクリスト内の覚え書きなどに使えます。

入力例：\*2001/4/16 作成

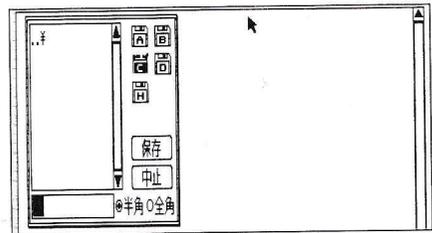
# 製本する (製本実行)

LINK

作ったリンクリストにしたがってファイルを製本します。

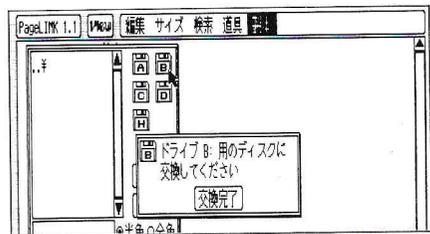
1

製本メニュー(⇒109ページ)⇒  
▼を「製本実行」に移動し、左ボタンを押す。



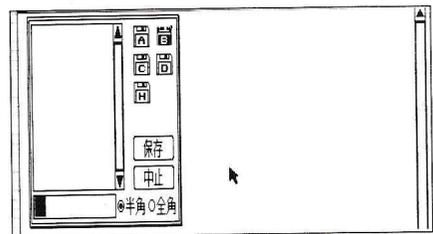
2

▼を [ ] に移動し、左ボタンを押す。



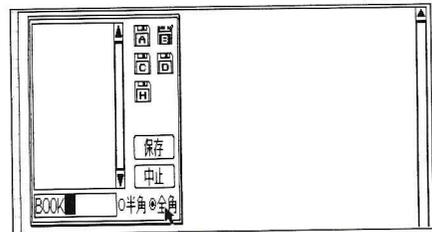
3

保存するフロッピーディスクをドライブにセットして、▼を「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。



4

ファイル名を入力する。  
文字の入力のしかたは21ページを参照してください。



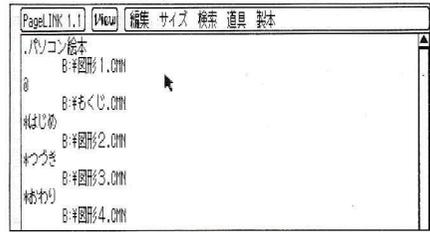
メモ

- 製本を実行すると、リンクリストの文法の間違ひもチェックします。間違ひがある場合エラーメッセージが表示されます。▼を「確認」に移動し、左ボタンを押すと、間違ひがある行にカーソルが移動します。

5

▼を「保存」に移動し、左ボタンを押す。

製本をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



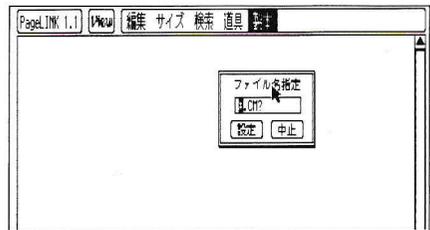
## ファイル名を入力する（選択入力）（一括入力） LINK

リンクリストに入力するファイル名をファイル一覧から自動的に呼び出して入力します。

1

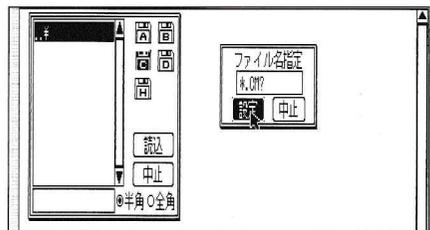
製本メニュー(⇨109ページ)⇨

▼を「選択入力」または「一括入力」に移動し、左ボタンを押す。



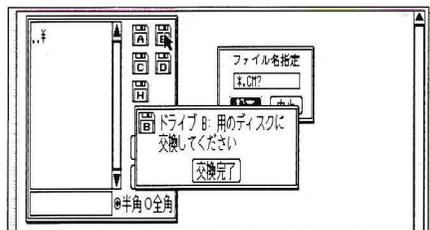
2

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。



3

▼を  に移動し、左ボタンを押す。



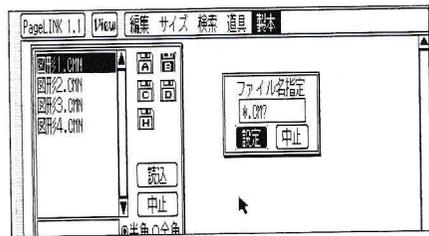
### ご注意

- [2] の操作で点滅しているカーソルの位置にファイル名を入力するとファイル一覧を表示させたとき入力したファイル名だけが表示されます。
- [1] の操作で点滅しているカーソルの位置に拡張子を入力し [2] の操作をすると、その拡張子を持つファイルが表示されます。

× モ

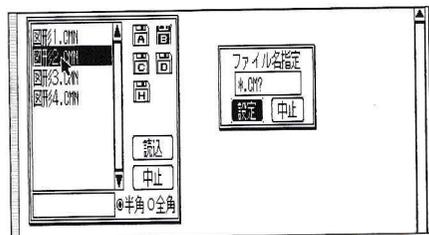
4

呼び出すファイルが保存されているフロッピーディスクをディスクドライブにセットして、**▼**を「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。



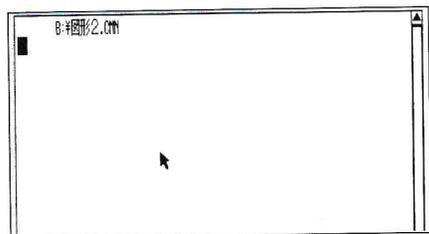
5

呼び出すファイルに**▼**を移動し、左ボタンを押す。



6

**▼**を「読込」に移動し、左ボタンを押す。



メモ

- 「一括入力」を選んだ場合は、ファイル一覧に表示されているすべてのファイル（**[1]**で入力されている拡張子のファイルのみ）が呼び出されます。



## 第5章

### View DRAW/View PAINT/Page EDIT

# 機能いろいろ

「View DRAW」「View PAINT」Page BOOKの中の「Page EDIT」の機能について説明しています。

- タイトルメニュー..... 116
- 設定メニュー..... 129
- 編集メニュー..... 130
- 字体メニュー..... 148
- 書体メニュー..... 149
- 書式メニュー..... 150
- 線種メニュー..... 151
- 表示メニュー..... 153
- 道具メニュー..... 155
- ページメニュー..... 156
- 作画メニュー..... 157

# タイトルメニュー

タイトルメニューでは、作成したファイルの呼び出し、保存、更新、図形や文字の登録、組込や印刷などを行うことができます。

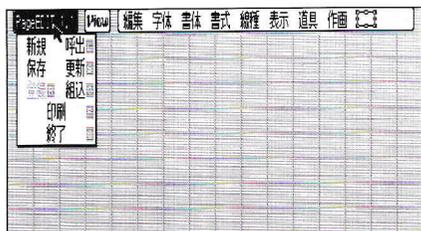
「登録」の操作をするときは、メニューを表示させる前にあらかじめ操作の対象になる範囲を選んでおきます。

## タイトルメニューを表示させる DRAW、PAINT、EDIT

1

▼をタイトルバーに移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すとメニューが消えます。

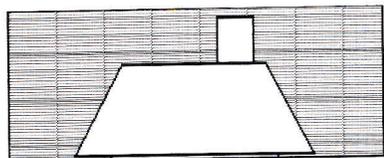


### ●タイトルメニューの内容

- 【新 規】＝画面上で作成した文書を白紙の状態に戻します。(⇒117ページ)
- 【呼 出】＝保存されているファイルを画面に呼び出します。(⇒118ページ)
- 【保 存】＝画面に表示されている図形や文書を保存します。(⇒120ページ)
- 【更 新】＝呼び出して書き換えたファイルに上書きします。(⇒121ページ)
- 【登 録】＝指定した範囲またはセルをソフト間の共通のファイルとして保存します。(⇒122ページ)
- 【組 込】＝「登録」したファイルを画面に表示させます。(⇒123ページ)
- 【追加呼出】＝画面上の図形はそのまま、新たに図形をフロッピーから呼び出します。(⇒125ページ) (View DRAWのみ)
- 【印刷形式】＝印刷するための用紙サイズを選択します。(⇒127ページ) (View DRAWのみ)
- 【印 刷】＝画面に表示されている図形などを印刷します。(⇒128ページ)

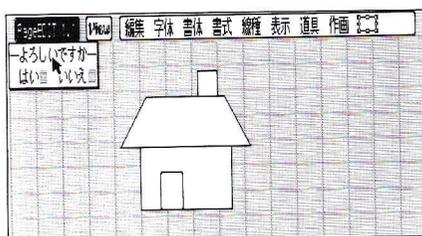
## 新しい画面にする（新規） DRAW、PAINT、EDIT

画面上に作成されている文書を消去し、新しい画面を表示させます。  
新しくファイルを作成し始める時に使用します。



1

タイトルメニュー(⇒116ページ)→  
▼を「新規」に移動し、左ボタン  
を押す。

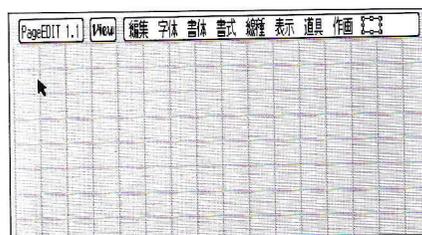


2

▼を「はい」に移動し、左ボタン  
を押す。



「新規」をやめる場合は、▼を「いいえ」に移動して左ボタンを押します。

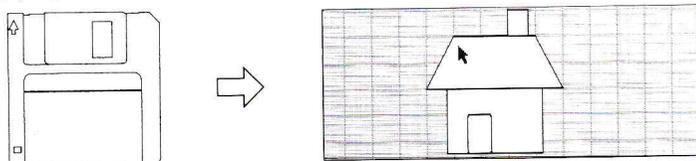


### ご注意

- 作った文書が画面に表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うと図形や文書は消えてしまいます。
- Page EDITでは表示されているページに対してのみ新規状態になります。

# ファイル呼び出す (呼出) DRAW、PAINT、EDIT

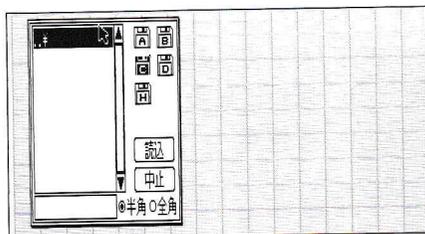
保存されているファイルを画面に表示させます。



1

タイトルメニュー(⇒116ページ)→  
▼を「呼出」に移動し、左ボタン  
を押す。

現在のドライブディスクに入っている  
ファイル名の一覧が表示されます。



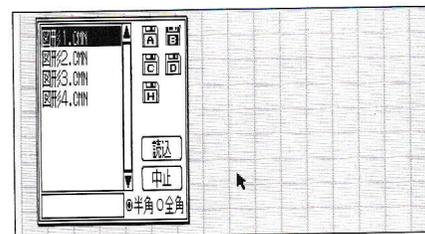
2

▼を 開く に移動し、左ボタンを  
押す。



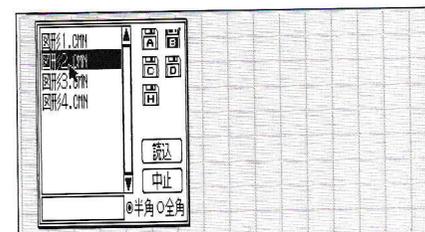
3

呼び出すファイルが入っているフ  
ロッピーディスクをドライブに  
セットして、  
▼を「交換終了」に移動し、左ボ  
タンを押す。



4

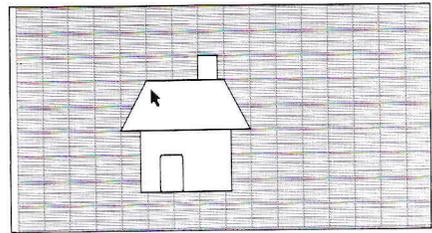
▼を呼び出したいファイル名に移  
動し、左ボタンを押す。



# 5

▼を「読込」に移動し、左ボタンを押す。

呼出をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



## ご注意

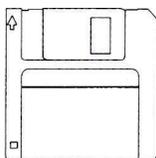
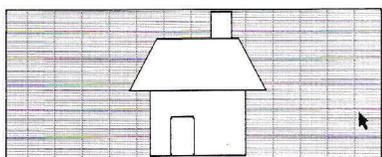
## メモ

- 作った文書や図形が画面に表示されている場合、保存、登録または更新の操作をせずにこの操作を行うと文書は消えてしまいます。
- 呼び出したいファイルを指定するときに、▼をファイルに移動し、左ボタンをすばやく2度押す（ダブルクリック）と、「読込」と同じ操作になります。

# 図形を保存する (保存)

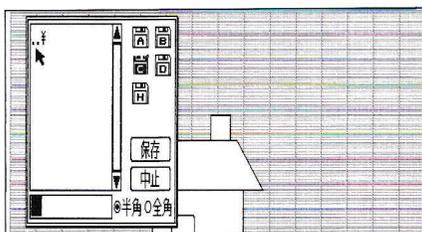
# DRAW、PAINT、EDIT

画面に表示されている図形をフロッピーディスクに保存します。



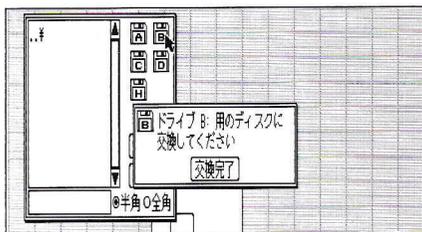
1

タイトルメニュー(⇒116ページ)の「保存」に移動し、左ボタンを押す。



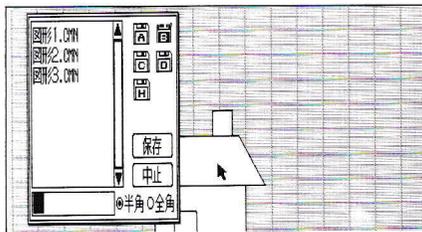
2

「保存」を「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。



3

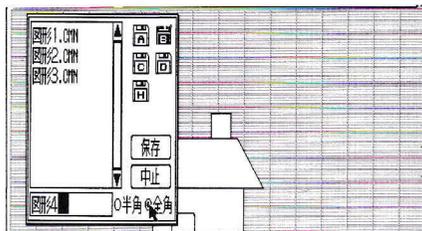
保存するフロッピーディスクをドライブにセットして、「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。



4

ファイル名を入力する。

全角文字で入力したい場合は、「全角」に移動し、左ボタンを押します。



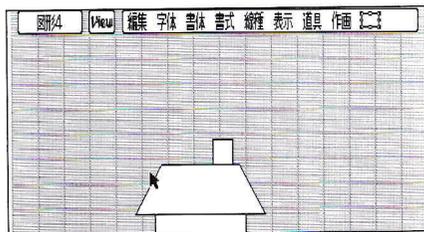
## ご注意

- Page EDITでは、表示されているページしか保存されません。保存したいページをページメニュー(⇒156ページ)を使って表示させてから、保存の操作をしてください。

5

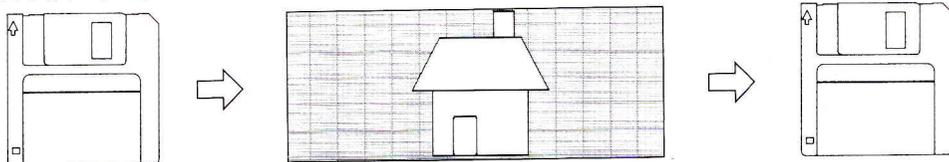
マウスを「保存」に移動し、左ボタンを押す。

保存の操作をやめる場合は、マウスを「中止」に移動し、左ボタンを押します。



## ファイルを書き換える (更新) DRAW、PAINT、EDIT

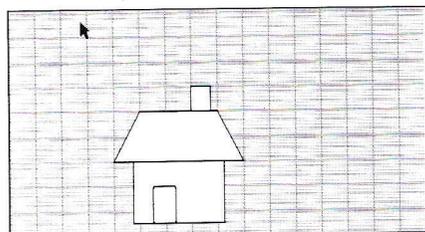
保存されているファイル呼び出し、修正して同じファイルに書き換えます。



1

タイトルメニュー(⇒116ページ)⇒マウスを「更新」に移動し、左ボタンを押す。

ファイルが更新されました。



### ご注意

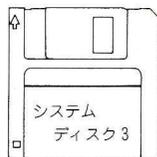
●更新の操作で新しいファイルに書き換えると元のファイルは消えてしまいます。

### メモ

- 新しく作成したファイルに更新の操作を行うと自動的に保存の操作に切り替わります。
- 登録されたファイルを更新する場合は、もういちど登録の操作を行います。

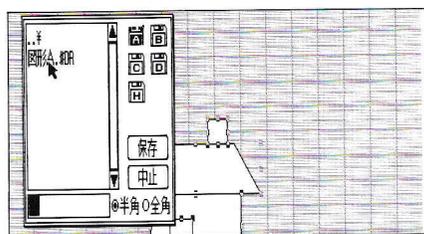
## 共通のファイルにする (登録) DRAW, PAINT, EDIT

作成した図形をソフト間の共通のファイルとしてシステムディスク3に保存します。  
「登録」の操作を行う前にあらかじめ、登録する範囲または(セル)を指定しておきます。  
(⇒150ページ)  
登録したファイルはPage EDITで組込(⇒123ページ)、保存(⇒120ページ)して、  
Page BOOKに使ことができます。



1

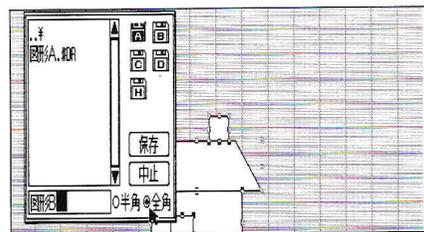
タイトルメニュー(⇒116ページ)→  
▼を「登録」に移動し、左ボタン  
を押す。



2

ファイル名を入力する。

全角文字で入力する場合は、▼を「全  
角」に移動し、左ボタンを押します。



3

▼を「保存」に移動し、左ボタン  
を押す。

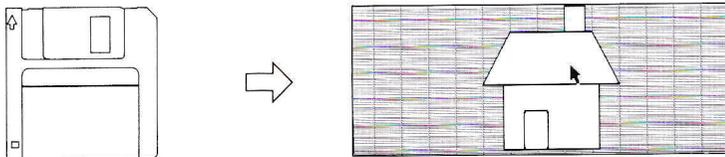
登録を中止する場合は、▼を「中止」  
に移動し、左ボタンを押します。

メモ

- 画面のファイル一覧中の「..¥」に▼を移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリックする)と、親ディレクトリ(⇒49ページ)が表示されます。

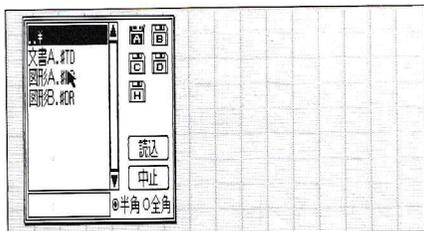
# 登録したファイル呼び出す (組込) DRAW、PAINT、EDIT

登録したファイル呼び出します。



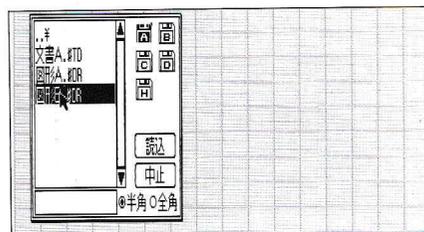
1

タイトルメニュー(⇒116ページ)→  
▼を「組込」に移動し、左ボタンを押す。



2

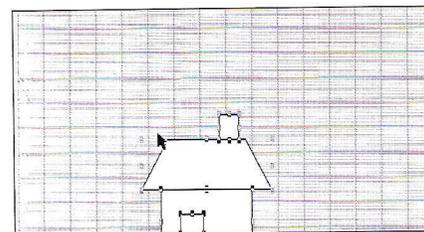
▼を呼び出したいファイル名に移動し、左ボタンを押す。



3

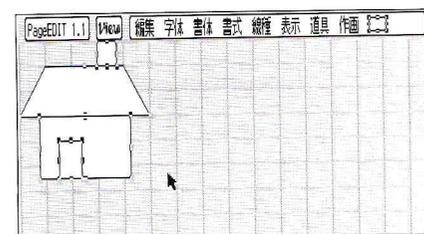
▼を「読込」に移動し、左ボタンを押す。

組込をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



4

- View D R A W、Page E D I Tの場合は、▼を呼び出したセルに移動し、左ボタンを押す。
- View P A I N Tの場合は、5に進む。



## ご注意

●ファイル名入力は半角で8文字以内、全角で4文字以内の文字数で入力してください。これ以上の文字を入力してもファイル名として表示されません。(ファイル名に続いて拡張子は半角で3文字まで入力できます。)

## メモ

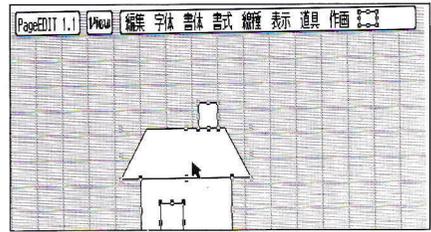
●呼び出したいファイルを指定するときに、▼をファイルに移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリック)と、「読込」と同じ操作になります。

# 5

- View D R A W、Page E D I Tの場合は、  
▼を移動して、セルを表示させたい位置に移動させ、左ボタンを押す。

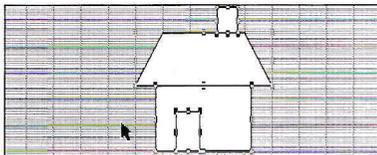
右ボタンを押すとラバーバンドが解除されます。

- View P A I N Tの場合は、  
▼を移動して、図形を表示させたい位置に移動させ、左ボタンを押す。



## ●ラバーバンド

View D R A W、Page E D I T 特定の図形を選んでいるときその図形にラバーバンドが表示されます。(⇒158ページ)



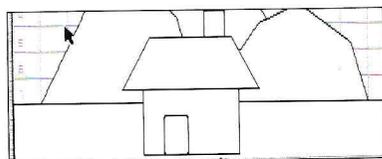
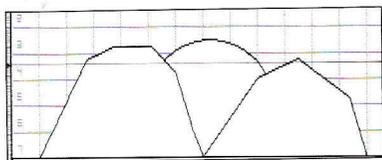
解除



# 追加で呼び出す (追加呼出)

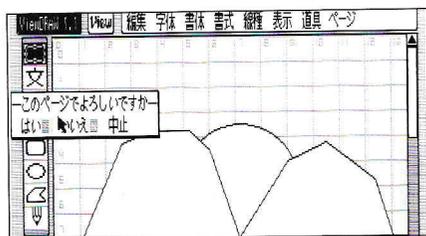
DRAW

表示している画面を消さずに保存されているファイルを読み出します。



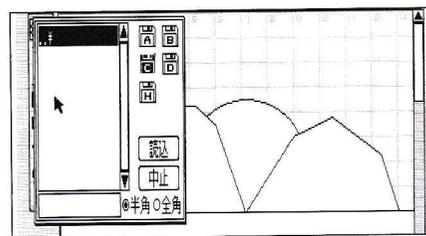
1

タイトルメニュー(⇒116ページ)の  
▼を「追加呼出」に移動し、左ボ  
タンを押す。



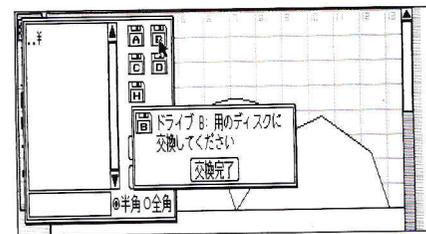
2

- 表示ページに呼び出す場合は、  
▼を「はい」に移動し、左ボ  
タンを押す。
- 違うページを呼び出す場合は、  
▼を「いいえ」に移動し、左ボ  
タンを押す。
- 呼び出しの操作をやめる場合  
は、▼を「中止」に移動し、左  
ボタンを押す。



3

▼を [ ] に移動し、左ボタンを  
押す。

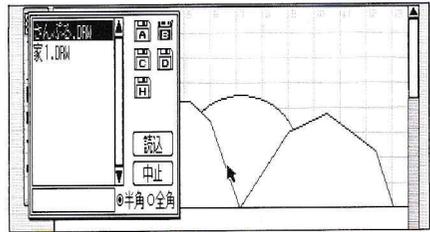


**ご注意**

- [2] で「いいえ」または「中止」を選んだ場合、もとの画面に戻ります。

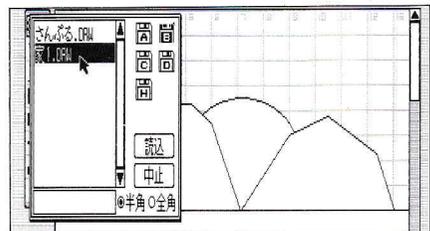
4

呼び出すファイルが入っているフロッピーディスクをドライブにセットして、  
▼を「交換完了」に移動し、左ボタンを押す。



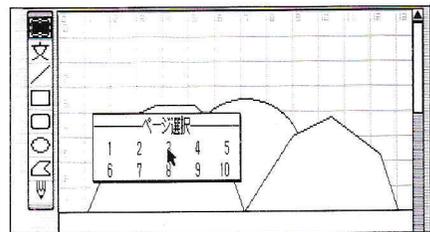
5

▼を呼び出したいファイル名に移動し、左ボタンを押す。



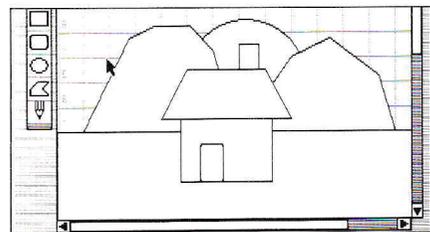
6

▼を「読込」に移動して、左ボタンを押す。



7

▼をファイルを呼び出したいページの番号に移動し、左ボタンを押す。



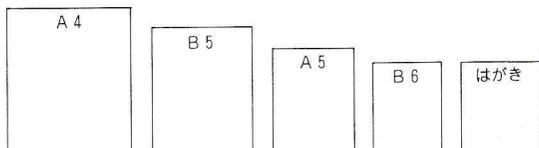
**ご注意**

- 呼び出したいファイルを指定するときに、▼をファイルに移動し、左ボタンをすばやく2度押す(ダブルクリック)と、「読込」と同じ操作になります。

## 用紙サイズを設定する（印刷形式）

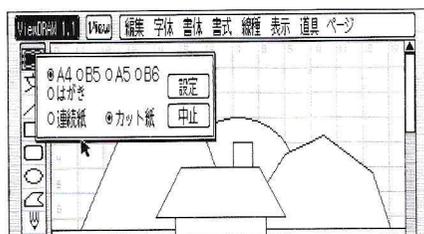
DRAW

印刷するための用紙の大きさを選びます。View DRAWで印刷を行う場合は必ず設定しておいてください。操作の前にあらかじめ設定メニューの「プリンタ」の設定をしておいてください。（⇒51ページ）



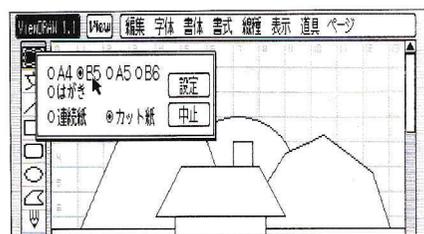
1

タイトルメニュー（⇒116ページ）→  
▼を「印刷形式」に移動し、左ボタンを押す。



2

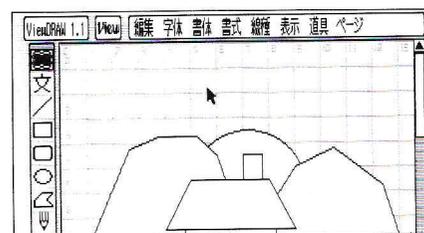
▼を使用したいサイズまたは用紙に移動し、左ボタンを押す。



3

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

用紙設定をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押す。



### ご注意

- 用紙サイズを変更すると作画範囲も変わります。
- 印刷形式を「はがき」にして印刷する場合、プリンタ（⇒129ページ）を「プリンタ1」に設定しているときは他のプリンタよりも印刷領域がせまくなります。

# 印刷する (印刷)

# DRAW、PAINT、EDIT

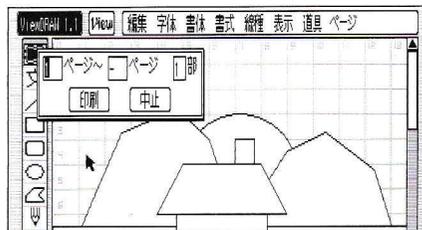
表示されている図形や文書を印刷します。

1

タイトルメニュー(⇒116ページ)⇒  
プリンタの説明書にしたがって、  
用紙セットなどのプリンタ準備を  
する。

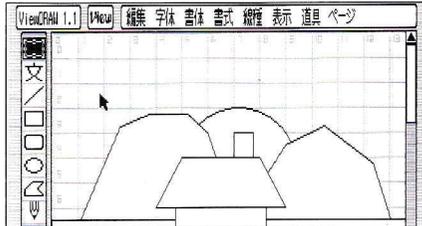
2

マウスを「印刷」に移動し、左ボタン  
を押す。



3

- View D R A Wの画面で印刷する場合、印刷の設定をして、マウスを「印刷」に移動し、左ボタンを押す。
- View P A I N T、Page E D I Tの画面で印刷する場合、を押す。



## ● View D R A Wの印刷の設定

【印刷ページの設定】 = 何ページから何ページまでを印刷するかを設定します。

【印刷部数の設定】 = 1ページにつき何枚印刷するかを設定します。

## ● 印刷の中断

印刷を中断したいときは、 を押しながら  を押します。

マウスの右ボタンを押しても中断しません。

中断したときは、プリンタの電源スイッチを入れ直してください。

## ご注意

● 印刷の設定を行う前に設定メニューでプリンタの設定をしてください。

● カラー印刷はできません。

## メモ

● View P A I N T、Page E D I Tで画面いっぱいに作図すると、印刷したとき縦横の大きさが約80mm×145mmになります。

# 設定メニュー

設定メニューは、入出力の設定や画面の調整、単語や外字の登録などを行うメニューです。

## 設定メニューを表示させる DRAW、PAINT、EDIT

1

▼を設定バー移動し、左ボタンを押す。



### ●設定の内容

- 【システム設定】 = 入力の方法を設定します。(⇒52ページ)
- 【プリンタ】 = 使用するプリンタを選びます。(⇒54ページ)
- 【画面調整】 = 画面の色や位置を調整します。(⇒55ページ)
- 【単語登録】 = よく使う単語を登録します。(⇒57ページ)
- 【単語削除】 = 登録した単語を削除します。(⇒59ページ)
- 【外字作成】 = 新しい文字や記号を作り、登録します。(⇒60ページ)

メモ

- 設定メニューの操作は、一度設定すると記憶されていますので、使うたびに設定する必要はありません。MSXViewの他のソフトを始めたときも有効です。ただし本体に乾電池がセットされていないか、または「終了」の操作をせずに電源スイッチを切ると、最後の設定内容は記憶されません。

# 編集メニュー

作った図形の複写や、移動などの編集作業を行います。

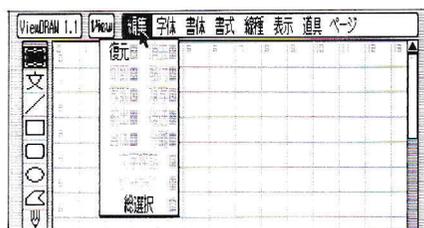
## 編集メニューを表示させる DRAW、PAINT、EDIT

「消去」「切取」「写取」「複写」「<sup>まただし</sup>前出」「<sup>あとおくり</sup>後送」「<sup>がったい</sup>合体」「<sup>ぶんり</sup>分離」「<sup>もじわくづめ</sup>文字枠詰」「<sup>ざひょうひょうじ</sup>座標表示」「<sup>ひょうじはんてん</sup>スクリプト」「ビットマップ」「<sup>ひょうじはんてん</sup>表示反転」の操作を行う場合は、メニューを表示させる前に操作の対象になる範囲またはセルを選んでおきます。(⇒158ページ)

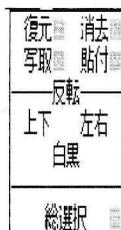
1

マウスをコマンドバーの「編集」に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すとメニューは消えます。



### ●編集メニューの内容



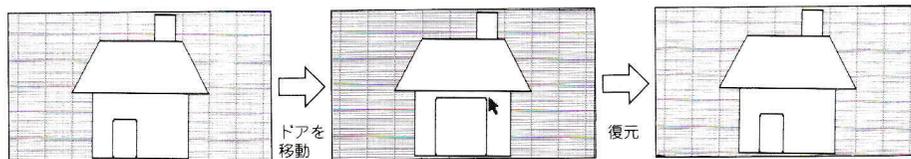
[View DRAW]      [View PAINT]      [Page EDIT]

- 【復元】＝一つ前の編集・作画の操作を取り消します。(132ページ)
- 【消去】＝指定した範囲の図形またはセルを消去します。(⇒133ページ)
- 【切取】＝指定した範囲の図形またはセルを削除しパソコン内部に記憶します。(⇒133ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【貼付】＝「切取」「複写」で記憶した図形またはセルを画面に表示させます。(⇒134ページ)
- 【写取】＝指定した範囲の図形またはセルをパソコン内部に記憶します。(⇒134ページ)
- 【複写】＝指定した範囲の図形またはセルをと同じ図形を画面内に作ります。(⇒135ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【前出】【後送】＝指定したセルを一番前面に移動させたり(前出)、一番後方に移動させたり(後送)します。(⇒136ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【合体】＝複数のセルをひとつのセルにします。(⇒137ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【分離】＝「合体」でひとつにしたセルを元の複数のセルに戻します。(⇒137ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【画面切替】＝Page EDITでは2つの画面を切り替えながら編集できます。(⇒138ページ)

- 【文字枠詰】 = 入力した文字数や文字の大きさにあわせて文字枠を縮小します。  
(⇒138ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【座標表示】 = 指定したセルの座標やサイズを表示します。(⇒139ページ) Page EDITのみ
- 【スクリプトコマンド】 = Page VIEWで実行する命令をセルに入力します。  
(⇒140ページ) Page EDITのみ
- 【セル表示順】 = セルを座標の小さい順に並べ替えます。(⇒144ページ) Page EDITのみ
- 【ビットマップ】 = セルに描いた図形をビットマップ化(ドット単位で描いた図形)にします。(⇒145ページ) View DRAW、Page EDIT
- 【反転】 = 指定した範囲の図形またはセルを反転します。(⇒147ページ) View PAINTのみ
- 【総選択】 = 画面に表示している全部のセル (View PAINTのときは全画面) を編集可能な状態にします。(⇒147ページ)

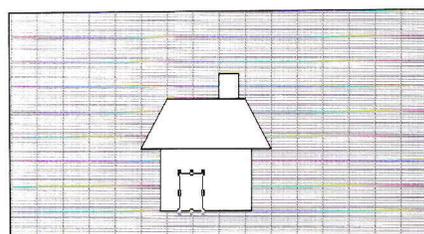
## ひとつ前の操作を取り消す<sup>ふくげん</sup> (復元) DRAW、PAINT、EDIT

図形の変形や移動の操作を取り消します。誤って移動してしまった図形などを元に戻すことができます。



編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
▼を「復元」に移動し、左ボタン  
を押す。

1



### ●復元できる機能

【View DRAW】 = 図形の変形や移動 (⇒159ページ) が復元できます。

【View PAINT】 = 図形の変形や移動 (⇒159ページ) と編集、作画の機能が復元できます。

【Page EDIT】 = 図形の変形や移動 (⇒159ページ) が復元できます。

メモ

● 2回続けて「復元」の操作をすると、復元の操作が取り消され元の画面に戻ります。

## 消去する (消去)

## DRAW、PAINT、EDIT

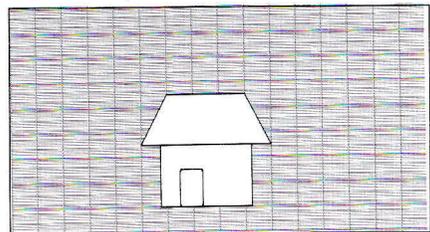
指定した範囲の図形を消します。操作を行う前にあらかじめ消去する範囲 (セル) を選んでおきます。(⇒158ページ)



1

編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「消去」に移動し、左ボタン  
を押す。

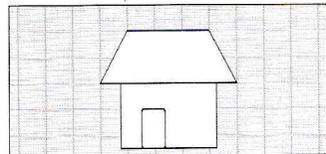
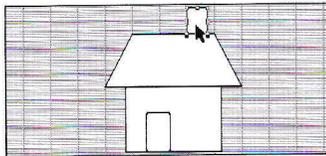
指定した範囲の図形 (セル) が消えま  
す。



## 図形を切り取る (切取)

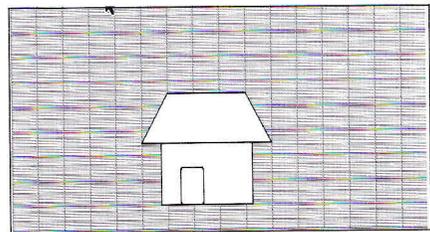
## DRAW、PAINT、EDIT

指定した範囲の図形またはセルをもとの位置から削除し、パソコン内部に記憶します。貼り付けの機能と合わせて使用すると、指定した位置に切り取った文字が挿入できます。操作を行う前にあらかじめ範囲またはセルを選んでおきます。



1

編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「切取」に移動し、左ボタン  
を押す。

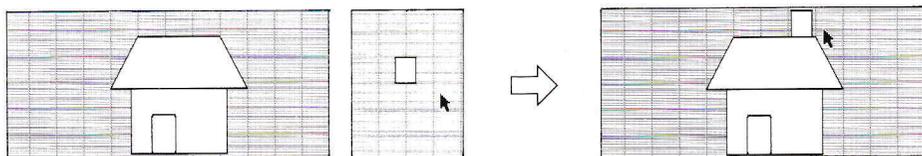


### ご注意

- View DRAW、Page EDITで一度消去した図形は元に戻りません。View PAINTで消去した図形は、直後に復元の操作をすれば元に戻ります。
- 「切取」で記憶した図形またはセルは他の「切取」や「写取」の操作を行うか使用しているソフトを終了するまで記憶されています。

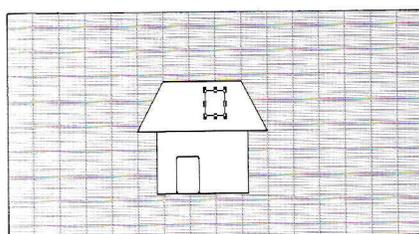
## 図形を貼 (は) り付ける (貼付) DRAW、PAINT、EDIT

「切取」や「写取」でパソコン内部に記憶した図形またはセルを、カーソル位置に挿入します。「切取」と合わせて使用すると移動の操作ができ、「写取」と合わせて使用すると複写の操作ができます。



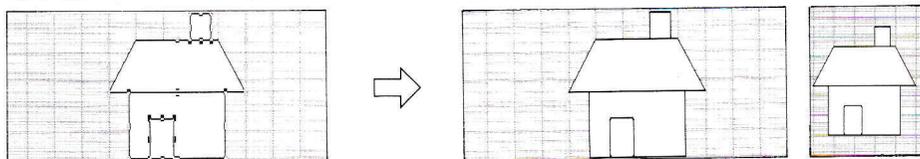
1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
マウスを「貼付」に移動し、左ボタン  
を押す。



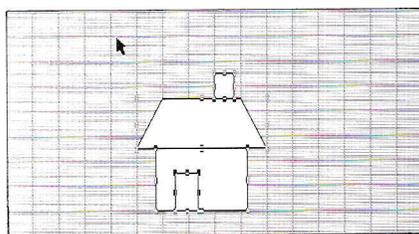
## 図形を写し取る (写取) DRAW、PAINT、EDIT

指定した範囲の図形またはセルを残した状態で、パソコン内部に記憶させます。貼込みの機能と合わせて使用すると、指定した位置に切り取った図形やセルが挿入できます。操作を行う前にあらかじめ範囲またはセルを選んでおきます。



1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
マウスを「写取」に移動して左ボタン  
を押す。



### ご注意

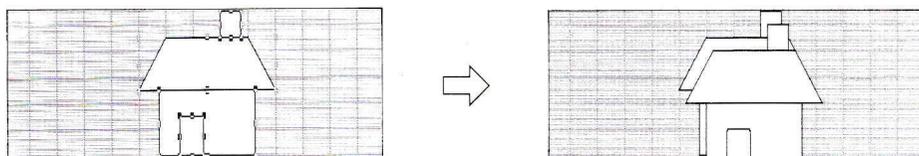
- View P A I N Tで「貼付」の操作をすると貼り付けされた図形が画面上書きされ、貼り付けされた部分にあった図形が消去されます。
- View P A I N Tで拡大表示をしているときに写し取った図形を原寸表示で貼り付けることや、原寸表示をしているときに写し取った図形を拡大表示で貼り付けることはできません。
- View P A I N Tで写し取った範囲の図形の形を変えると、貼り付ける図形のデータも同じ形に変わります。
- 「写取」で記憶した図形またはセルは他の「切取」や「写取」の操作を行うか使用しているソフトを終了するまで記憶されています。

メモ

# 図形を複写する（複写）

## DRAW、EDIT

指定したセルを複写します。操作の前にあらかじめ複写する図形を選んでおきます。

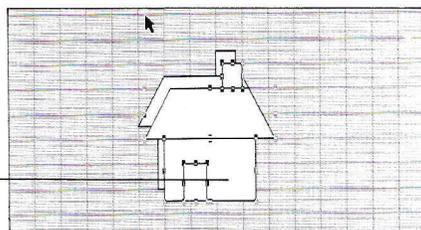


1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
▼を「複写」に移動し、左ボタン  
を押す。

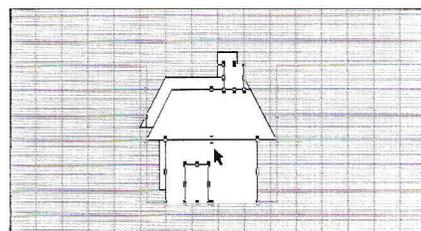
複写されたセルが元の図形の下に表示  
されます。

複写されたセル



2

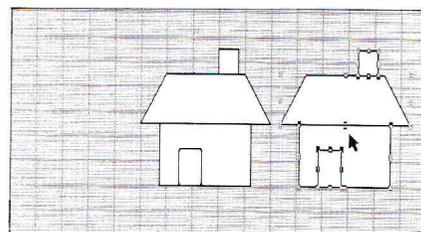
▼を複写されたセルに移動し、左  
ボタンを押す。



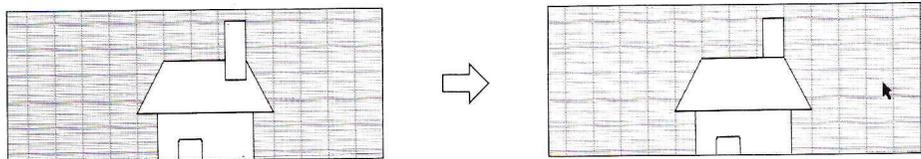
3

▼を移動し、複写されたセルを表  
示させたい位置に移動して左ボタ  
ンを押す。

右ボタンを押すと、ラバーバンド\* (⇒  
158ページ) が解除されます。



## セルを前後に移動させる (前出) (後送) DRAW、EDIT



### ●セルを前に出す (前出)

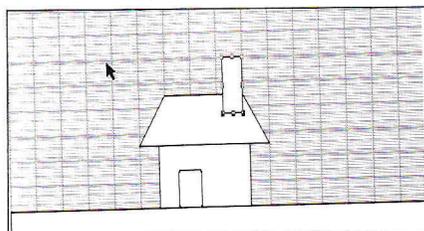
複数のセルが重なりあっているとき、後ろのセルを画面のいちばん手前に表示させます。

操作の前にあらかじめ前に出すセルを選んでおきます。

1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
▼を「前出」に移動し、左ボタン  
を押す。

右ボタンを押すとラバーバンド(⇒  
158ページ)が解除されます。



### ●セルを後ろに移動する (後送)

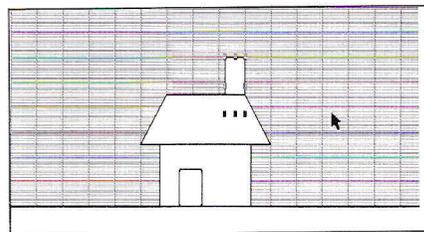
複数のセルが重なりあっているとき、前のセルを画面のいちばん後ろに表示させます。

操作の前にあらかじめ後ろに移動するセルを選んでおきます。

1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
▼を「後送」に移動し、左ボタン  
を押す。

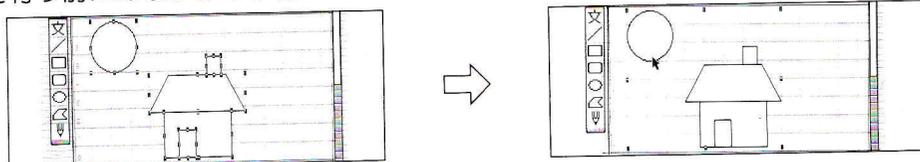
右ボタンを押すとラバーバンド(⇒  
158ページ)が解除されます。



## 複数のセルをひとつにする (合体) がつたい DRAW

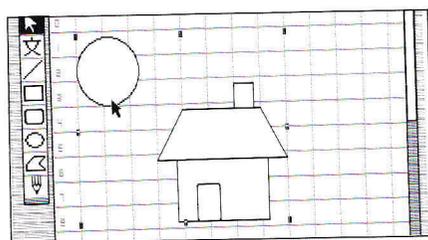
複数のセルをひとつのセルにします。セルの位置関係がばらばらになったりせず、また図形の変形 (⇒159ページ) なども同時に行えます。

操作を行う前にあらかじめひとつにするセルを選んでおきます。(⇒158ページ)



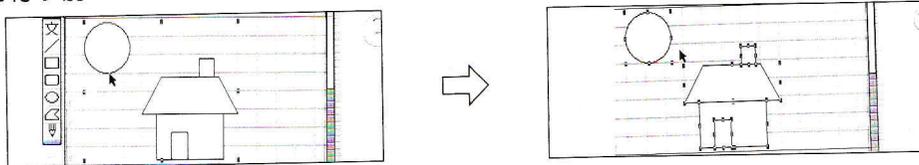
1

編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「合体」に移動し、左ボタン  
を押す。



## 合体した図形を切り離す (分離) ぶんり DRAW

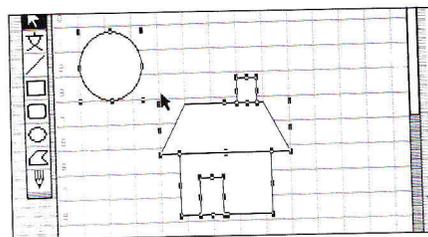
「合体」でひとつにしたセルをもとの別々の状態に戻します。  
操作を行う前にあらかじめ切り離すセルを選んでおきます。



1

編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「分離」に移動し、左ボタン  
を押す。

右ボタンを押すと、ラバーバンドが解  
除されます。



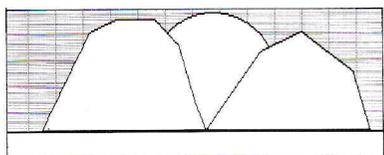
### ご注意

- 合体をいくつか繰り返しているセルを分離した場合、最後に合体したセルだけが切り離されま  
す。さらに切り離したいときは、分離の操作を繰り返してください。

## 画面を切り替える がめんきりかえ (画面切替)

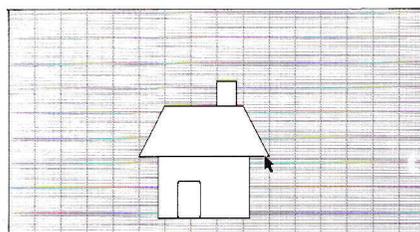
EDIT

Page EDITには作画する画面が2つあり、交互に表示させて作画、編集することができます。



1

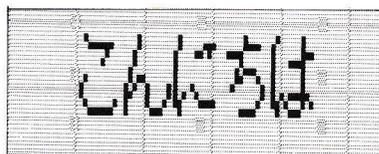
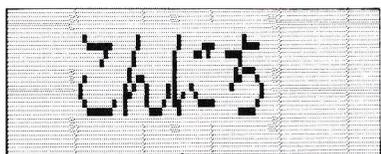
編集メニュー(⇨130ページ)⇨  
▼を「画面切替」に移動し、左ボタンを押す。



## 文字枠を詰める もじわくづめ (文字枠詰)

DRAW、EDIT

入力した文字数や文字の大きさにあわせて指定した文字枠の大きさを変えます。操作をする前にあらかじめ文字枠を詰めるセルを選んでおきます。



1

編集メニュー(⇨130ページ)⇨  
▼を「文字枠詰め」に移動し、ボタンを押す。

右ボタンを押すとラバーバンド(⇨158ページ)が解除されます。



### ご注意

- ☐を押さずに複数行に入力された文字列は、「文字枠詰」の操作をすると1行になります。文字枠は最大、編集画面の右端まで伸ばされますが、1行で入り切らない文字は表示されません。
- 文字枠以外のセルに「文字枠詰」の操作はしないでください。
- 文字枠の大きさを変えたいときは、文字枠のセルを変形させます。(「図形の形を変える」⇨159ページ)

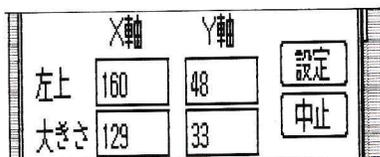
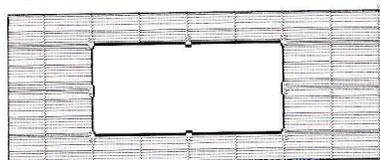
× 毛

# 座標を表示する (座標表示)

EDIT

セルの位置と大きさをX座標、Y座標で表示します。X座標は画面の左右をY座標は画面の上下を、それぞれドット数で表示します。セルの位置は、セルの左上の座標位置で表されます。座標また数値を変更することによってセルの位置や大きさを変えることができます。

操作を行う前にあらかじめ座標を表示するセルを選んでおきます。

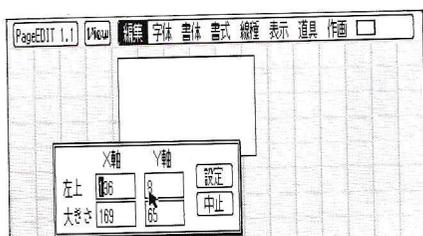


1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒

▼を「座標表示」に移動し、左ボタンを押す。

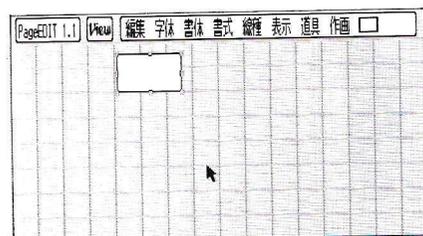
▼を「設定」または「中止」に移動し、左ボタンを押すと座標表示は消えます。



2

セル座標の位置または大きさを変更する操作(⇒下記)をしてから▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

変更しない場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。



## ●セルの位置を変えるには

▼を座標表示の「左上」の「X軸」または「Y軸」に移動します。左ボタンを押すとカーソルが表示されるので、**[DEL]** を押して表示中の数値を消してから変更する数値を入力してください。

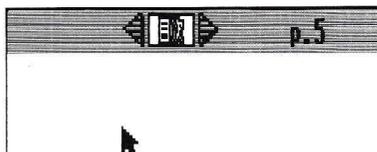
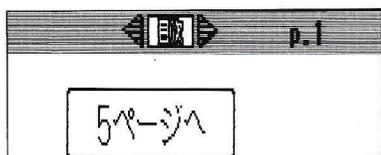
## ●セルの大きさを変えるには

▼を座標表示の「大きさ」の「X軸」または「Y軸」に移動します。左ボタンを押すとカーソルが表示されるので、**[DEL]** を押して表示中の数値を消してから変更する数値を入力してください。

## スクリプトコマンドを設定する (スクリプトコマンド) EDIT

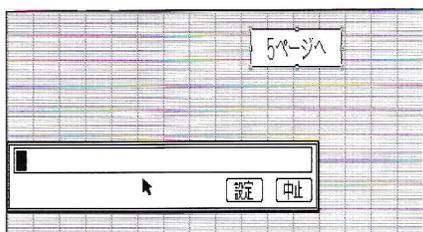
Page V I E Wで実行する命令(ピープ音を鳴らしたり、ページを飛び越えたりできます。)のことをスクリプトコマンドと呼びます。スクリプトコマンドはPage E D I Tで設定します。

操作をするときは、あらかじめスクリプトコマンドを設定するセルを選んでおきます。



1

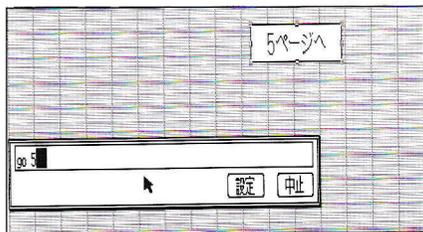
編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「スクリプト」に移動し、左ボタンを押す。



2

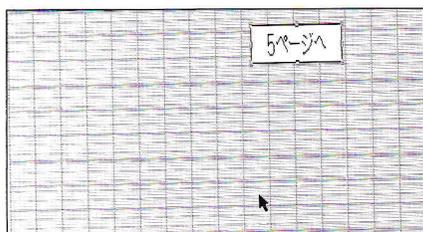
スクリプトコマンドを入力する。

(「スクリプトコマンド一覧表」⇒次ページ)



3

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。



### ご注意

- ファイル名、文字列以外は半角の英数字で入力してください。文字が反転表示しているときに、**[CTRL]**を押しながら**[O]**(オー)を押すと、文字が半角になります。半角にした文字は**[ENTER]**を押して確定してください。

### メモ

- 「文」「罫」で作成したセルとビットマップ(⇒145ページ)のセルには、スクリプトコマンドは設定できません。
- 1画面の中にスクリプトコマンドを48個まで設定できます。
- 半角スペースまたは**[TAB]**を押して、スクリプトコマンドを区切り、複数のスクリプトコマンドを1つのセルに設定することができます。

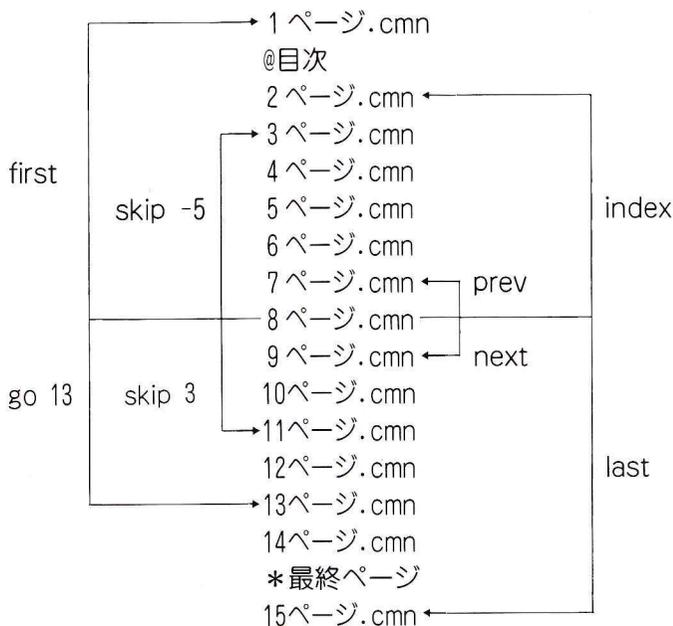
●スクリプトコマンド一覧表

ジャンプ命令などページはリンクリスト (⇒110ページ) で設定します。

	書式	機能	使用例
ジャンプ命令※	go <ページ>	指定のページに移動する。	go 10
	skip <相対値>	指定のページ数分移動する。	skip 3, skip -5
	next	次のページに移動する。	next
	prev	前のページに移動する。	prev
	first	1ページ目に移動する。	first
	last	最終ページに移動する。	last
	index	目次ページに移動する。 (目次ページはリンクリスト (⇒110ページ) で設定します。)	index

※ジャンプ命令とリンクリストの関係

リンクリスト (例)



**ご注意**

●重なったセルにそれぞれスクリプトコマンドを設定した場合、下の図形に設定したスクリプトコマンドが有効になります。

	書式	機能	使用例
制	@	同じ列に入力したコマンドを繰り返し実行する。 右ボタンまたは <b>[ESC]</b> を押すとコマンドの実行が解除されます。	@ beep 1 (ビープ音1を繰り返し鳴らす)
御	*main	ページが表示されると、同じ列に入力したコマンドを自動的に実行する。	*main mes Y a ! (ページが表示されると「Ya!」と表示する)
命 令	yesno <文字列>	あとに続く文字列と、「はい」「いいえ」の選択肢を表示する。(「はい」を選ぶと続くコマンドを実行し、「いいえ」を選ぶとコマンドを終了します。)	yesno 元気?
	end	PageVIEWを終了する。(終了確認のメッセージが表示されます。)	end
表 示 命 令	home	clear命令で消去したスクリプトコマンドを復活させる。	home
	mes <文字列>	▼の位置に文字列を表示する。 ▼を文字列に移動し、左ボタンを押す(または何かキーを押す)と、次のコマンドが実行されます。次のコマンドが設定されていない場合は、文字列の表示が消えます。	mes 大正解!
フ ア イ ル 関 係	load <ファイル名> (ファイル名には拡張子「.cmn」が必要です。)	PageEDITで作成したファイルを読み出す。(現在表示されている画面に重ねて表示されます。)	load 目次.cmn
	exe <ファイル名> (ファイル名には拡張子「.da」が必要です。)	設定メニューの項目を実行する。	exe システム設定.da
	jp <ファイル名> ※	指定した他のMSXViewのソフトを実行する。(実行すると、元のPageViewには戻りません。)	jp ted.)tx

	書式	機能	使用例
	show <ファイル名>	T E Dで保存したファイルを先頭から全角で20文字×6行まで表示する。	show 日記1.txt
	open <ファイル名>	P a g e V I E W用のファイル呼び出す。(実行すると元のP a g e V i e wのファイルには戻りません。)	open 絵本1.bok
その他	clear	表示中の画面のすべてのスクリプトコマンドを消去する。 (この命令をせずにl o a d命令を実行すると、現在の画面のスクリプトコマンドが残ったままになります。)	clear
	pal <色番号> <RGB>	指定した色番号のパレット(⇒154ページ)を変更する。	pal 15 717
	snap	表示中の画面を印刷する。	snap
	wait <数値>	指定した指定された時間(1=1/60秒)だけ動作を止める。(最大65535まで設定できます。)	wait 30
	beep <数値>	ビーブ音を鳴らす。 0 : ピッ 1 : ピンポン 2 : プー(低音)	beep 1
	brows	一定間隔で自動的にページを送る。(最終ページまで表示すると、1ページ目に戻ります。ページの自動送りを止めたいときは、右ボタンまたは[ESC]を押します。)	brows

※各ソフトのファイル名は次のとおりです。

View T E D : ted.)tx

View D R A W : draw.)cr

View P A I N T : paint.)bt

Page E D I T : pageedit.)cw

Page L I N K : pagelink.)pl

Page V i e w : pageview.)bd

# セルを並べ替える (セル表示順)

EDIT

指定した領域内のセルを X座標または Y座標の値の小さい順に並べ替えます。

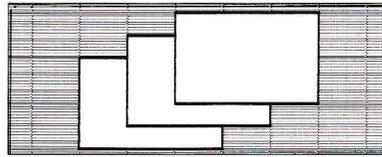
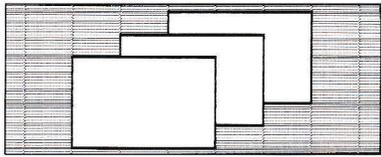


X座標の小さい順



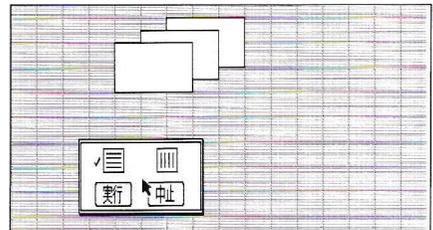
Y座標の小さい順

操作を行うまえに並べ替える領域が指定されていない場合は、すべてのセルが並べ替えられます。



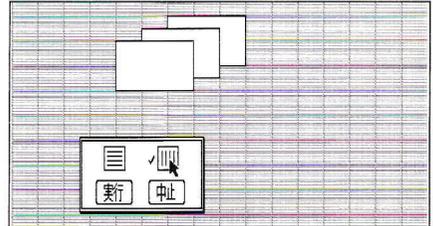
1

編集メニュー(⇒130ページ)⇒  
▼を「セル表示順」に移動し、左ボタンを押す。



2

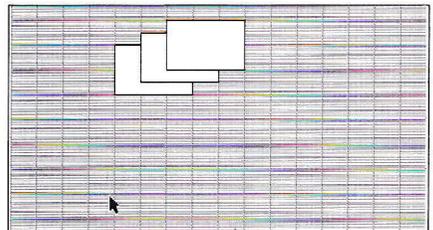
▼を指定する座標順のアイコンに移動し、左ボタンを押す。



3

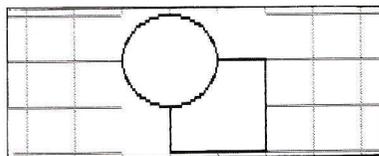
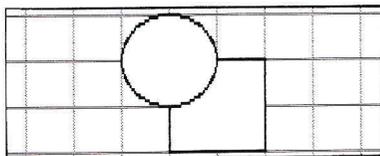
▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

並べ替えをやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押す。



# ビットマップを作る (ビットマップ) DRAW、EDIT

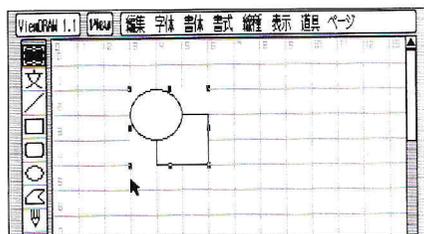
セルに描いた図形をビットマップ化 (点で描いた図形) します。メニューを表示させる前にあらかじめビットマップにするセルを選んでおきます。



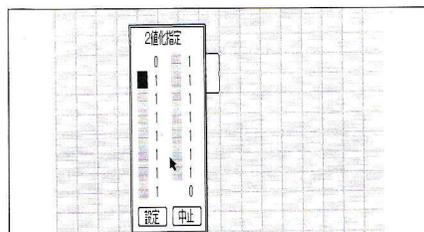
1

編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「ビットマップ」に移動し、  
左ボタンを押す。

View DRAWの場合、選んだセルが  
ビットマップ化されます。



View DRAW

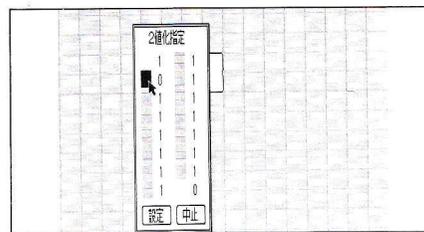


View EDIT

● Page EDITの場合

2

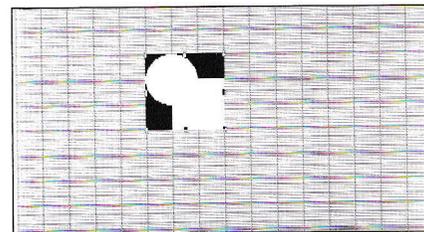
ビットマップ化したい図形の色を  
2値化指定 (⇒次ページ) で決め  
る。



3

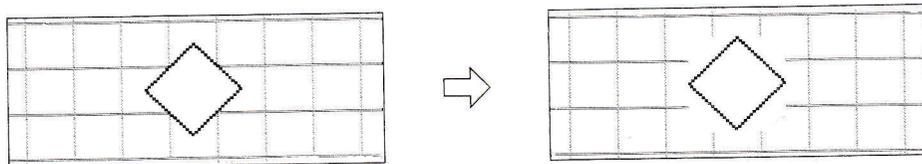
▼を「設定」に移動し、左ボタン  
を押す。

ビットマップをやめる場合は、▼を「中  
止」に移動し、左ボタンを押す。



● 2 値化指定について

ビットマップ化されたセルは、選んだセルの透明な部分（ラバーバンド内）も含めて 2 色（View DRAW の場合は白と黒）で表示されます。



Page EDIT の場合に表示される 2 色は、線種メニュー（⇒151 ページ）の「線」と「塗」で基本設定されている 2 色（初期設定は、線が「黒」、塗が「白」）です。色を変えたい場合は、あらかじめ線種メニューで設定を変えておいてください。

● 2 値化設定のしかた

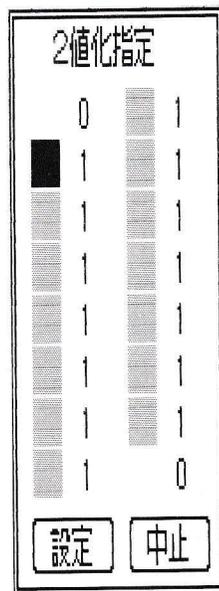
▼ を設定する色に移動し、左ボタンを押します。

- ・色の横に表示されている数字が「0」の場合は「1」、「1」の場合は「0」に変わります。

「0」と表示されている色：線種メニュー設定の「塗」の色に変わります。

「1」と表示されている色：線種メニュー設定の「線」の色に変わります。

選んだセル内（ラバーバンド）にない色の数字はどちらが表示されていてもかまいません。



メモ

- ラバーバンドでセルを選んで図形の形を変えても、ビットマップ化された図形は影響を受けず、変形されません。
- ビットマップ化された図形が 32×32 ドット以内の大きさの場合、作画メニューまたはアイコンメニューの「罫」の操作で、細かい部分の修正をすることができます。

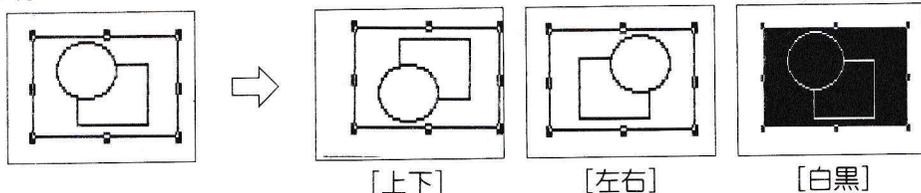
## 表示を反転する (反転)

PAINT

指定した範囲の図形を反転します。

反転には上下を逆にする「上下反転」、左右を逆にする「左右反転」、白い部分を黒く、黒い部分を白くする「白黒反転」の3種類があります。

操作を行う前にあらかじめ反転する図形の領域を選んでおきます。

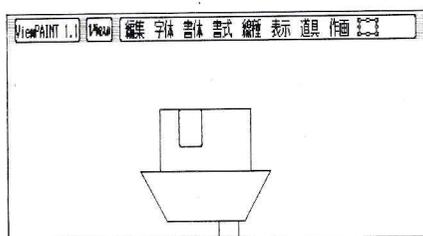


1

編集メニュー(⇒130ページ)→

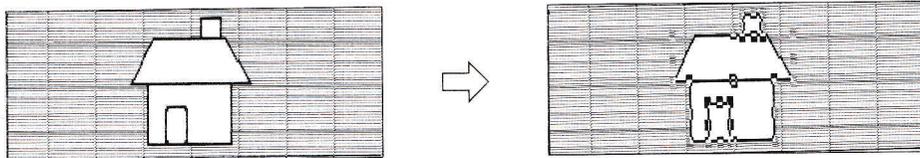
▼を3種類の反転のどれかに移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すと、ラバーバンド(⇒158ページ)が解除されます。



## すべてのセルを指定する (総選択) DRAW、PAINT、EDIT

画面に表示しているすべてのセル (View PAINTの場合は全画面) を指定します。

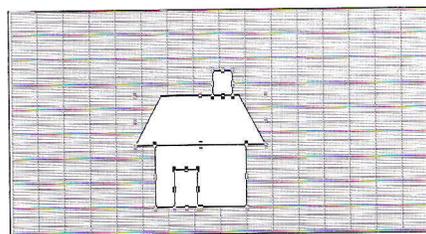


1

編集メニュー(⇒130ページ)→

▼を「総選択」に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すと、解除されます。



# 字体メニュー

文字のサイズや形を変えます。文字サイズはドットで表されています。(8=8ドット×8ドット文字)

## ●字体の種類

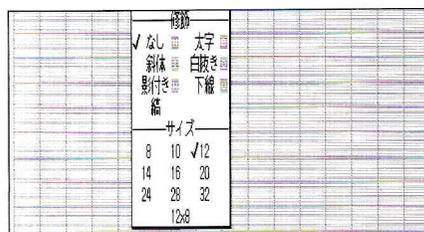
【太字】：      【斜体】：      【白抜き】：  
【影付き】：      【下線】：      【縞】：

## 字体を変える (修飾) (サイズ) DRAW、PAINT、EDIT

1

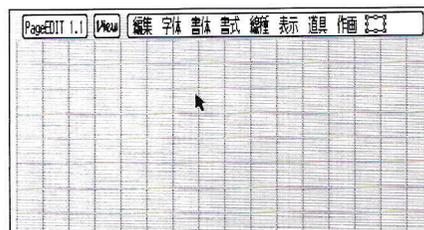
編集メニュー(⇒130ページ)→  
▼を「ビットマップ」に移動し、  
左ボタンを押す。

View DRAWの場合、選んだセルが  
ビットマップ化されます。



2

▼を変更する形、またはサイズに  
移動し、左ボタンを押す。



## ●すでに入力されている文字の字体を変更する

すでに入力されている文字のセルを指定し、**1**から**2**の操作をすると、入力されている文字の字体が変わります。

### ご注意

- 「修飾」の「斜体」、「白抜き」を選んだり、文字サイズを大きくしたためにセルからはみ出した文字は消えてしまいます。字体を元にもどすと消えた文字は再び表示されます。
- 1** **2**の操作を繰り返すと複数の修飾を設定することができます。

× モ

# 書体メニュー

文字の種類を選びます。

## ●文字の種類

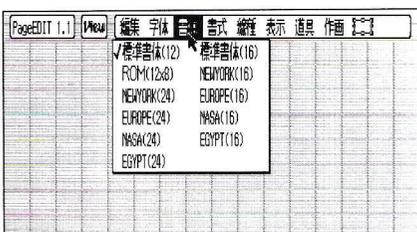
【標準書体】	: こんにちは	【ROM】	: こんにちは
【EGYPT】	: HELLO	【NEWYORK】	: HELLO
【EUROPE】	: HELLO	【NASA】	: HELLO

## 書体を選ぶ (書体)

## DRAW, PAINT, EDIT

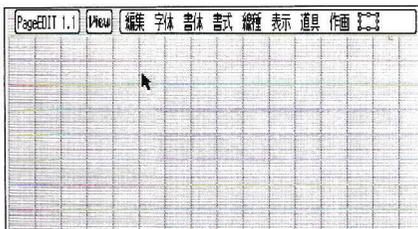
1

▼をコマンドバーの「書体」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を設定する書体に移動し、左ボタンを押す。



## ●すでに入力されている文字や、入力中の文字の書体を変更する場合

変更する文字のセルを指定し (⇒158ページ)、上の操作を行います。文字の入力中の場合はセルの範囲を指定する必要はありません。

### ご注意

- かな、漢字は「標準書体」「ROM」以外の書体を設定すると表示されません。
- 「EGYPT」はシステムディスク3をセットしていなければ表示されません。

### メモ

- 書体メニュー内の(12)は12×12ドット文字、(16)は16×16ドット文字、(24)は24×24ドット文字の意味です。

# 書式メニュー

入力する文字の書式を設定します。

## 【書 式】

左 寄 せ=文字列を行の左端に揃えます。→ 揃えます。  
右 寄 せ=文字列を行の右端に揃えます。→ 揃えます。  
センタリング=文字列を行の中心に揃えます。→ 揃えます。

【文 字 間】=文字と文字の間を何ドット空けるかを選びます。

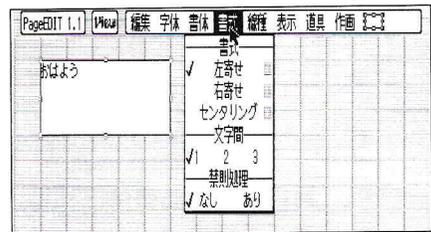
【禁則処理】=禁則処理（。や、を行の始めにもってこないなど）をするかしないかを設定します。

## 書式を設定する

## DRAW、PAINT、EDIT

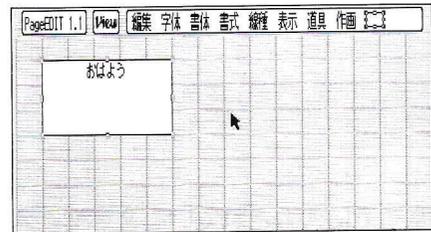
1

マウスをコマンドバーの「書式」に移動し、左ボタンを押す。



2

マウスを設定したい項目に移動し、左ボタンを押す。



### ●すでに入力されている文字の書式を変更する

書式を変更したい文字列のあるセルを指定し（⇨158ページ）、上の操作をすると書式が変更されます。（View P A I N Tではこの操作はできません）

# 線種メニュー

作画メニュー (⇒157ページ) で選んで描く図形の太さ、矢印の方向、塗りつぶしのパターンを指定するメニューです。またPage E D I Tでは、色を塗ることもできます。

## 線種メニューを表示させる DRAW、PAINT、EDIT

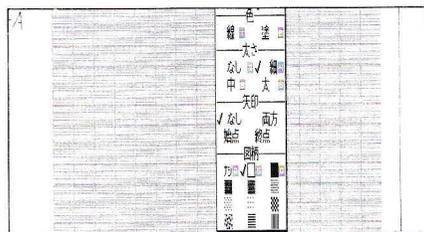
View D R A W、Page E D I Tで、すでに描かれている図形の線種などを変えたい場合は、メニューを表示させる前に変えたい図形を選んでおく必要があります。(⇒158ページ)

View P A I N Tの場合は、入力済の線種を変えることはできません。

1

▼をコマンドバーの「線種」に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すと編集メニューは消えます。 →



### ●線種メニューの内容

- 【 色 】 = 図形の内側や線に色を付けます。Page E D I Tの場合のみ指定できます。
- 【 太さ 】 = 図形の太さを指定します。「なし」を選ぶと図形の周囲の線は表示されません。
- 【 矢印 】 = 作画メニューの「直線」で描いた線の先端（始点、終点、両方）に矢印の頭（↑）を付けます。View P A I N Tでは指定できません。
- 【 図柄 】 = 図形の内側を塗りつぶすパターンを指定します。「なし」を選ぶと内側は透明になります。View P A I N Tの場合、塗りつぶしの指定を解除すると、透明のパターン（下の図形が透けて見える状態）にすることができます。塗りつぶしの解除は、「塗りつぶし」の前に「✓」マークが付いている状態のとき、▼を「塗りつぶし」に移動し、左ボタンを押します。

### ご注意

- 現在設定されている項目の前には「✓」マークが付いています。

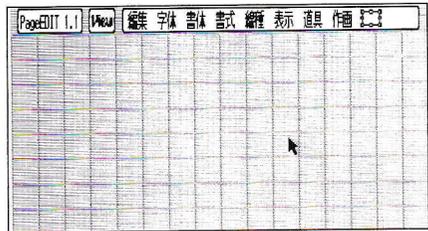
## 線種、模様を変える

## DRAW、PAINT、EDIT

1

線種メニュー(⇒151ページ)⇒  
マウスを指定する線種などに移動し、  
左ボタンを押す。

新しく描く図形は、指定された線種、  
模様になります。

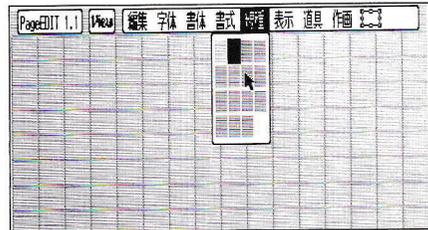


## 色を変える

## EDIT

1

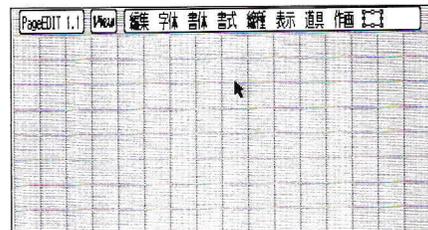
- 線種メニュー(⇒151ページ)⇒
- ・ 図形の線の色を変える場合は、マウスを「線」に移動し、左ボタンを押す。
  - ・ 図形の内側を変える場合は、マウスを「塗」に移動し、左ボタンを押す。



2

マウスを変えたい色に移動し、左ボタンを押す。

新しく描く図形は、指定された色になります。



### ご注意

- すでに描かれている図形を選んで線種などを変えた場合の指定は、新しく描く図形には影響しません。
- 色メニュー表示で、現在設定されている色には□が付いています。
- 画面をスクロールすると、図柄の表示がずれる場合がありますが、印刷、その他データには影響ありません。

× モ

# 表示メニュー

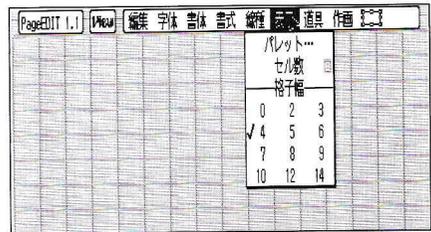
画面の表示に関する操作をするメニューです。

## 画面表示の方法等を選ぶ

## DRAW、PAINT、EDIT

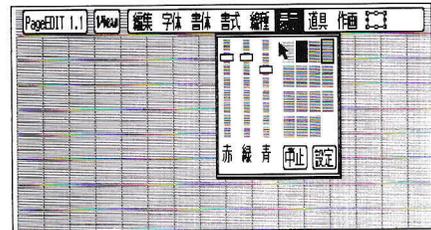
1

▼をコマンドバーの「表示」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を選びたい設定に移動し、左ボタンを押す。



### ●表示メニューの内容

レイアウト		
セル数		
格子幅		
0	2	3
✓4	5	6
7	8	9
10	12	14

[View DRAW]

拡大		
格子幅		
✓0	2	3
4	5	6
7	8	9
10	12	14

[View PAINT]

パレット...		
セル数		
格子幅		
0	2	3
✓4	5	6
7	8	9
10	12	14

[Page EDIT]

【レイアウト】＝画面に表示されていない部分を含むページ全体が、縮小して表示されます。ページ全体のイメージを確認するときに使います。View DRAWのみの機能です。

ビットマップ化した図形 (⇒145、167ページ) や View PAINT で登録して呼び出した図形は  で表示されます。

【セル数】＝現在表示されているページで使用しているセル数と、未使用のセル数が表示されます。1ページには256枚のセル (図形) が表示できます。View PAINT にはセルはありません。(⇒72ページ)

【拡大、原寸】＝画面の一部が拡大して表示されます。拡大表示された図形は、それぞれの作画メニュー（⇒157ページ）によって新たに図形を描いたり、修正したりできます。細部の修正などを行うときに使います。View P A I N Tのみの機能です。

・拡大のしかた

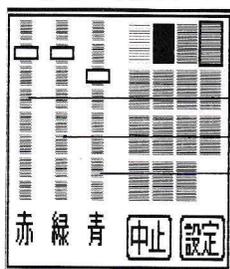
▼を拡大表示したい部分に移動し、左ボタンを押します。拡大表示を元にもどすときは「原寸」を選びます。

【パレット】＝パレットで使用する色を調整します。

・調整のしかた

①▼を調整したい色に移動し、左ボタンを押します。

②▼をそれぞれの色の割合の□に移動し、左ボタンを押しながら移動させ、調整したい割合の位置で左ボタンを離します。



— 選んだ色の赤の割合を調整します。

— 選んだ色の緑の割合を調整します。

— 選んだ色の青の割合を調整します。

③▼を「設定」に移動し、左ボタンを押します。

設定をやめるときは▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

・色番号

パレットの番号は次のようになっています。

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	10	11
12	13	14	15

【格子幅】＝画面に表示されているマス目の大きさを変えます。「0」から「14」（初期設定「4」）の12種類のマス目が選べます。また、図形の始点や終点を指定するとき、格子の数字が小さいほど、指定できる点の位置が細かくなります。大きい数字の格子は図形を一定間隔の点上にそろえたいときなどに使うと便利です。現在設定されている格子幅は「✓」マークが付いています。

View P A I N Tの原寸表示では、格子幅は表示されません。また、拡大表示での格子幅の大きさは変更できません。

# 道具メニュー

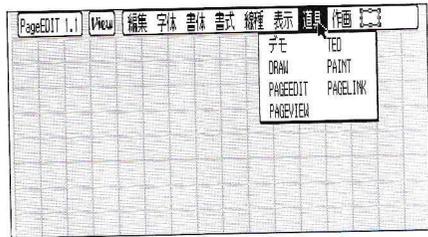
使用するMSXViewの道具「View DRAW」「View TED」「View PAINT」「Page BOOK (Page EDIT/Page LINK/Page VIEW)」を始めるメニューです。

## 道具を選ぶ

## DRAW、PAINT、EDIT

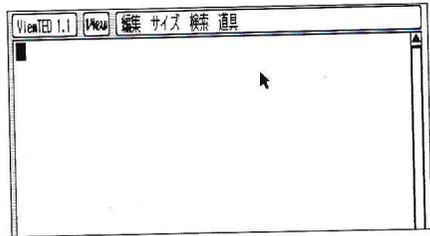
1

マウスをコマンドバーの「道具」に移動し、左ボタンを押す。



2

マウスを起動させるソフト名に移動して左ボタンを押す、マウスを「はい」に移動して左ボタンを押す。



### ●道具メニューの内容

- 【D R A W】 = 「View DRAW (⇨72ページ)」を始めます。
- 【T E D】 = 「View TED (⇨66ページ)」を始めます。
- 【P A I N T】 = 「View PAINT (⇨73ページ)」を始めます。
- 【PAGEEDIT】 = 「Page EDIT (⇨80ページ)」を始めます。
- 【PAGELINK】 = 「Page LINK (⇨80ページ)」を始めます。
- 【PAGEVIEW】 = 「Page VIEW (⇨80ページ)」を始めます。

### ご注意

- Page VIEW以外のソフトを始めるときは新規作成画面になります。
- 1**でシステムディスク3がディスクドライブにセットされていない場合は、「AUTODEMO」と「Page VIEW」だけが表示されます。また、MSXView用の市販ソフトを始める場合は、**1**の操作の前に使用するソフトのプロッピーディスクをディスクドライブにセットしておいてください。
- 他の道具(ソフト)を始める場合、それまで使用していた道具(ソフト)で作成した文書や図形などは消えてしまいます。必要な文書や図形は、保存または登録しておいてください。

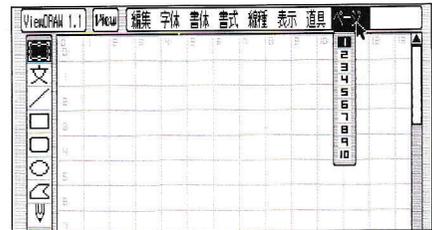
ViewDRAWは編集できる画面を10枚持っています。ページを移動して、数枚の画面を一度に編集ができます。

## ページを移動させる

DRAW

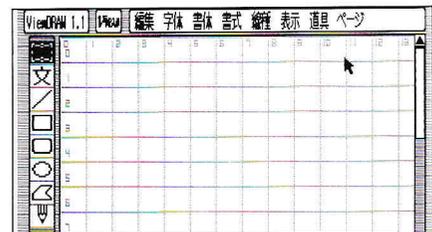
1

▼をコマンドバーの「ページ」に移動し、左ボタンを押す。



2

▼を移動したいページ番号に移動し、左ボタンを押す。



メモ

●表示ページを変更しても、それまで表示されていたページの図形には影響ありません。

# 作画メニュー

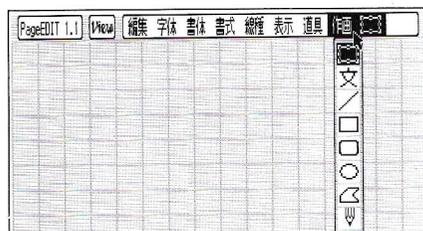
直線、円、四角形など描きたい図形を選んだり、編集したい図形や範囲を指定するメニューです。View D R A Wの場合は、画面右に作画アイコンが表示されますので、メニューを表示させる操作をする必要はありません。

## 作画メニューを表示させる

PAINT、EDIT

1

マウスをコマンドバーの「作画」に移動し、左ボタンを押す。



### ●作画メニューの内容

- 【  】 = View D R A W、Page E D I Tで編集や変更を行う図形（セル）を選びます。(⇒158ページ)
- 【  】 = View P A I N Tで編集や変更を行う範囲を指定します。(⇒160ページ)
- 【 文 】 = 図形内に文字を入力します。(⇒161ページ)
- 【 / 】 = 直線を描きます。(⇒162ページ)
- 【 □ 】 = 長方形を描きます。(⇒163ページ)
- 【 ◻ 】 = 角の丸い長方形を描きます。(⇒163ページ)
- 【 ○ 】 = 円や楕円を描きます。(⇒164ページ)
- 【 △ 】 = 多角形を描きます。(⇒165ページ)
- 【  】 = 自由な線を描きます。View P A I N Tのみの機能です。(⇒166ページ)
- 【  】 = 図形を部分的に消します。View P A I N Tのみの機能です。(⇒169ページ)
- 【  】 = View D R A W、Page E D I Tでは32×32ドット以内のビットマップ（点の集まりで表した図形）を作ります。(⇒167ページ)  
View P A I N Tでは点を描きます。また、ペン先が1×1ドットの自由な線も描けます。(⇒166ページ)

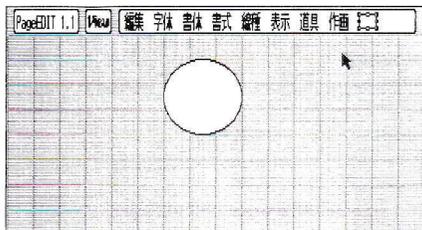
## 図形（セル）を選ぶ（☒）

## DRAW、EDIT

View DRAWやPage EDITで編集や変更などを行う図形を選びます。選ばれた図形はラバーバンドと呼ばれる小さな☒で囲まれた長方形が表示されます。また、選ばれた図形（セル）を移動させたり変形させることができます。

1

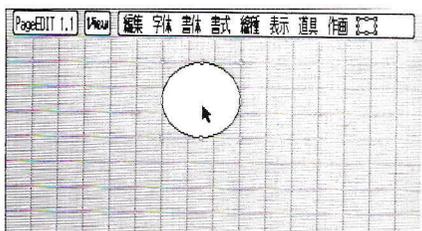
作画メニュー(⇒157ページ)の  
☒を「☒」に移動し、左ボタンを  
押す。



2

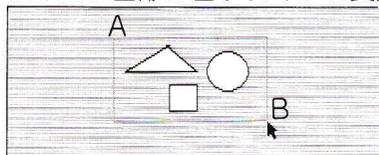
☒を選びたい図形に移動し、左ボ  
タンを押す。

右ボタンを押すとラバーバンドは消え  
ます。

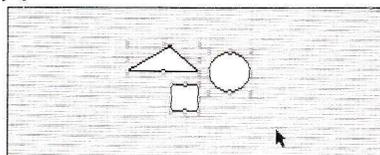


### ●複数の図形を選ぶ場合

選びたい図形が含まれている長方形で囲みます。



☒をAに移動して左ボタンを押し、  
次にBに移動して左ボタンを押す。



長方形で囲まれた内側の図形すべて  
にラバーバンドが付きます。

また **[SHIFT]** を押しながら **[2]** の操作を繰り返して選ぶこともできます。

### メモ

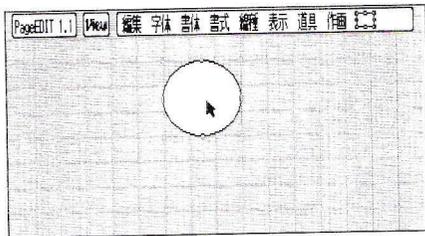
- 他の作画メニューを使っている場合、どの図形にもラバーバンドが付いていない状態のときに右ボタンを押すと、作画メニューは自動的に「☒」になります。
- 画面上の図形すべてを選びたいときは、編集メニューの総選択(⇒147ページ)を使います。
- 「直線」(⇒162ページ)のラバーバンドは、始点と終点に表示されます。

ラバーバンドが表示されている図形は、移動や変形を行うことができます。

### ● 図形を移動する

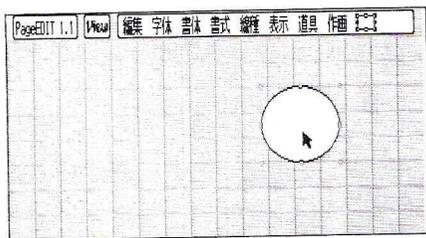
1

マウスカーソルをラバーバンドの内側に移動し、左ボタンを押す。



2

マウスカーソルを移動させたい位置に移動し、左ボタンを押す。

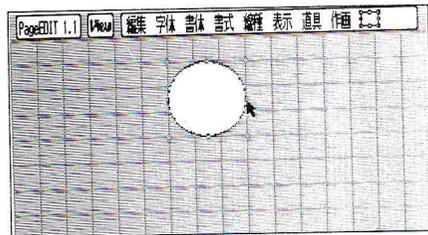


### ● 図形の形を変える

1

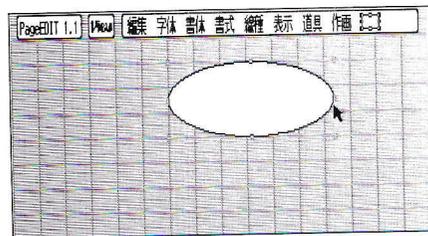
マウスカーソルを変形させたい方向の□に移動し、左ボタンを押す。

マウスカーソルを移動させると図形が変形します。

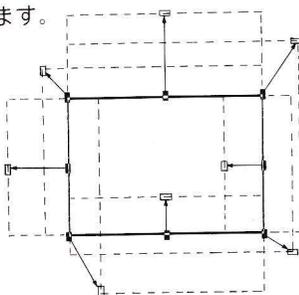


2

図形が変形させたい形になったら、左ボタンを押す。



図形は次のように変形されます。文字枠の大きさも変えることができます。



※ 「文」「□」「○」「△」で図形（文字枠）を作成するとき、直線の形に作成すると直線以外の形に変形することはできません。

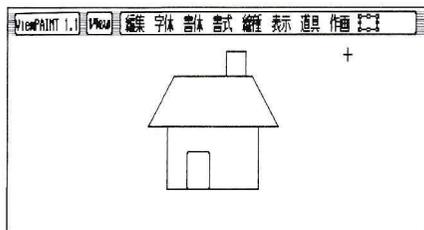
## 図形の範囲を指定する (☒)

PAINT

View P A I N Tで編集や変更を行う範囲を指定します。指定したい部分を、View D R A WやPage E D I Tの複数の図形を選ぶ場合 (⇒158ページ) のように、2点を決めて長方形で囲みます。指定された範囲にはラバーバンドが表示されます。

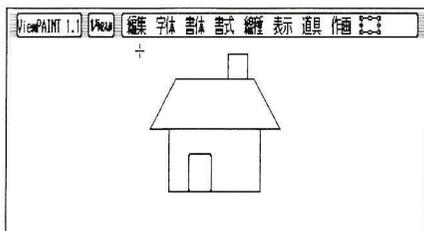
1

作画メニュー(⇒157ページ)→  
▼を「☒」に移動し、左ボタンを押す。



2

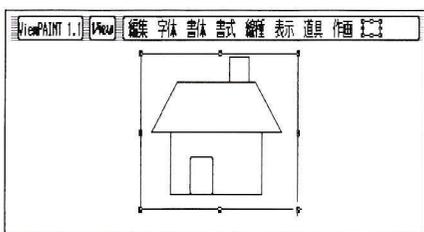
▼を指定したい範囲の一角に移動し、左ボタンを押す。



3

▼を指定したい範囲を囲む対角線上の点に移動し、左ボタンを押す。

右ボタンを押すとラバーバンドは消えます。



ラバーバンドで囲まれた図形は、複写や変形を行うことができます。

### ● 図形を複写する

「図形を移動する (⇒159ページ)」と同じ操作をすると複写されます。

### ● 図形を変える

「図形の形を変える (⇒159ページ)」と同じ操作です。

メモ

- 他の作画メニューを使っている場合、ラバーバンドが付いていない状態のときに右ボタンを押すと、作画メニューは自動的に「☒」になります。

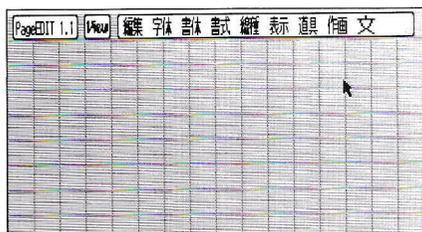
# 文字を入力する (文)

# DRAW、PAINT、EDIT

文字を入力する領域を指定し、キーボードから文字を入力します。

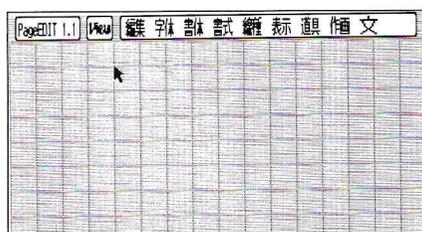
1

作図メニュー(⇒157ページ)→  
▼を「文」に移動し、左ボタンを押す。



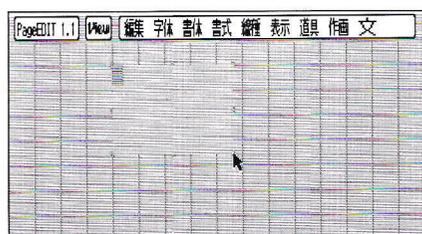
2

▼を入力したい領域の一角に移動し、左ボタンを押す。



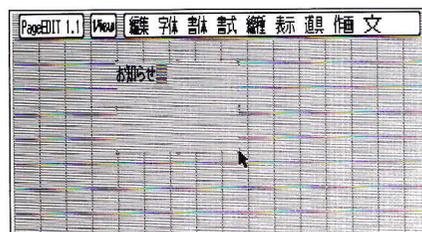
3

▼を入力したい領域を囲む対角線上の点に移動し、左ボタンを押す。



4

文字を入力する。  
文字入力のみかた⇒21ページ



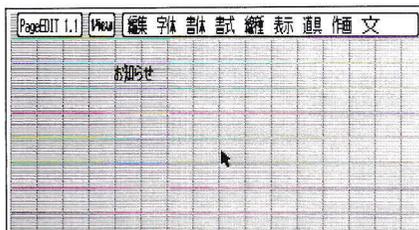
## ご注意

メモ

- 文字領域が小さすぎると文字は表示されません。
- ラバーバンドで囲まれている文字領域は、ラバーバンドで囲まれている図形のように変形させることができます。

5

文字入力が終わったら、右ボタンを押す。

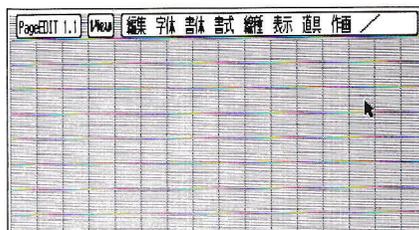


## 直線を書く ( / )

## DRAW, PAINT, EDIT

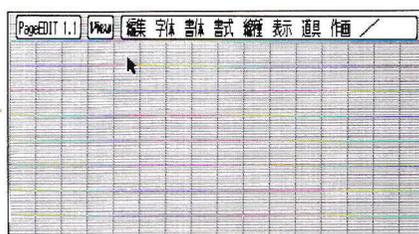
1

作図メニュー(⇒157ページ)⇒  
▼を「/」に移動し、左ボタンを押す。



2

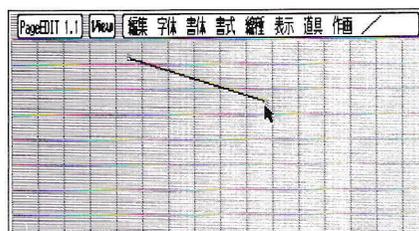
▼を線の始点に移動し、左ボタンを押す。



3

▼を線の終点に移動し、左ボタンを押す。

View D R A W、Page E D I T の場合は、右ボタンを押してラバーバンドを消します。



### ご注意

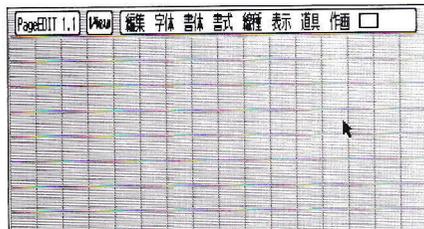
- 線種メニューで「矢印」を付ける設定をしているときは、矢印よりも長い直線を作図してください。

# 長方形を描く (□、□) DRAW、PAINT、EDIT

長方形 (□) または角の丸い長方形 (□) を描きます。

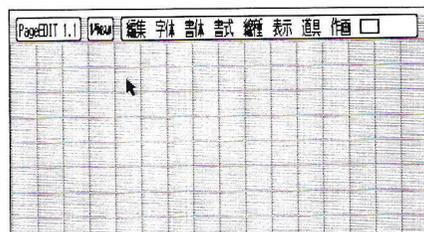
1

作図メニュー(⇒157ページ)→  
▼を「□」または「□」に移動し、左ボタンを押す。



2

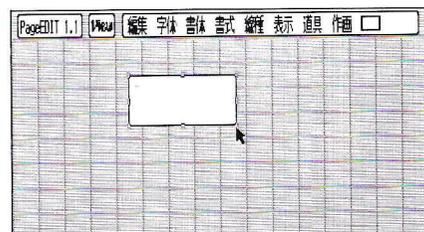
▼を描きたい長方形の頂点のひとつに移動し、左ボタンを押す。



3

▼を対角線上の頂点に移動し、左ボタンを押す。

View D R A W、Page E D I T の場合は、右ボタンを押してラバーバンドを消します。



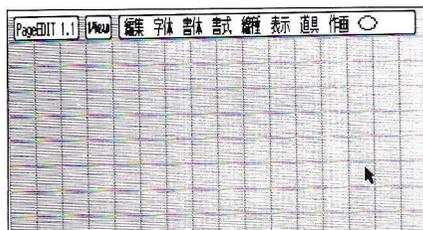
# 円や楕円を描く (○)

# DRAW、PAINT、EDIT

円や楕円は外接する長方形を指定して描きます。指定のしかたは長方形の描きかたと同じです。

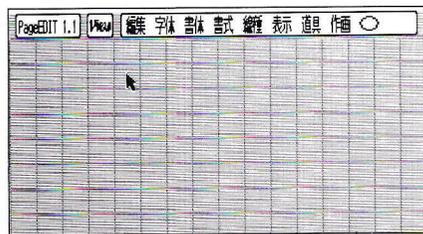
1

作図メニュー(⇒157ページ)⇒  
▼を「○」に移動し、左ボタンを押す。



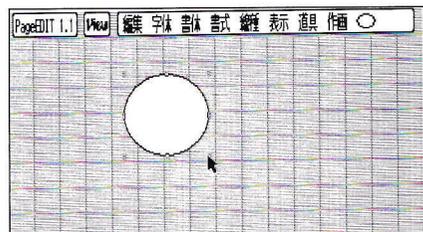
2

▼を外接する長方形の頂点のひとつに移動し、左ボタンを押す。



3

▼を対角線上の頂点に移動し、左ボタンを押す。



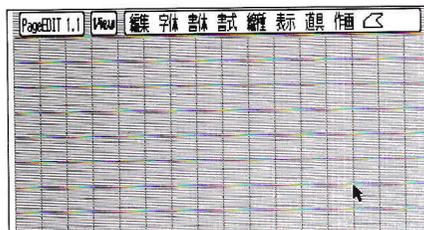
View D R A W、Page E D I T の場合は、右ボタンを押してラバーバンドを消します。

# 多角形を描く (△)

# DRAW、PAINT、EDIT

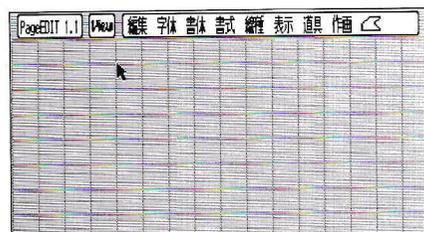
1

作図メニュー(⇒157ページ)⇒  
▼を「△」に移動し、左ボタンを  
押す。



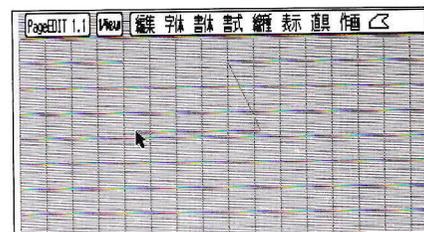
2

▼を多角形の頂点のひとつに移動  
し、左ボタンを押す。



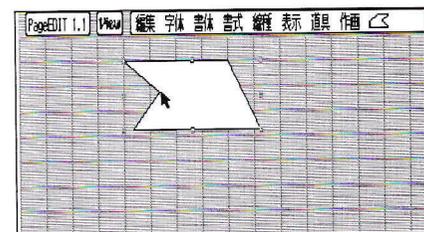
3

2の操作を頂点の数だけ繰り返  
す。



4

▼を最後の頂点に移動し、左ボタ  
ンを2回押す。



## ご注意

- 指定できる頂点の数は16点以内です。

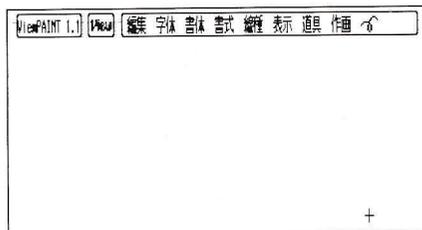
# 自由な線を描く ( )

# PAINT

View PAINTでは「」や「」を使って点や自由な線を描くことができます。

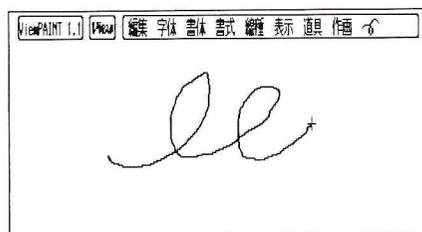
1

作図メニュー(⇒157ページ)→  
▼を「」または「」に移動し、  
左ボタンを押す。



2

- 自由な線を描く場合は、左ボタンを押しながら▼を移動する。
- 点を打つ場合は、▼を点を打ちたい位置に移動し、左ボタンを押す。



## メモ

- 「」を使った場合は、常に1ドット単位の点や線が描かれます。「」を使った場合は、線種の太さの違いによって描かれる点や線の太さが異なります。
- 拡大モード(⇒154ページ)のとき「」は、ドットを反転させるはたらきをします。

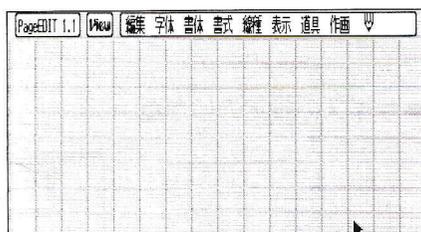
# 点で図形を描く (罨)

# DRAW、EDIT

View DRAW、Page EDITでは「罨」を使って32×32ドット以内のビットマップ（点の集まりで表した図形）を描くことができます。

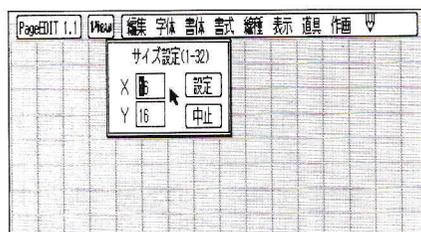
1

作図メニュー(⇒157ページ)→  
罨を「罨」に移動し、左ボタンを押す。



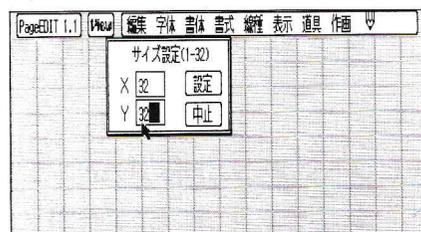
2

罨を作成したい位置に移動し、左ボタンを押す。



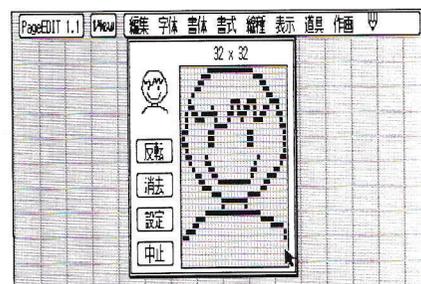
3

作成するサイズを入力する。  
(⇒次ページ)



4

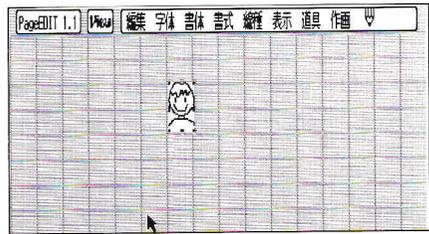
ビットマップを作成する。  
(⇒次ページ)



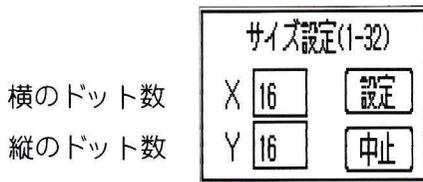
# 5

▼を「設定」に移動し、左ボタンを押す。

作成した図形をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

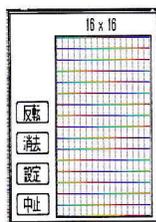


## ●サイズの設定のしかた



- ① Xの数値（横のドット数）「16」を消して、設定したい数値（32以下）を入力します。
- ② ▼を Yの数値（縦のドット数）に移動し、左ボタンを押します。
- ③ Yの数値「16」を消して設定したい数値（32以下）を入力します。
- ④ ▼を「設定」に移動し、左ボタンを押します。  
設定をやめる場合は、▼を「中止」に移動し、左ボタンを押します。

## ●ビットマップの作成のしかた



- ▼を作成部内のマス目に移動し、左ボタンを押すと、▼の下のマス目が白黒反転します。(□ ↔ ■)
- ・左ボタンを押したまま▼を移動させると連続して白黒反転させることができます。(□□□□ ↔ ■■■■)
- ▼を「反転」に移動し、左ボタンを押すと。作成部のマス目を、すべて白黒反転します。
- ▼を「消去」に移動し、左ボタンを押すと、作成部の■をすべて□にします。

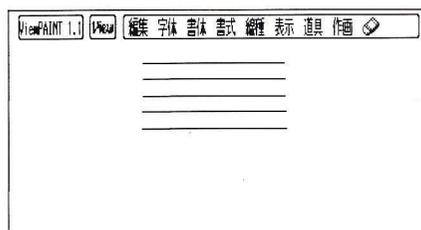
## 線を消す (🗑️)

## PAINT

View P A I N Tで描いた図形は、「🗑️」を使って部分的に消すことができます。

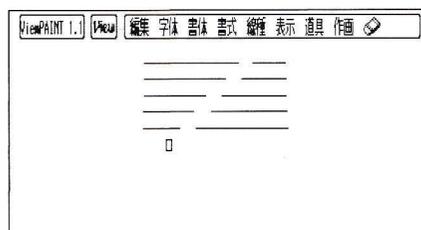
1

作図メニュー(⇒157ページ)⇒  
▼を「🗑️」に移動し、左ボタンを  
押す。



2

左ボタンを押しながら「🗑️」を消し  
たい部分の上で移動する。



# Coffee Break

付属のシステムディスク3には、MS XViewなどを簡単に紹介したファイルが保存されています。このファイルは、Page BOOKを使って見ることができます。

## ●操作のしかた

**1** システムディスク3をセットし、「ドライブ変更」(⇒27ページ)の操作をして使用するディスクドライブをAに変更する。

システムディスク3の内容がファイル表示部に表示されます。

**2** を「GTブック」に移動し、左ボタンをすばやく2度押す。(ダブルクリック)  
Page VIEWが始まります。あとは画面にしたがって操作をしてください。  
(「Page VIEWの機能について」⇒88ページ)

### ※途中で操作をやめたいときは

途中で操作をやめたいときは、**[ESC]**を押します。終了のメッセージが表示されたら $\blacktriangleright$ を「はい」に移動し、左ボタンを押す(または、**[GRAPH]**を押しながら**[Y]**を押す)とVSH ELL画面に戻ります。

# 付録

ショートカットキー一覧、エラーメッセージ一覧、仕様、索引を記載しています。必要なときにお読みください。

- ショートカットキー一覧…………… 172
- エラーメッセージ一覧…………… 174
- 仕様…………… 180
- 索引…………… 181

# ショートカットキー一覧

ショートカットキーを一覧します。

メニュー内の各機能を、メニューを表示させずに選ぶことができます。

※操作のしかた：例) タイトルメニュー 終了 → (GRAPH) を押しながら (Q) を押す。

## ●タイトルメニュー

	機 能	(GRAPH) +
共 通	呼出	(L)
	印刷	(P)
	終了	(Q)
VSHELL	ドライブ変更	(D)
	ファイル情報	(I)
TED、DRAW、 PAINT、EDIT、 LINK	更新	(S)
	登録	(R)
	組込	(G)

## ●編集メニュー

	機 能	(GRAPH) +
VSHELL	名前変更	(R)
	削除	(X)
	複写	(C)
	移動	(M)
	全選択	(A)
	全解除	(K)
TED、LINK	消去	(K)
	切取	(X)
	写取	(C)
	貼付	(V)
	全角	(A)
	半角	(H)
DRAW、EDIT	復元	(Z)
	消去	(K)
	貼付	(V)
	切取	(X)
	写取	(C)
	複写	(D)
	前出	(<)
	後送	(>)
	文字粹詰	(F)
	ビットマップ	(H)
	総選択	(A)

	機 能	(GRAPH) +
DRAW	合体	(+)
	分離	(-)
EDIT	画面切換	(Y)
	座標表示	(J)
	スクリプト	(T)
	セル表示順	(M)
PAINT	復元	(Z)
	貼付	(V)
	写取	(C)
	消去	(K)
	総選択	(A)

## ●サイズメニュー

	機 能	(GRAPH) +
TED、LINK	12×8	(1)
	12×12	(2)
	16×16	(3)

## ●検索メニュー

	機 能	(GRAPH) +
TED、LINK	文頭検索	(>)
	文末検索	(<)
	置換(確認あり)	(M)
	置換(確認あり)	(N)

## ●字体メニュー

	機 能	(GRAPH) +
DRAW、PAINT EDIT	なし	(N)
	太字	(B)
	斜体	(I)
	白抜き	(O)
	影付き	(W)
	下線	(U)

●書式メニュー

	機 能	GRAPH +
DRAW、PAINT EDIT	左寄せ	[L]
	右寄せ	[J]
	センタリング	[Y]

●線種メニュー

	機 能	GRAPH +
DRAW、PAINT EDIT	太さ なし	[3]
	太さ 細	[4]
	太さ 中	[5]
	太さ 太	[6]
	図柄 なし	[8]
	図柄 白	[9]
	図柄 黒	[0]
EDIT	色線	[1]
	色塗	[2]

●表示メニュー

	機 能	GRAPH +
DRAW、EDIT	セル数	[E]
PAINT	拡大	[<]
	原寸	[>]

●確認表示

	機 能	GRAPH +
共通	はい	[Y]
	いいえ	[N]

●Page V I E W

機 能	
先頭ページへ ジャンプ	[↑]
最終ページへ ジャンプ	[↓]
デスクアクセ サリメニュー の呼び出し	[STOP]
確認表示 (はい)	[GRAPH] + [Y]
確認表示 (いいえ)	[GRAPH] + [N]
終了	[GRAPH] + [Q] または [ESC]

※ショートカットキーで、テンキーは使えません。

# エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因	処置
@指定が2個以上あります	リンクリストに目次を表す@命令を2個以上設定した。	@命令を1つにして操作をやり直す。
. や.. に対しては操作できません	ファイル名に使えない文字(. や..) を使って保存しようとした。	操作をやり直して正しい文字を入力する。
印刷する道具が見つかりません	MSXView以外のソフトのファイルを印刷しようとした。	MSXViewでは、MSXView以外のソフトで作ったファイルは印刷できません。
	システムディスク3をセットせずに印刷しようとした。	もう一度操作をやり直す場合は、操作中に「ドライブA：用のディスクに変更してください」と表示されたとき、システムディスク3をセットする。
同じディレクトリには移動できません	ディレクトリやファイルを同じディレクトリ内に移動しようとした。	ディレクトリやファイルを同じディレクトリ内に移動することはできません。
拡張子の設定はできません	拡張子を付けてファイル名を変更しようとした。	拡張子を付けずにファイル名を入力し直す。
この行に誤りがあります	間違った文のリンクリストを製本しようとした。	カーソルのある行を確認しリンクリストを訂正する。
このセルは変換できません	ビットマップ化されているひとつのセルを選んでビットマップ化しようとした。	ビットマップ化されているセルをひとつだけ選んでビットマップ化することはできません。
このファイル用のディスクではありません	メッセージで指定された以外のフロッピーディスクをセットして操作をした。	指定のフロッピーディスクに交換して、操作し直す。
これ以上ディレクトリを作れません	BLANK_AからBLANK_Zまでのディレクトリが既に作られているとき新しくディレクトリを作ろうとした。	BLANK_AからBLANK_Zまでのいずれかのディレクトリの名前を変更してから操作をやり直す。

メッセージ	原因	処置
これ以上複写できません	__Aから__Zまでのディレクトリまたはファイルが既に作られているとき、さらに複写しようとした。	__Aから__Zのいずれかのディレクトリ（またはファイル）の名前を変更してから操作をやり直す。
サイズ設定がまちがっています	ViewDRAW、PageEDITで「  」の作成のときXまたはYのドット数を32以上に設定しようとした。	XまたはYのドット数を32以下に設定する。
指定のファイルはPageView用のファイルではありません	PageVIEW以外のファイルをPageVIEWで呼び出そうとした。	PageVIEW用のファイルを指定して、操作をやり直す。
指定ページがありません	ViewDRAWで追加呼出をするとき、図形を作成していないページを選んだ。	操作をやり直して、図形を作成しているページを選ぶ。または呼出の操作で呼び出す。
使用する道具が見つかりません	MSXView以外のソフトのファイルを呼び出そうとした。 システムディスク3をセットせずにMSXViewのソフトで作ったファイルを呼び出そうとした。	MSXViewでは、MSXView以外のソフトで作ったファイルは呼び出せません。 もう一度操作をやり直す場合は、操作中に「ドライブA：用のディスクに変更してください」と表示されたとき、システムディスク3をセットする。
スクリプトが正しくありません	PageVIEWで指定したセルのスクリプトコマンドが間違っていた。	ViewEDITでスクリプトコマンドを訂正する。
スクリプトで指定したファイルが見つかりませんでした	リンクリスト中のファイル内に、存在しないファイルを指定したスクリプトコマンドがある。	ファイル中のスクリプトコマンドを書き換える。
スクリプトの引数が足りません	スクリプトコマンドに必要な数字やファイル名が入力されていない。	スクリプトコマンドを訂正する。

メッセージ	原因	処置
セルバッファがいっぱい です	1ページに256以上のセルを作ろうとした。	1ページに256以上のセルを作ることはできません。
チャプタが多すぎます	タイトルを65個以上設定した。	タイトルの数を減らして、64個以下にする。
チャプタ名の合計が長すぎます	タイトルや目次、コメント行の文字の合計が長すぎる。	タイトルや目次、コメント行の文字を減らす。
ディスクが異常です	初期化されていない、または壊れているフロッピーディスクを使おうとした。	初期化済みの壊れていないフロッピーディスクを使って操作をやり直す。
ディスクがいっぱいです	ディスクの空き容量が少ないときに保存や登録の操作をしようとした。	空き容量の多いフロッピーディスクに交換して操作をやり直す。
ディスクが書き込み保護されています	フロッピーディスクが書き込み保護の状態、ディスク初期化や保存などの操作をした。	書き込み保護を解除してもう一度操作をやり直す。
	フロッピーディスクが書き込み保護の状態、ボリューム名を変更しようとした。	ボリューム名を変更するときは、書き込み保護を解除して $\blacktriangleleft$ を「再実行」に移動し、左ボタンを押す。(または、 $\square$ を押す。) 変更しないときは、 $\blacktriangleleft$ を「中止」に移動し、左ボタンを押す。(または $\text{ESC}$ を押す。)
	ROMディスクに初期化などの操作をしようとした。	ROMディスクの内容を変更したり書き込んだりすることはできません。
ディスクが入っていません	ドライブ変更の操作をしているとき、指定したドライブにフロッピーディスクをセットしていなかった。	操作を続けるときは、フロッピーディスクをセットして、 $\blacktriangleleft$ を「再実行」に移動し、左ボタンを押す。(または、 $\square$ を押す。 操作を中止するときは、 $\blacktriangleleft$ を「中止」に移動し、左ボタンを押す。(または、 $\text{ESC}$ を押す。)
ディレクトリ階層が深すぎます	深い階層を持つディレクトリで、ファイルやディレクトリ内の複写や移動、削除をしようとした。	ディレクトリの階層が深いと、ファイルやディレクトリの複写や移動、削除は、できません。
ディレクトリが移動できません	ディレクトリをそれ自身の中に移動しようとした。	ディレクトリをそれ自身の中に移動することはできません。

メッセージ	原因	処置
ディレクトリが既にあります	複写先のディレクトリ内に複写するディレクトリと同じ名前のディレクトリがあった。	同じファイル名を持つディレクトリがあるときは、複写できません。
ディレクトリが見つかりません	ファイル表示部に表示されているフロッピーディスクをセットせずにディレクトリの移動をした。	ファイル表示部に表示されているフロッピーディスクをセットしてから操作をやり直す。
ディレクトリを自分自身の下に複写しようとしています	複写するディレクトリ内に複写先を選んだ。	複写するディレクトリ内に複写することはできません。
データが正しくありません	ViewPAINT以外で作成したファイルを呼び出そうとした。	ViewPAINTの画面では、ViewPAINTで保存したファイルしか呼び出せません。
データ領域不足	作画または編集時に、図形のデータ量がパソコン内部のデータ領域を超えた。	作画、編集を中止するか、いらぬ図形を消去してから操作をやり直す。
パス名が長すぎます	ディレクトリの移動などをしたとき、パス名が47文字を超えてしまうとき。	パス名が47文字を超えるような表示はできません。
表記が見つかりません	登録していない単語を削除しようとした。	登録の操作をしていない単語は削除できません。
「表記」に誤りがあります	「表記」に使えない文字（半角文字など）を使って登録、または削除しようとした。	操作をやり直して正しい文字を入力する。
ファイルが使用中です	RAMディスク内のファイル、VIEWWM.TMPなどを削除しようとした。	RAMディスク内のファイルは削除しないでください。
ファイルが既にあります。重ね書きしますか？	複写先のディレクトリ内に複写するファイルと同じ名前のファイルがあった。	重ね書きしても良い場合は、 <b>▼</b> を「はい」に移動し、左ボタンを押す。（または、 <b>□</b> を押す。） 操作を中止するときは、 <b>▼</b> を「いいえ」に移動し、左ボタンを押す。（または、 <b>ESC</b> を押す。）
ファイルが見つかりません	存在しないファイル名を入力してファイルを呼び出そうとした。	正しいファイル名を入力して操作をやり直す。

メッセージ	原因	処置
ファイルの数が多すぎます	ひとつのディレクトリ内に112以上のファイルおよびディレクトリを設定しようとした。	ひとつのディレクトリ内に112以上のファイルおよびディレクトリは設定できません。 複写や移動中に112以上になった場合は、自動的に中断します。
ファイル名が重複しています	移動先のディレクトリ内に移動するファイル（またはディレクトリ）と同じ名前のファイル（またはディレクトリ）があった。	同じ名前を持つファイル（またはディレクトリ）があるときは、移動できません。
V S H E L L が異常です	V S H E L L がうまく働きません。電源を入れなおしてください。	
不正なファイル名です	「名前」に使えない文字（半角文字など）を使って名前変更しようとした。	操作をやり直して正しい文字を入力する。
プリンタが接続されていません	プリンタを接続せずに印刷しようとした。	プリンタを接続して操作をやり直す。
プログラムが異常です	単語削除のプログラムがうまく働きません。電源を入れなおしてください。	
ページファイル入力中にエラーが発生。	リンクリストに入力したファイルがフロッピーディスクに存在しなかった。	リンクリストを書き換える。または、入力したファイルが保存されているフロッピーディスクに交換する。
PageBookファイル処理中にエラーが発生。 PageBookファイルのオープン中にエラーが発生しました。	製本中にフロッピーディスクを抜くなどして製本ができなくなった。	製本中はフロッピーディスクを抜き取らないでください。 また、画面にフロッピーディスクを交換するメッセージが表示されているとき以外は、フロッピーディスクを交換しないでください。
編集ができません	ビットマップされているセルの位置に $\downarrow$ でビットマップのセルを作ろうとした。	この位置にはビットマップは作れません。
ボタンが多すぎます	PageVIEWで、1画面に49個以上のスクリプトコマンドが設定されている画面が表示された。	1画面に49個以上のスクリプトコマンドが設定されているときは、スクリプトコマンドを実行することはできません。
無効なドライブ名です	R A Mディスクを消去してViewを始めようとした。	R A Mディスクを消去するとViewを始められません。

メッセージ	原因	処置
無効なパス名です	ファイル名に使えない文字（, など）を使って保存しようとした。	操作をやり直して正しい文字を入力する。
メモリがいっぱいです	ViewTEDで内部メモリ以上の文書を作成した。	長い文書は、保存していくつかのファイルに分けて作成してください。
メンバファイルが多すぎます	リンクリスト中にファイルを256個以上設定した。	リンクリスト中のファイルを255個以下にする。
メンバファイルが見つかりません	リンクリストに、フロッピーディスクにないファイル名を入力して製本しようとした。	正しいファイル名を入力するか、そのファイル名のあるフロッピーディスクをセットして操作をやり直す。
文字列が見つかりません	検索（置換）文字が文字列にない。 またはそれ以上検索（置換）文字を見つけられない。	右ボタンを押す。（または、ESCを押す。）
「読み」に誤りがあります	「読み」に使えない文字（半角文字など）を使って登録、または削除しようとした。	操作をやり直して正しい文字を入力する。
ユーザー辞書が足りません	登録した単語がユーザー辞書いっぱいになった。	登録したいときは、不要な単語を削除してから登録する。
ルートディレクトリがいっぱいです	フロッピーディスクにルートディレクトリを112個設定した。	ルートディレクトリは112個以上設定することはできません。
Cannot get enough memory mapper segments.	メモリーマッパーが不足している。	電源を入れ直してください。
Cannot get enough WorkArea.	ワークエリアが不足している。	電源を入れ直してください。

# 仕様

## ●入力機能

入力方法	かな/ローマ字入力、記号入力
入力モード	挿入モード
変換方式	32文字までの連文節変換：MSXJE（MSX標準日本語処理ソフト準拠）、カタカナ変換、学習機能
辞書	基本語58,000語（カタカナ辞書を含む）、複合語150,000語以上、ユーザ辞書約140語（読み5字、表記6字の場合）
使用文字数	JIS第1水準（2,965字）、JIS第2水準（3,388字）、記号（525字）、外字（64字まで登録可能）

## ●各種機能

共通の機能	印刷形式（A4、B5、A5、B6、はがき、連続紙、カット紙）、プリンタ（FS-PC1、PA1、PK1、PW1、プリンタ1）、画面調整
V S H E L L	編集（新規ディレクトリ、名前変更、削除、複写、移動、全選択、全解除）、ドライブ変更、呼出、ファイル情報、ディスク情報、システム情報、ディスク初期化、印刷形式、印刷、ボリューム名変更、アイコンエディット、DOS
View T E D Page L I N K	編集（消去、切取、写取、貼付、全角、半角）、検索、置換、文字表示サイズ、製本（Page L I N Kのみ） 保存、呼出、更新、登録、組込、印刷
View D R A W View P A I N T Page E D I T	View D R A W編集（復元、消去、切取、貼付、写取、複写、前出、後送、合体、分離、文字枠詰、ビットマップ、総選択） View P A I N T編集（復元、消去、写取、貼付、反転、総選択） Page E D I T編集（復元、消去、切取、貼付、写取、複写、前出、後送、画面切換、座標表示、スクリプト、セル表示順、文字枠詰、ビットマップ、総選択） 作画、字体、書体、書式、線種、表示、ページ（View D R A Wのみ）、呼出、保存、更新、登録、組込、追加呼出（View D R A Wのみ）、印刷形式（View D R A Wのみ）、印刷
Page V I E W	前ページ、次ページ、目次

# 索引

## V S H E L L 編

### あ

アイコン	25
アイコンエディット	47
移動	40
印刷	35
印刷形式	34
M S X View	12
オートデモ	16
<<親>>	49

### か

外字作成	60
画面調整	55
カレントパス	49
キーボード操作	19、裏表紙
コマンドバー	18

### さ

削除	39
システム情報	31
システム設定	52
ショートカットキー	172
新規ディレクトリ	37
スクロールバー	18
設定バー	18
設定メニュー	51
全解除	42
全選択	42

### た

タイトルバー	18
タイトルメニュー	26
ダブルクリック	19
単語削除	59

単語登録	57
ディスク情報	31
ディスク初期化	32
ディレクトリ	37
ディレクトリ名	18
道具メニュー	43
D O Sメニュー	50
ドライブ変更	27
ドライブ名	18
ドラッグ	19

### な

名前変更	38
------	----

### は

表示メニュー	44
ファイル情報	30
ファイル表示部	18
複写	40
プリンタ	54
編集メニュー	36
便利メニュー	45
ボリューム名	18
ボリューム名変更	46

### ま

マウスカーソル	18
マウス操作	19

### や

呼出	29
----	----

# アプリケーション編

## あ

後送	136
一括入力	112
印刷	98、128
印刷形式	127
写取	102、134
エラーメッセージ	174
円	164

## か

合体	137
画面切替	138
切取	101、133
組込	97、123
消しゴム	169
検索メニュー	105
更新	95、121

## さ

サイズ	148
サイズメニュー	104
作画メニュー	157
座標表示	139
字体メニュー	148
自由曲線	166
消去	101、133
書式メニュー	150
書体メニュー	149
ショートカットキー	172
新規	92、117
図形の移動	159
図形の指定	158
図形の変形	159
スクリプトコマンド	140
製本実行	111

製本メニュー	109
設定メニュー	99、129
セル	72
セル表示順	144
全角	103
線種メニュー	151
選択入力	112
修飾	148
総選択	147

## た

タイトルメニュー	91、116
楕円	164
多角形	165
置換	106
直線	162
長方形	162
追加呼出	125
点	167
道具メニュー	108、155
登録	96、122

## は

貼付	102、134
範囲指定	90、160
半角	103
反転	147
ビットマップ	145
View T E D	66
View D R A W	72
View P A I N T	72
表示メニュー	153
復元	132
複写	135
文頭検索	105
文末検索	105

分離	137
編集メニュー	100、130
ページメニュー	156
Page EDIT	80
Page BOOK	80
Page VIEW	80
Page LINK	80
保存	94、120

### ま

前出	136
文字入力	21、161
文字粹詰	138

### や

呼出	93、118
----	--------

### ら

ラバーバンド	72
リンクリスト	110





●MS XView を使用するときのキーボード操作一覧

基本操作	カーソル移動	マウスカーソル (☞、+) <input type="checkbox"/> GRAPH + <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
		メニュー内の反転カーソル <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
	操作の決定 (メニュー、機能範囲(始点、終点)などの決定)	<input type="checkbox"/> GRAPH + <input type="checkbox"/> SELECT または <input type="checkbox"/> (メニュー内の機能を選んだり項目を設定する場合)			
	操作の取り消し	<input type="checkbox"/> GRAPH + <input type="checkbox"/> STOP または <input type="checkbox"/> ESC (中止したりメニューの表示を消す場合)			
	アイコンを選んでファイル呼び出す (ダブルクリック)	<input type="checkbox"/> GRAPH を押しながらか <input type="checkbox"/> SELECT を2度すばやく押す。			
	アイコンを移動する (ドラッグ) (VSHELLのみ) 自由な線を引く (ドラッグ)(View PAINTのみ)	<input type="checkbox"/> GRAPH + <input type="checkbox"/> SELECT + <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
範囲を指定する (ドラッグ)(View TEDのみ)	<input type="checkbox"/> INS を押したあと <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> を押す。				
文字の入力 (21ページ)	ローマ字入力↔かな入力	「システム設定」⇒52ページ			
	入力できる文字	CAPSランプ	かなランプ	全角文字	半角文字
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	英数小文字	英数小文字
		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	英数大文字	英数大文字
		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひらがな※1	カタカナ※2
		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	カタカナ※1	カタカナ※3
		・CAPSランプ、かなランプの点灯 (●) 消灯 (○) の切り替えは、それぞれ <input type="checkbox"/> CAPS、 <input type="checkbox"/> かな を押す。 ・全角、半角の切り替えは、☞を「○全角」または「○半角」に移動して <input type="checkbox"/> GRAPH + <input type="checkbox"/> SELECT を押す。 View TED、Page LINKの編集画面では、「編集メニュー」(⇒104ページ)で切り替える。 ※1：漢字に変換できる。 ※2：かな入力時は英数小文字。 ※3：ローマ字入力時は英数大文字。			
	その他の文字入力		かな入力時	ローマ字入力時	
		撥音 (や、ゆ、よなど)	<input type="checkbox"/> SHIFT + <input type="checkbox"/> や など	<input type="checkbox"/> L を押したあと文字入力	
		長音 (ー)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
文字の削除	カーソルの下の文字を消す	<input type="checkbox"/> DEL			
	カーソルの前の文字を消す	<input type="checkbox"/> 後退			
漢字変換	変換	<input type="checkbox"/> SPACE			
	文節区切り	文節縮め： <input type="checkbox"/> 、文節伸ばし： <input type="checkbox"/>			
文字の確定	全確定	<input type="checkbox"/>			
	部分確定 (反転している部分の確定)	<input type="checkbox"/>			

※ショートカットキー一覧 (⇒172ページ)

※  実行、 取消 は使用できません。

※「道具」(View TED、View DRAW、View PAINT、Page EDIT、Page LINK) を使用するときには、システムディスク3をセットしておいてください。

松下電器産業株式会社 ワープロ事業部

〒571 大阪府門真市大字門真1006 電話(06)908-1151



MAXIMUM  
100% COTTON  
FRESH